

ボディメーカーの手引き

<2023年度版>

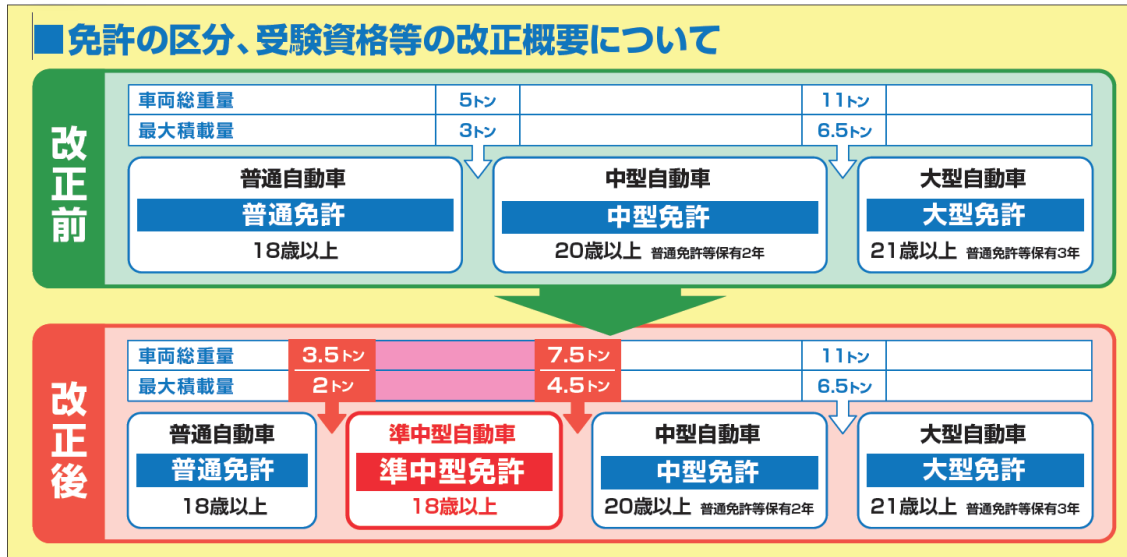


一般社団法人
日本自動車車体工業会
バン部会 業務委員会
2023年6月



1	自動車免許制度の変遷とナンバー区分 1
2	ボデーの構造と特長 5
3	仕様設定のポイントとその用語 10
4	車両関連三法規 12
5	各法令の制限比較 13
6	基本的な車両法規 14
7	トラック用語集 27
	バン用語集 50

【自動車免許制度の変遷】



	最大積載量	車両総重量	取得条件
普通免許	2t未満	3.5t未満	18歳以上
準中型免許(5tに限る)	3t未満	5t未満	*1
準中型免許	4.5t未満	7.5t未満	18歳以上
中型免許(8tに限る)	5t未満	8t未満	*2
中型免許	6.5t未満	11t未満	20歳以上*3
大型免許	6.5t以上	11t以上	21歳以上*4

*1 = 平成19年6月2日の改正から平成29年3月12日の改正の間に普通免許取得者対象区分

*2 = 平成19年6月2日改正前に普通免許を取得者対象区分

*3 = 2年以上の普通免許取得者対象

*4 = 3年以上の普通免許保持者対象

・準中型・中型免許:トラックなどで荷物を運搬するための運転免許

準中型・中型免許とは、準中型自動車や中型自動車を運転するための免許です。おもにトラックを運転し、貨物を輸送する際に必要な自動車免許です。

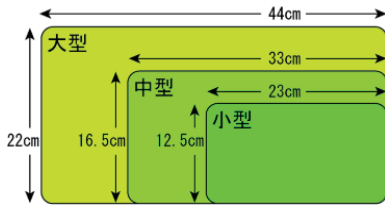
準中型免許は2017年3月12日に追加された免許で、2トラックなどが対象です。車両総重量が3.5～7.5t、最大積載量が2～4.5tであれば、準中型免許だけで運転できます。



1. 自動車免許制度の変遷 【ナンバー区分】（参考）



事業用ナンバー(緑ナンバー)



ナンバープレートサイズ



- ・ 大板は車両総重量8t以上、最大積載量5t以上もしくは定員30人以上の車両に使用

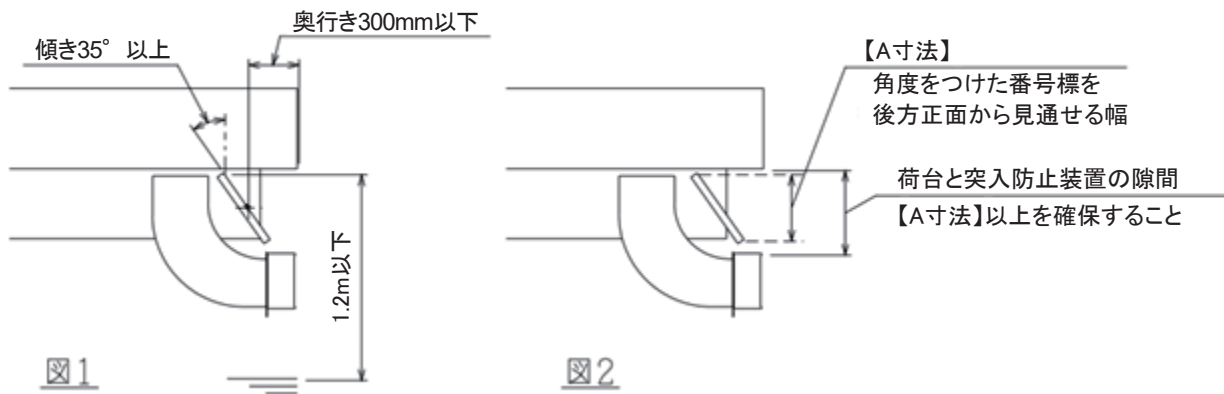
	ナンバー	車の種類	備考
1	10～19 100～199 10A～19Z 1A0～1Z9および1AA～1ZZ	貨物自動車	普通自動車で貨物用途の車(トラック)
2	20～29 200～299, 20A～20Z 2A0～2Z9および2AA～2ZZ	大型乗用車	乗車定員11人以上の自動車(バス)
4	40～49 60～69 400～479, 600～699 4A0～4Z9, 6A0～6Z9 4AA～4ZZおよび6AA～6ZZ	三輪以上の貨物自動車	小型自動車で貨物用途の車(トラック)
8	80～89 800～899 80A～89Z 8A0～8Z9および8AA～8ZZ	特殊用途自動車	冷蔵冷凍車・タンクローリー車など 特殊用途車



1. 自動車免許制度の変遷 【ナンバー区分】（参考）

ナンバー取付け位置・取付け角度（自主目標）

項目	自主目標	
取付角度	上下向き	番号標上端の地上高が1.2m以下の番号標 上向き35°～下向き5° 〔但し構造上上向き35°以下で取付けが 困難な場合は45°以下とする〕
	左右向き	左向き5°～下向き0°
	回転	水平
荷台と 突入防止装置の 隙間 〔番号標を見通せる 上下方向の隙間〕	大型サイズ番号標 440×220	最少(上向き35°の時) 185mm 35°以下が困難な場合は(上向き45°の時) 160mm
	中型サイズ番号標 330×165	最少(上向き35°の時)135mm 35°以下が困難な場合は(上向き45°の時) 120mm



ナンバープレートの表示の位置・方法(国土交通省告示)

項目	前面のナンバープレート	後面のナンバープレート		
		ナンバープレートの 上端が1.2m以下の場合	ナンバープレートの 上端が1.2m超の場合	バイクのナンバープレート
角度	上下向き※1	上向き45°～ 下向き5° 1.2m以下	上向き25°～ 下向き15° 1.2m超	上向き40°～ 下向き15°
	左右向き※1	左向き10°～ 左右向き0°	左向き5°～左右向き0°	左右向き0°
フレーム※1	<ul style="list-style-type: none"> 幅※2が上部10mm以下、左右18.5mm以下 下部13.5mm以下 厚さ※3が上部6mm以下 (上部の幅が7mm以下の場合は10mm以下)、 その他30mm以下 脱落するおそれのないもの 			禁止
ボルトカバー※1	<ul style="list-style-type: none"> 直径が28mm以下であって番号に被覆しないもの 厚さ※3が9mm以下 脱落するおそれのないもの 			

※1 令和3年9月30日までに登録・検査・使用の届出がある自動車については、上記基準によらず、自動車の運行中番号が判読できるような見やすい角度によりナンバープレートを取り付けること。また、番号を被覆せず、脱落するおそれなく、自動車の運行中番号が判読できるフレーム又はボルトカバーを取り付けることができる

※2 ナンバープレートに取り付けたときの該当ナンバープレートの外縁からフレームの内縁までの長さ

※3 ナンバープレートに取り付けたフレーム・ボルトカバーの該当ナンバープレートの表面から突出している部分の長さ

Eマーク認証 ナンバーランプ・取付けステー

◇Eマーク認証 ナンバーランプ

車両への取付けはEマーク認証取得時に定められた位置関係を厳守。
(ナンバープレートとの位置関係、入射角は変更しない。)

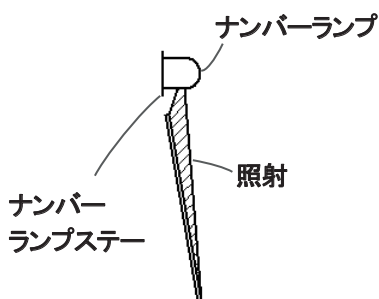
◇Eマーク認証ナンバーランプ取付けステー

Eマーク認証取得時に定められた、ナンバープレートとナンバーランプの位置関係を守る。

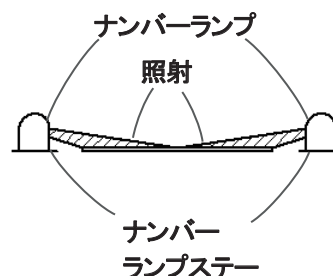
協定規則第4号に準じた、配光試験を受け、試験成績書を取得した物を取付けする。

シャシ取付品から取替えた場合新規登録の際、試験成績書を添付する。

1灯の場合

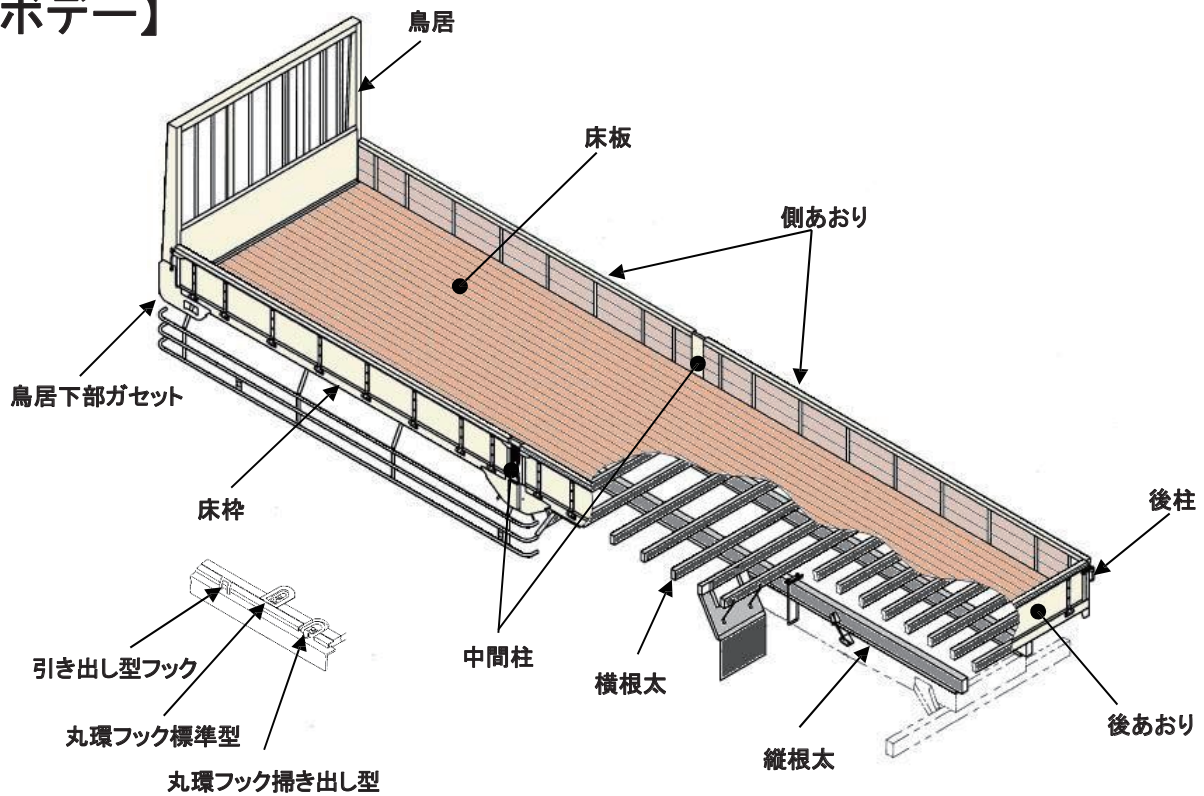


2灯の場合



ナンバーランプはナンバーのみを正確に照らす必要がある。

【平ボデー】



荷台がフラットな汎用的トラック

メリット

- ・ 積荷の形状や質に制約がない
- ・ 天井がないため、上方からの積み降ろしが可能
- ・ ボデー重量が軽く、積載量が多く取れる
- ・ 荷台のアレンジが豊富

デメリット

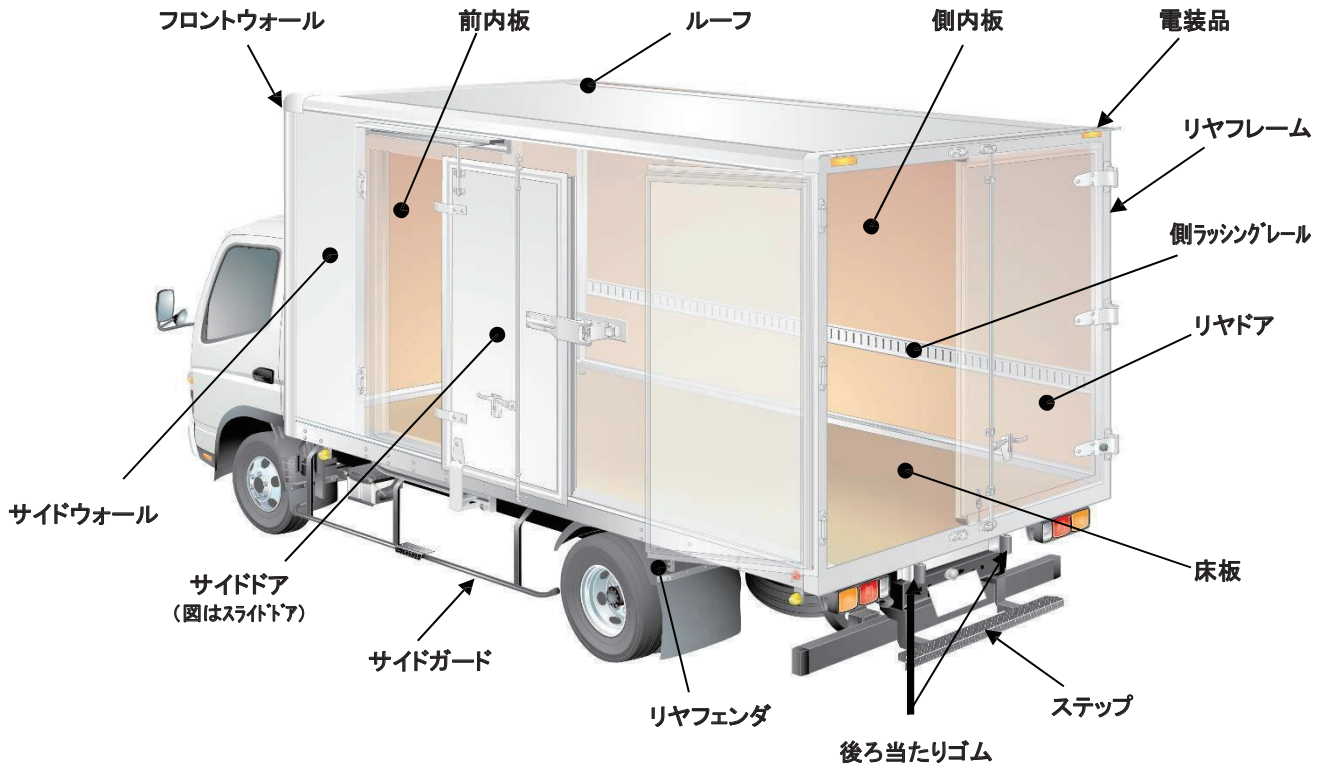
- ・ シート掛け作業が重労働かつ危険
- ・ 積荷の保護はシート一枚なので雨・風・ホコリ・直射日光等から影響を受けやすい
- ・ 輸送時の荷崩れにより落下の危険がある
- ・ 箱型ではないため、剛性が弱い
- ・ 防犯性が悪い



【主な積荷・用途】

一般雑貨、鋼材、重機運搬等

【バン】



荷台がアルミ製の箱型トラック

メリット

- ・ 雨・風・ホコリ・直射日光から荷物を守り、運ぶことができる
- ・ 輸送時の荷崩れ、落下の危険を防ぐことができる
- ・ 動く看板として活用可能
- ・ 中小型クラスのボデーは小回りが利き、狭い道の多い街中でも容易に移動可
- ・ 施錠が可能で積荷の盗難防止が可能
- ・ 耐久性が高い

デメリット

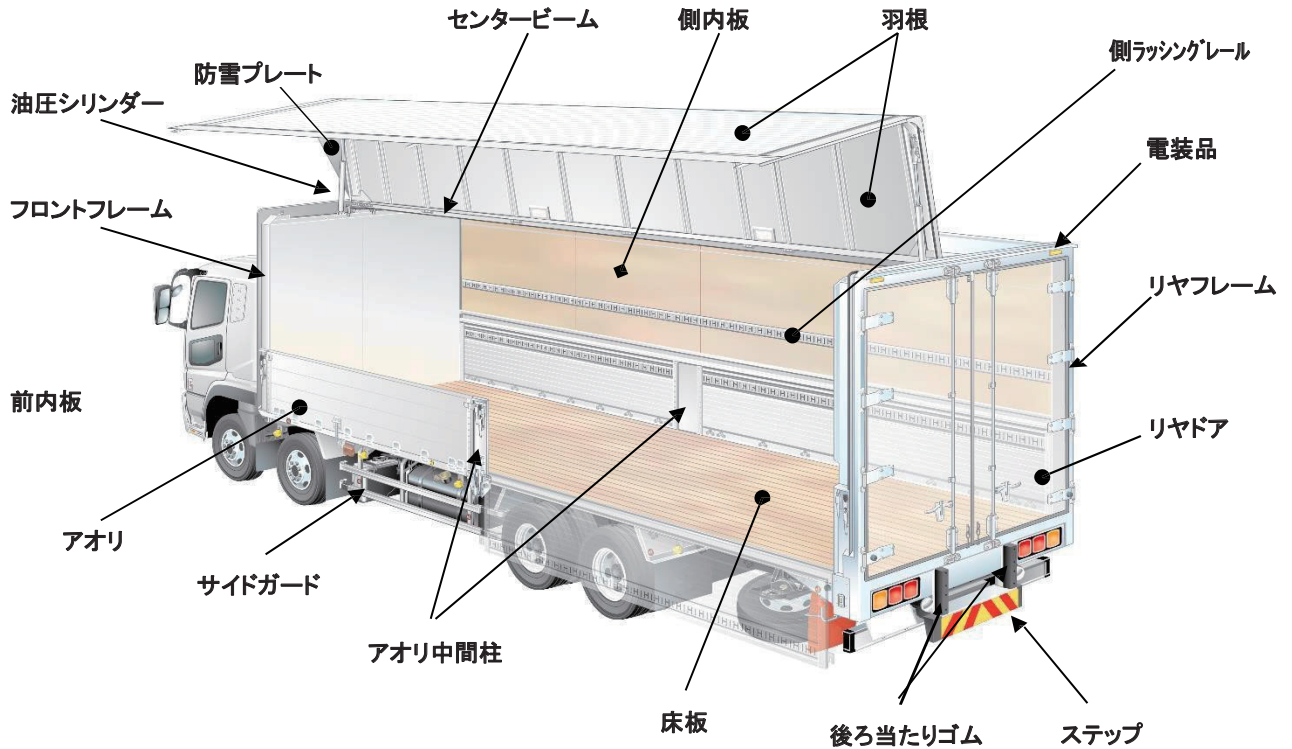
- ・ 車格によって空間スペース(高さ、奥行き)が限られる
- ・ 壁や屋根があるため、荷役(荷物の積み降ろし)方法が限られる
- ・ 荷台前側より詰めて積載しないと荷役効率が悪い
- ・ 配送先が数箇所になると、積荷の順序を考慮する必要有

【主な積荷・用途】

一般雑貨、カーゴテナー、引越し、宅配等



【ウイングバン、冷凍・冷蔵ウイング】



側面が開閉でき、バンの荷役不便さを解消した箱型トラック

メリット

- ・ 構造を生かした側面からの積み降ろし、フォークリフトによるパレット荷役が容易
- ・ 後方からでは長すぎるサイズの荷物も側面開放で積むことが可能
- ・ 配送先が数箇所になった場合でも積み下ろしの順番を考慮せず荷降ろしが可能

デメリット

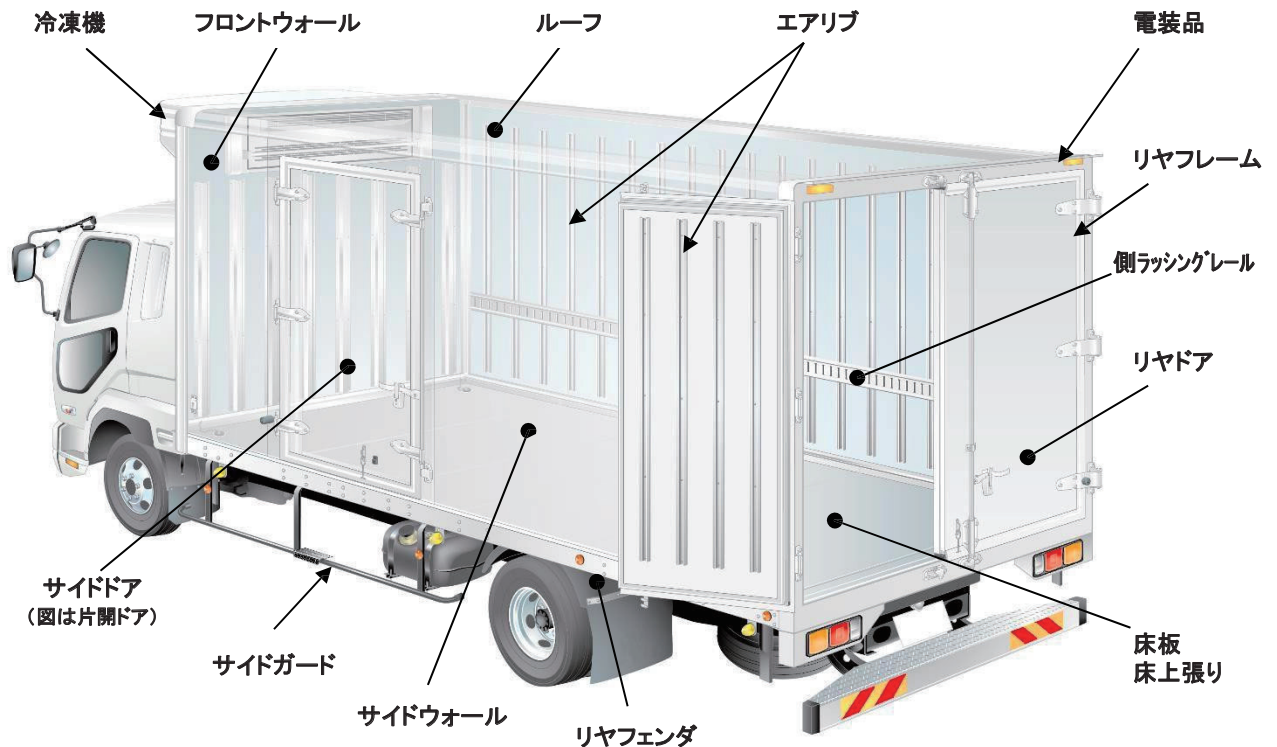
- ・ 作業時に羽根の開閉スペースが必要
- ・ バンと比較しボデー強度が弱いためボデー側面に荷重がかからない様に積載し、緊締しなければならない
- ・ 動く・固定し難い積荷は不向き
- ・ バンよりもボデーが重く、積載量に影響する
- ・ 冷凍冷蔵ウイングはさらに積載量に影響する

【主な積荷・用途】

一般雑貨、パレット積み、精密機械、冷蔵・冷凍製品等



【冷蔵・冷凍バン】



積荷の温度を維持・管理し輸送する箱型トラック

メリット

- ・ 冷凍機によって庫内を一定の温度に保つ事が可能
- ・ 保冷・冷凍・冷蔵の温度帯に合ったボデーの選択が可能
- ・ 動く看板としても活用可能

デメリット

- ・ 断熱材の厚さによって、庫内容積に影響する
- ・ 冷凍機装着によりボデー重量が更に悪化
- ・ 一枚パネルのボデーでは、修復時のコストがかかる

【主な積荷・用途】

生鮮食品、冷凍食品、薬品、アイスクリーム等



【その他のボデー】

	名称	形状	特長	主な用途
特殊用途	環境整備車 塵芥車 (パッカー車)		収集ごみを自動的に荷箱へ押し込み圧縮する装置を備えたトラック	ごみ収集
	建材資材運搬車 (ダンプ)		荷台を傾けて積荷を一度に降ろすための装置を備えたトラック	土砂 産業廃棄物
	タンク車		楕円形又は円形のタンクを備えたトラック	粉粒体 液体 燃料 高圧ガス
	ミキサー車		ドラムと呼ばれる容器を回転させ攪拌しながら輸送するトラック	生コンクリート
	車輛運搬車 (キャリアカー)		1台又は複数の自動車を輸送するトラック	自動車
平ボデー	クレーン付き 平ボデー		荷降ろし用小型クレーンを装着した平ボデー	一般雑貨 鋼材 フレコン
バン	ゲート付き バンボデー		後方からの荷役作業用ゲートを装着したバン	一般雑貨 カーゴテナー 精密機器



3. 仕様設定のポイントとその用語

- ①「必要な大きさは」
- ②「何を」
- ③「どんな荷姿で」
- ④「荷役方法は」
- ⑤「運搬する量は」
- ⑥「何℃位の温度帯で」

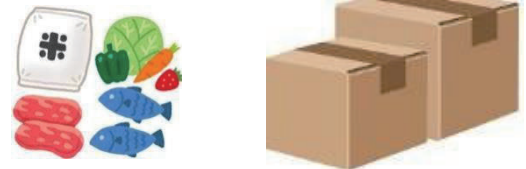
荷台の大きさはどの位だろう？
この車型で大丈夫だろうか？
積荷はなんだろう？雑貨？食品？薬品？機械？……
箱積？パレット？カーゴテナー？バラ積み？……
後方からの出し入れだけ？横からも？ドッグシェルタ？
どの位の量を運ぶのだろう？
必要とする温度領域は？

- ①「必要な大きさは」
⇒お客様が希望しているボデーの大きさ(幅、高さ、長さ)を把握する必要があります。
ボデーの大きさによって、シャシ型式を変えるケースも発生します。
庫内装備によって、有効内法が変わるので注意が必要。
又、「開口寸法(幅、高、長) ≤ 荷台寸法」になります。



- ②「何を」
⇒積荷によって温度域、内装、荷台容積が左右されます。

- ③「どんな荷姿で」
⇒積荷の大きさ、荷姿により庫内の緊締装置、補強等を施す必要があります。



- ④「荷役方法は」
⇒積荷の出し入れ、搬入場所により、ボデー形状(バン・ウィング・保冷冷凍バン) サイドのドア、テールゲートの装着有無等が必要になります。

- ⑤「運搬する量は」
⇒お客様がどの位まで運べる車両を希望しているのか ボデーの大きさや、ボデーの仕様によって積める量(最大積載量)が変わります。



- ⑥「何℃位の温度帯で」
⇒必要とする温度領域によって、断熱の厚さ、冷却装置等を選択する必要があります。
断熱厚さが変わると、①の必要な大きさ(容積)に影響します。



・トラックは自由な「大きさ」、「形」で作ることは出来ません。
また、どこでも自由に運転することは出来ません。
・寸法・重量は法規に細かく規定されていますので、商談に際し、
最低限知っておきたい法規を次ページ以降紹介します。



3. 仕様設定のポイントとその用語

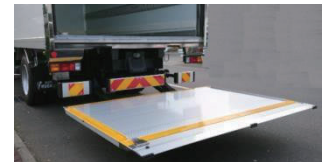
- ①「車両総重量」
- ②「車両重量」
- ③「軸重」
- ④「最大積載量の目安」小型・中型・大型
- ⑤「減トン・増トン」



①「車両総重量」
⇒お客様の希望しているボデーの重さ全体を知る必要があります
ボデーの重さによってシャシ型式を変える場合もあります。
装備によって積載量が変わるので注意が必要です。

②「車両重量」
⇒車体本体に燃料タンクが満タンの状態で、エンジンオイル、冷却水、バッテリー、架装などが
すべて整備された状態ですぐに人が乗って運転できる状態の重量を言います。ただし、乗員、
荷物、スペアタイヤ、工具などは含みません。

③「軸重」
⇒トラックの車軸にかかる重量を指しますが軸重が10トンを超えて走
行はできないと道交法で定められております。



④「最大積載量の目安」小型・中型・大型
⇒小型 最大積載量は2トン～2.9トン、車両総重量は5トン未満
中型 最大積載量は6.5トン以内、車両総重量は5トン以上～11トン未満
大型 最大積載量は6.5トン以上、車両総重量は11トン以上

⑥「減トン・増トン」
⇒減トン 架装により最大積載量が少なることをいう。結果として自動車税と自賠責保険料を
抑えられるが荷物を積む量も減る
増トン 積載量を多くすることを増トンといい中型規格にもかかわらず積載量を増
やせる。免許制度にも注意が必要です。

・トラックは自由な「大きさ」、「形、重さ」で作ることは出来ません。また、どこでも自由
に運転することは出来ません。
・寸法・重量は法規に細かく規定されていますので、**商談に際し、最低限知っておきたい法規
を次ページ以降紹介します。**



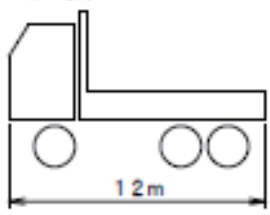
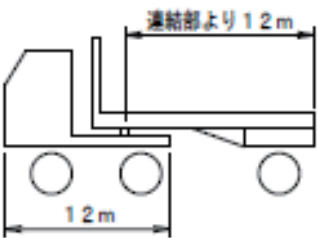
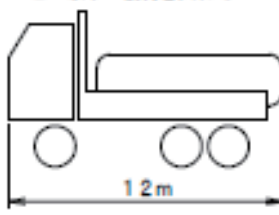
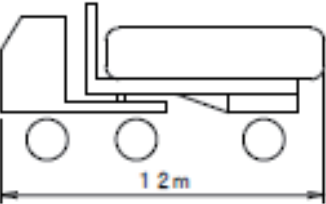
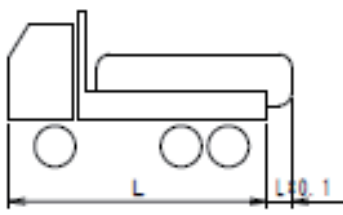
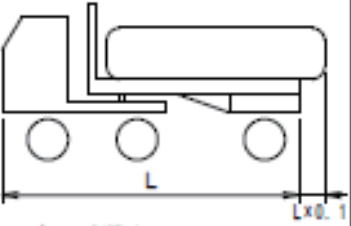

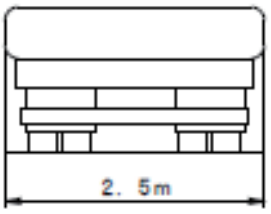

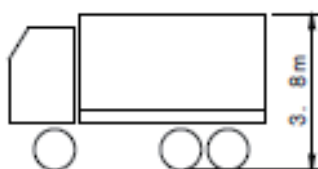
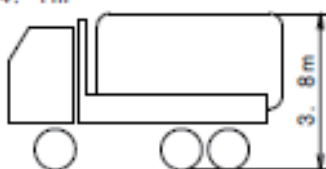
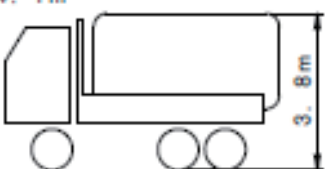
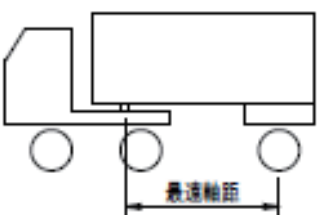
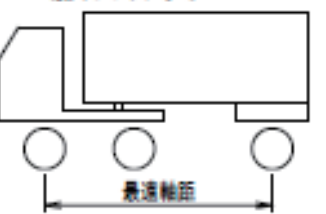

◇トラックは自由に作って運転する事は出来ません。
それらを取り決める法律等があります。

所轄官庁	国土交通省		警察庁
	自動車交通局 (旧運輸省)	道路局 (旧建設省)	
法律名	道路運送車両法	道路法	道路交通法
政令・省令	保安基準	車両制限令	施行令
目的	車両の構造、大きさ、重さなどを規制	道路の保全、車両の大きさ、重さなどを制限	交通の安全、運転免許制度



**トラックの製造に
最も関係する法律**

5. 各法令の制限値比較

項目	保安基準	車両制限令	道路交通法 (道路交通法施行令)
長さ	<p>12m以下</p>  <p>一車両の長さで</p>  <p>(連結装置の中心)</p>	<p>12m以下 積荷を入れて</p>  <p>連結状態で</p>  <p>但し、高速自動車国道に於いて セミトレーラ連結車は16.5m以下</p>	  <p>牽引の制限は2.5m以下</p>
幅	<p>2.5m以下</p> 	<p>積荷を入れて2.5m以下</p> 	<p>荷台よりはみ出し不可</p>  <p>車体よりはみ出さないこと</p>
高さ	<p>3.8m以下</p> 	<p>荷物を入れて3.8m以下 公安委員会が認めた車両及び道路は 4.1m</p> 	<p>荷物を入れて3.8m以下 公安委員会が認めた車両及び道路は 4.1m</p> 
車両 総重量	<p>トラックは、 最速軸距、全長に応じて20～25トン セミトレーラは単体で、 最速軸距に応じて20～28トン</p> 	<p>一般制限：20トン 高速国道、指定道路のみ 最速軸距、全長に応じて 20～25トン バン型等セミトレーラは 連結状態で、最速軸距に応じて 最大36トンまで</p> 	<p>積荷が最大積載量を超えないこと</p> 

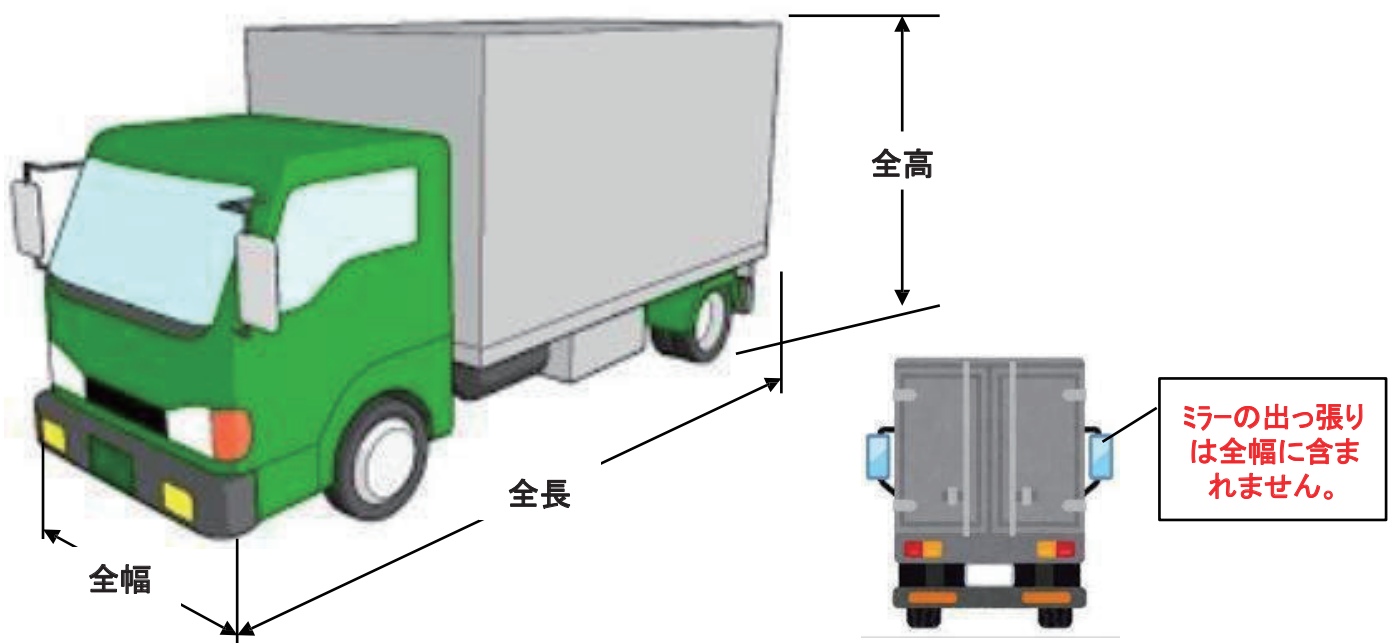
(1) 幅、高さ、長さの制限(保安基準)

	普通車枠	小型車枠 (4ナンバー枠)
全長	12m以下	4.7m以下
全幅	2.5m以下	1.7m以下
全高	3.8m以下	2.0m以下

《ポイント》

小型車枠とは普通車枠より自動車保険料や高速道路料金などの面で維持費を安く抑えられる大きさの枠。

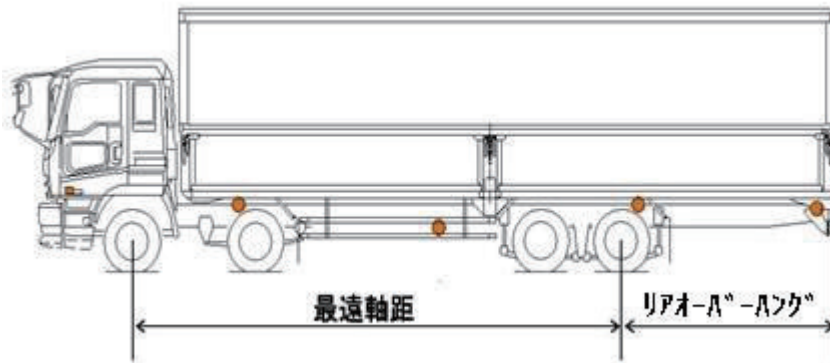
実際には普通車枠の方が圧倒的に多く、日本で登録可能な車両の最大寸法は全て普通車枠となります。



(2) リアオーバーハング制限(保安基準)

◇リアオーバーハングとは、後輪（最後部の車軸中心）から ボディ後端までの水平距離を指します。

《バン型車》



・突出して積載するおそれがない

最遠軸距長の
2 / 3 以内

※リアオーバーハングの後端となる基準は後面に凹凸がある場合は、最も面積の広い面を基準として計算します。

観音ドア



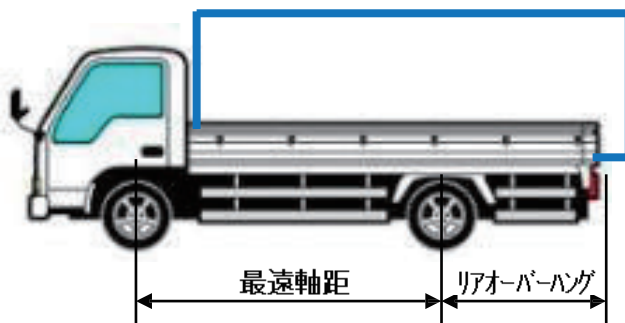
ハネアゲドア



ロールアップドア



※リア側に突出して積載する恐れのある車両
(平ボディ、オープンバン)



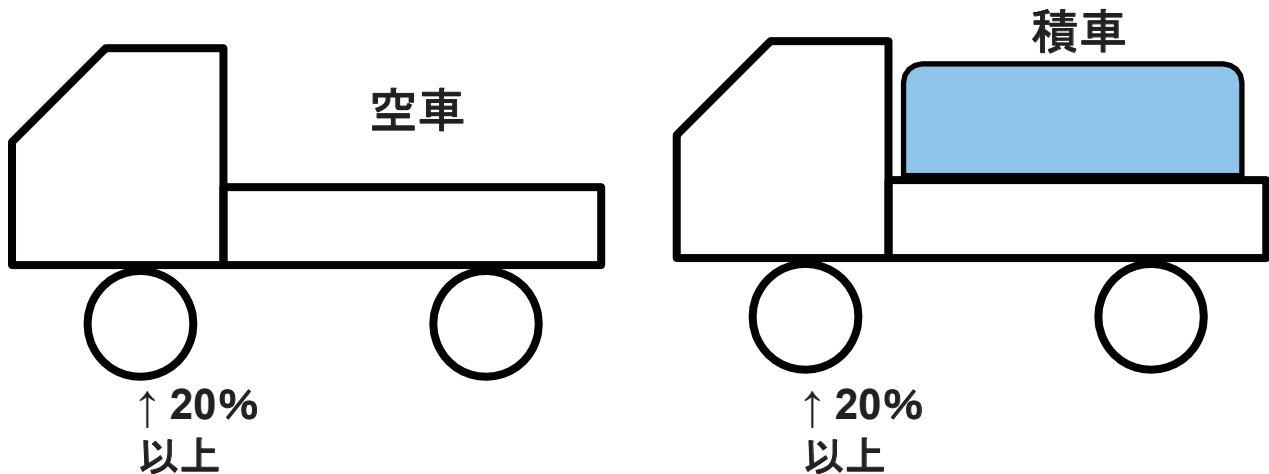
・突出して積載するおそれがある

最遠軸距長の
1 / 2 以内

※小型車枠は11 / 20以内

(3) 前輪荷重割合(保安基準)

◇車両総重量のうち、前輪にかかる荷重の割合の事を指します。

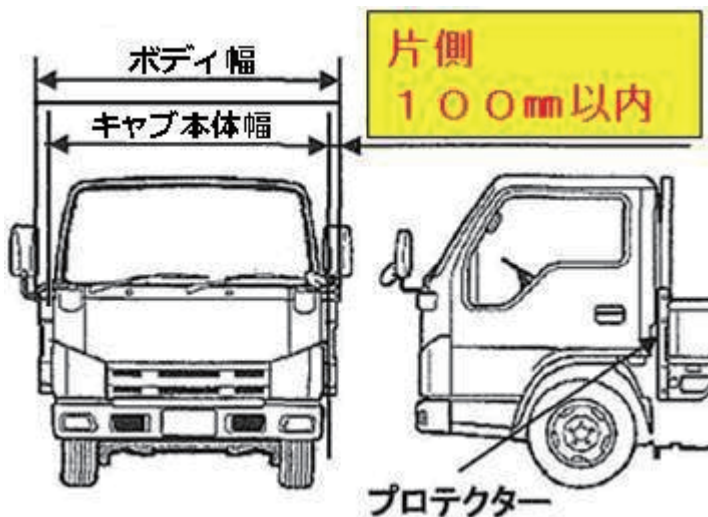


空車(荷物を積んでいない状態)積車(荷物を積んだ状態)で、前輪荷重割合が20%以上ある事。

- ・前輪への荷重が小さく後ろ側に荷重が偏っていると、前輪が浮き上がりぎみとなり、ハンドルを切った時に曲がり難くなる現象を防止するために設けられています。

(4) キャブ幅段差(車体工業会自主基準)

- ◇キャブ段差とは、キャブ本体幅とボディ幅の差の事を指します。
- ・対象となるボディ本体幅は地上高600mm～1500mmまでのボディ外側面
 - ・段差50mm以上の部分は前端外角部を45°以下の面取り又は50mm以上のRをつけること。



参考:いすゞ自動車シャシ(mm)

車型	標準	セミワイド	ワイド
小型	1695	1770	1995
中型	2120	—	2320
大型	2435	—	—

(注意)全幅は2,500mm以内

※運転席に対しボディが広すぎると、運転席からのバックミラーで後方確認がしにくくなり危険なため、車体工業会で自主規制を設けています。



(5) 車両総重量と最大積載量(保安基準)

車両総重量(GVW)

GVW; Gross Vehicle Weight

$$= \begin{array}{c} \text{車両重量} \\ \text{(シャシ重量+荷台重量)} \end{array} + \begin{array}{c} \text{乗員重量} \\ \text{(55kg} \times \text{定員)} \end{array} + \text{最大積載量}$$

最大積載量 Load Capacity

最大積載量の刻み方

100~5,000kg

⇒ 50kg刻み

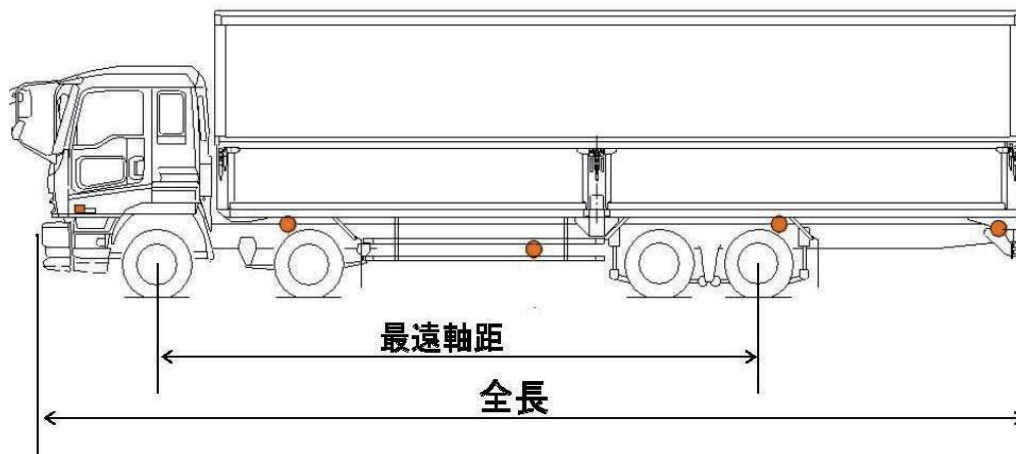
5,000kg以上

⇒ 100kg刻み

注記：最大積載量は軸許容荷重、タイヤ許容荷重に影響を受ける為、重量バランスが悪く、前後軸どちらかに偏ると許容オーバーで減トンとなる場合があります。

(6) 車両総重量の制限(保安基準)

最遠軸距	5.5m未満	5.5m～7m未満	7m以上
車両総重量 の最大値	20トン	22トン ・全長9m未満 は20トン	25トン ・全長9m未満は20トン ・全長9m以上11m未満 は22トン ・全長11m以上25トン

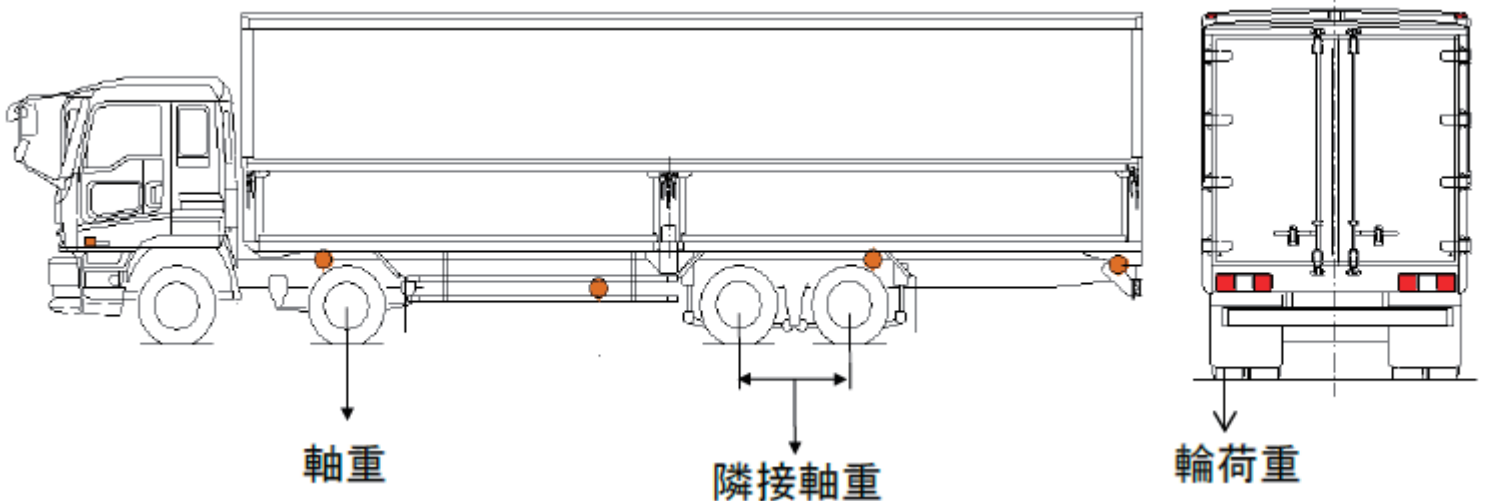


(7) 軸重の制限(保安基準)

◇自動車の軸重は10トンを超えてはならない。

◇隣接荷重

隣接距離	1.8m未満	1.3m以上 1.8m未満	1.8m以上
隣接荷重	18トン	19トン (但し、それぞれの軸重が 9.5トン以下に限る)	20トン

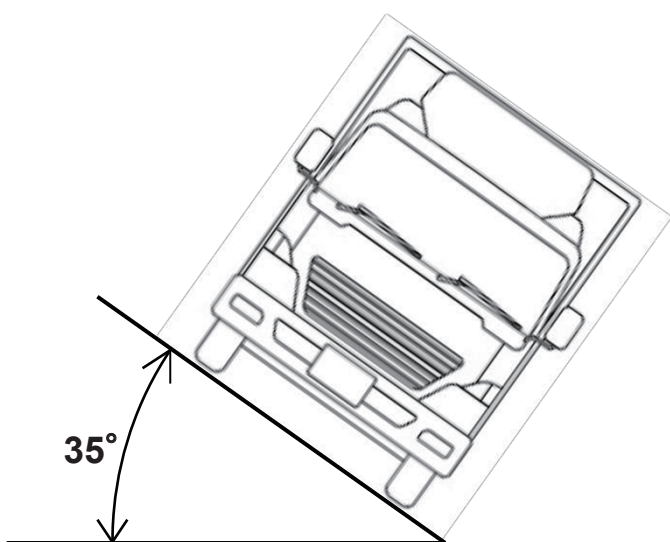


◇自動車の輪(タイヤ1本)荷重は5トンを超えてはならない。

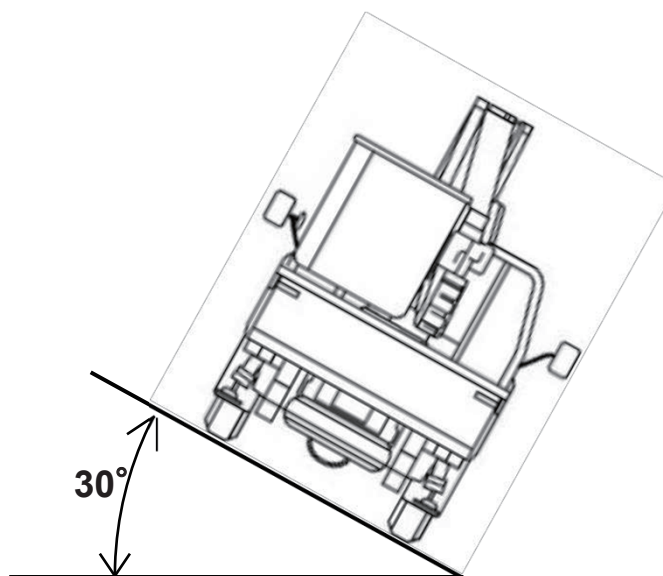
(8) 最大安定傾斜角度(転角)(保安基準)

◇車両を傾けた時に転倒しない最大傾斜角度を指します。

◇平ボデー、バン、ウイング、
冷蔵冷凍車



◇特種車等



※空車状態において、自動車を手前及び右側にそれぞれ**35度**(車両総重量が車両重量の1.2倍以下の自動車にあつては**30度**)まで、傾けた場合、転覆しないこと。

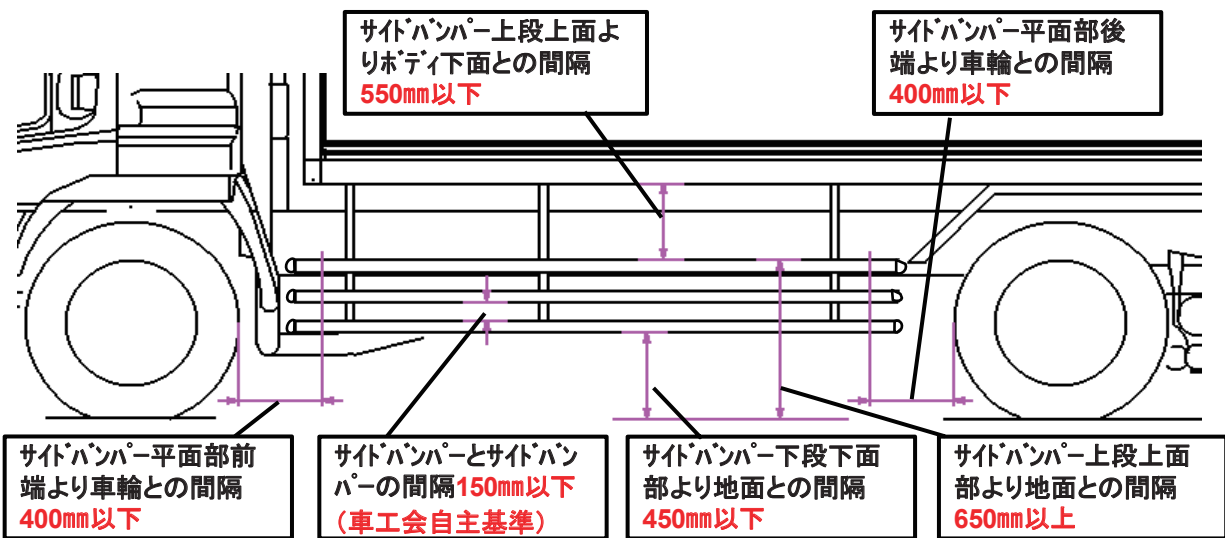
なお、この安定性のことを通称“**転角**”と呼びます。

(9) 巻き込み防止装置(保安基準)

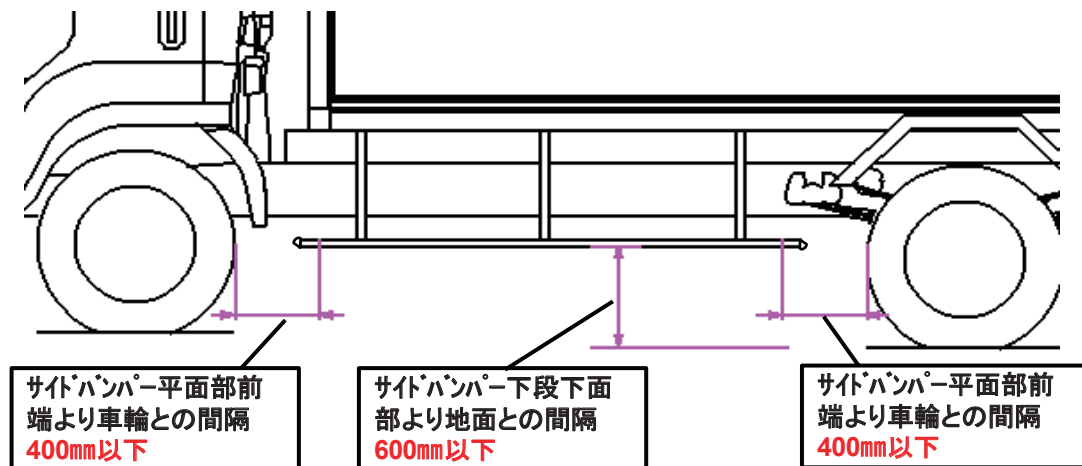
呼称: サイドガード

項目	巻き込み防止装置の取付位置			
	高さ		上縁と荷台等の 間隔	タイヤとの 間隔
	下縁	上縁		
大型貨物自動車	450mm以下	650mm以下	550mm以下	400mm以下
普通貨物自動車	600mm以下	—	—	400mm以下
小型貨物自動車	取付不要			

・大型貨物自動車(総重量8トン以上又は積載量5トン以上)



・普通貨物自動車(総重量8トン未満)

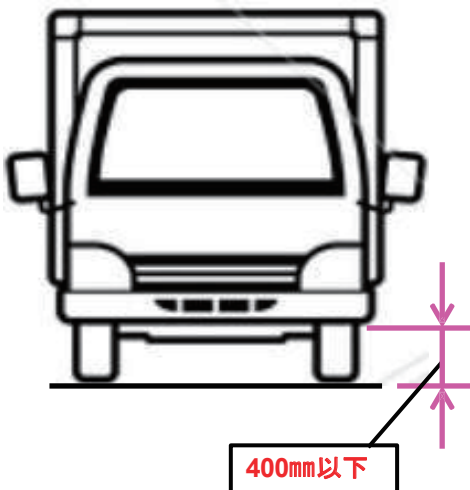


(10) 前部潜り込み防止装置(保安基準) 呼称:FUP(Front Under Protector)

《要約》

1. GVW3.5tを超える車は、前部潜りこみ防止装置(FUP)を装着しなければならない。
2. FUPの下縁は、空車状態で地上高400mm以下でなければならない。
3. GVW7.5tを超える車は、強度要件を満足したFUPを装着しなければならない。
4. GVW3.5tを超え7.5t以下は、車体前面の構造部の下縁が空車状態で地上高400mm以下であればよい。
(FUPでなくてもよい)
5. 被牽引自動車、全輪駆動車は適用除外。

項目	FUP	車体前面の構造部	地上高要件	強度要件
車両総重量 7.5トン超	必要	—	下縁400mm以下	有
車両総重量 3.5トン超7.5トン以下	どちらでも良い		下縁400mm以下	無
車両総重量 3.5トン未満	対象外			



◆注意事項

- ① FUPの装着は基本架装メーカーでは出来ません。
- ② フロントタイヤを標準車のタイヤより大きいものに変更されますとFUP取付高さの保安基準を満足しない可能性があります。
- ③ メーカー出荷時、諸元表の車両総重量が7.5トン以下のシャシで許容荷重が7.5トンを超えている場合、強度要件を満たしたFUPを装着されているメーカーとされていないメーカーが有りますので、商談時、確認が必要です。

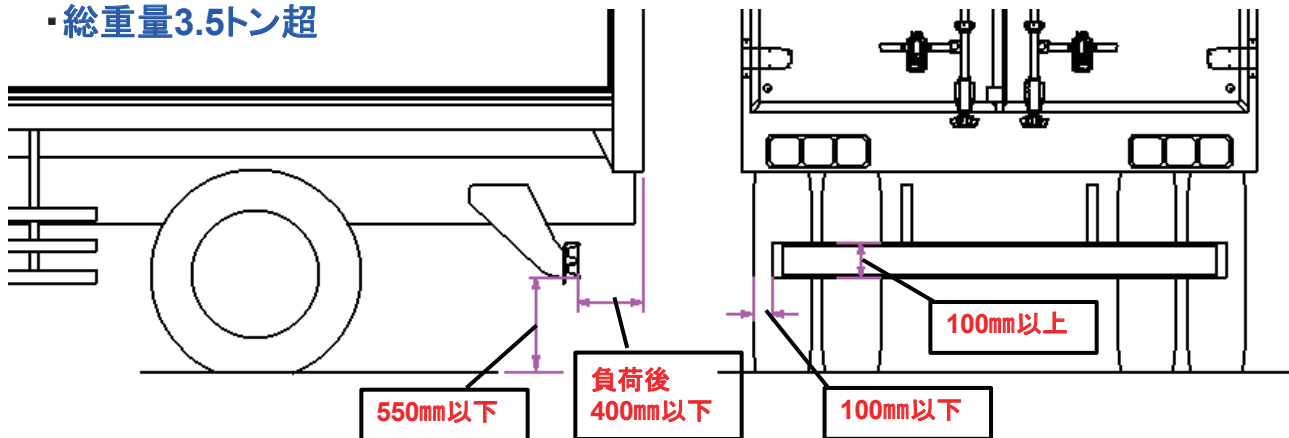
(11) 後部突入防止装置(保安基準) 呼称: RUP(Rear Under Protector)

項目	突入防止装置の形状と取り付け位置			
	バンパの幅	平面部	取り付け高さ下縁で	奥行き
車両総重量3.5t超の貨物自動車	後車輪の外側より 0mm~100mmの間	高さ100mm以上 車両中心に対称	550mm以下	衝撃後の状態が 注 400mm以下
車両総重量3.5t未満の貨物自動車	車幅の60%以上	車両中心に対称	700mm以下	600mm以下

注: 奥行き寸法は、地上1500mm以下の車両後端からの距離です。

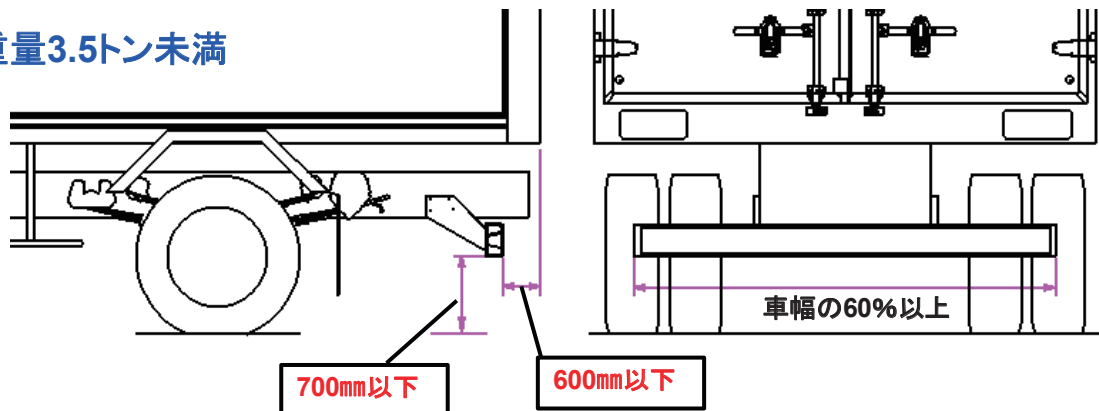
※衝撃後の状態とは、規定荷重で押した時の変位置を見込んだもの

・総重量3.5トン超



※総重量3.5トン超の車両は強度基準が強化されています。
 新型車 2019年9月1日～
 継続生産車 2021年9月1日～

・総重量3.5トン未満



(12)後退時車両直後確認装置(バックカメラ))

◇後退時の後方視界確保に関する協定規則により、バックカメラ取付けが義務になります。バックカメラだけでなく、直接視界、背面ミラーの併用、バックソナーも認められています。

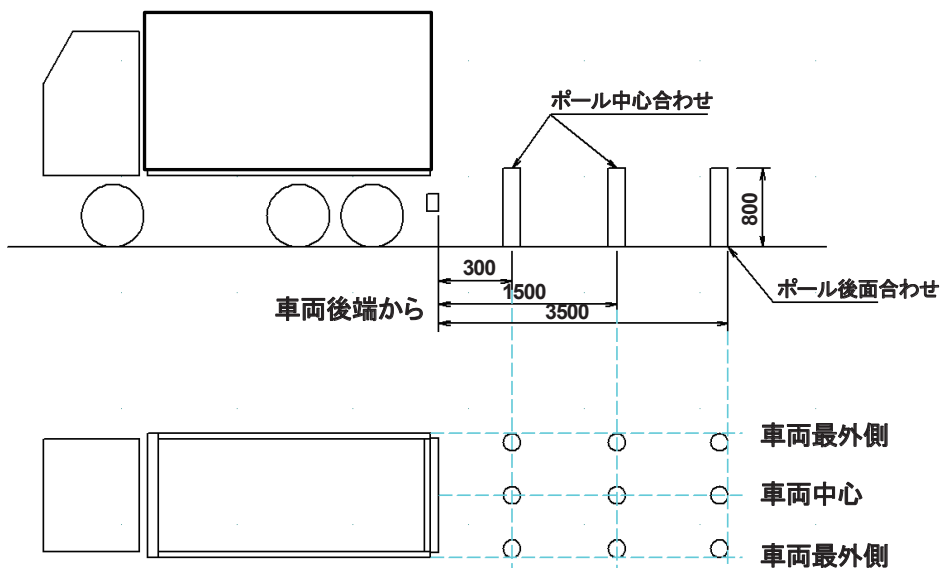
乗用車・貨物車が対象で、カメラに映る範囲、モニターに映るポールのサイズが定められています。

◇カメラの視野角とモニター投影サイズ

検査には高さ800mm、300φのポールを使用。

ポールは車両後方へ後端より300mm、1500mm、3500mm

幅方向へ車両中心、車両最外側、計9か所設置する



	1列目	2列目	3列目
ポールの見え方	□150×150のパッチがそれぞれのポール上面または側面のいずれかの位置で見えること	視認性は1本ずつテストする (1列を同時にテストしても良い)	
モニターに映るポールの見え方	視覚3分以上で映されること		視覚5分以上で映されること

(13) 大型後部反射器(保安基準)

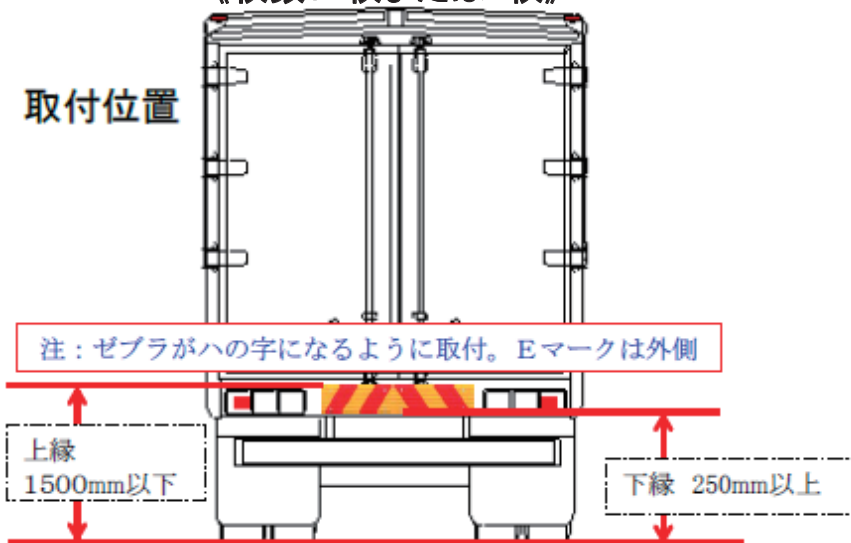
◇車両総重量が7貨物の運送の用に供する車両の後面には、大型後部反射器を備えなければならない。

- ・ 左右対称で水平に取付 (後面が左右対称でない自動車は左右対称でなくても可)

※車両総重量7トン以上の貨物車

《枚数:2枚または4枚》

取付位置

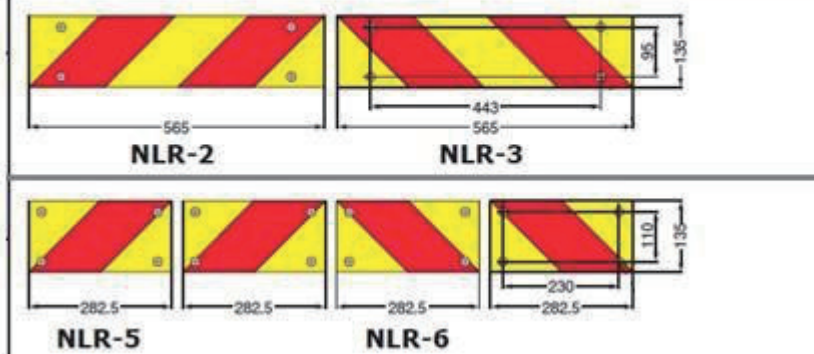


トレーラは下図の
大型後部反射器になります



(枚数:1枚・2枚または4枚)

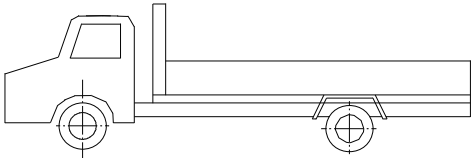
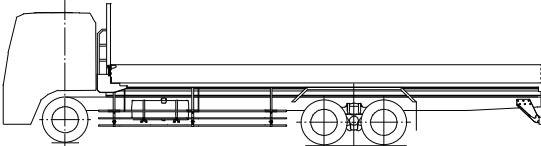
形状寸法 (mm)



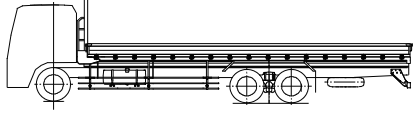




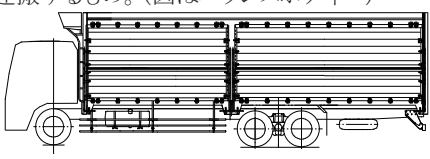
7.トラック用語集

3.1 全般に係わるもの

2019/1/9時点

番号	用語	意味	参 考		
			対応英語	慣用語	引用規格
1001	トラック	主に、物品を輸送する目的のために設計及び装備されたモータビークル。	commercial vehicle motor truck(米) motor lony(英)		JIS D 0101
1002	ボンネットトラック	<p>原動機部の覆いが運転席の前方にでているトラック。</p> 	cab behind engine truck	ボンネット	JIS D 0101
1003	キャブオーバトラック	<p>原動機の全部又は大部分が運転室の下方にあるトラック。</p> 	cab over engine truck	キャブオーバー	JIS D 0101

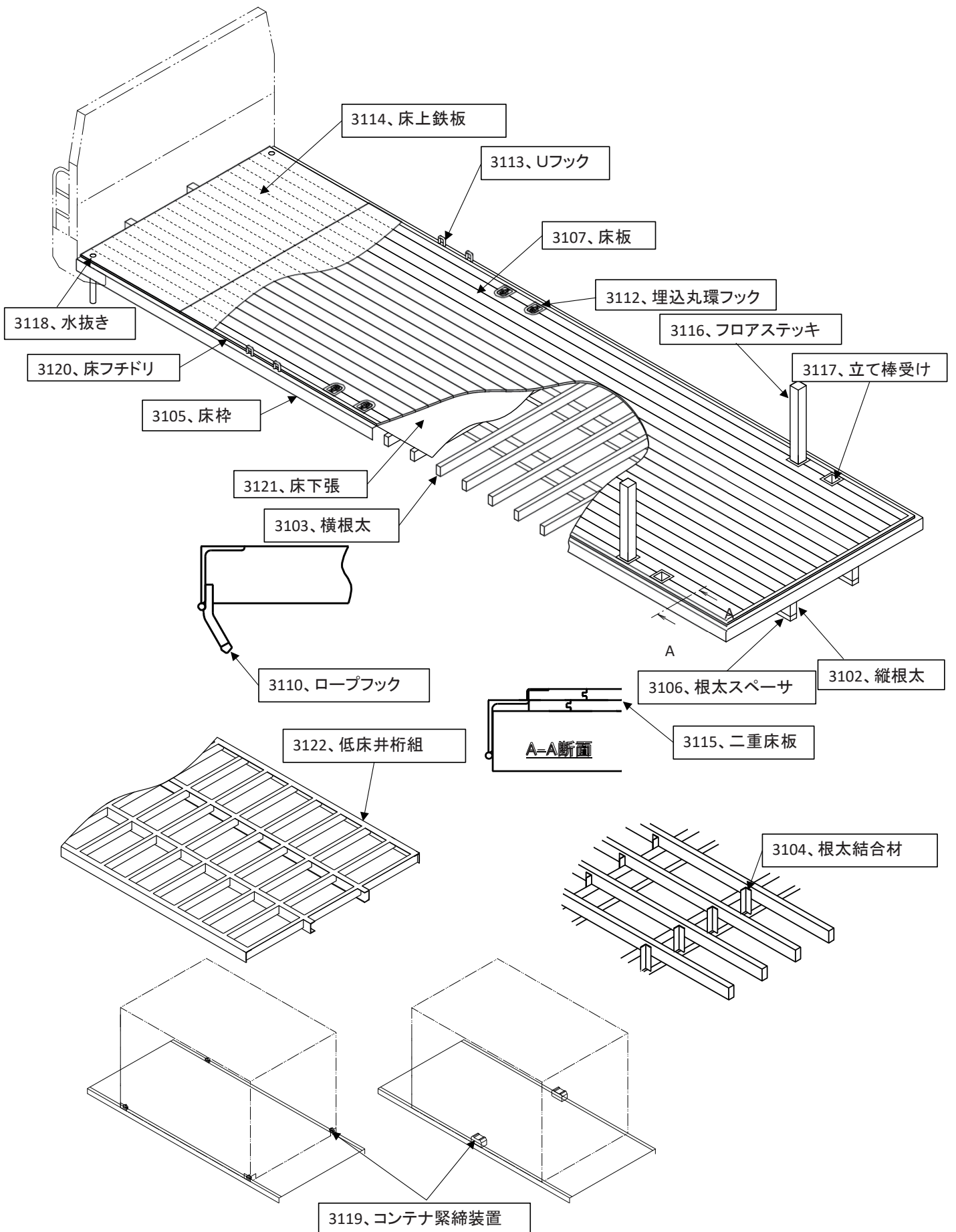
3.2 形状・用途・構造に係わるもの

番号	用語	意味	参 考		
			対応英語	慣用語	引用規格
2001	普通荷台	一方又は三方に操作が簡易なあおりなどの囲いを備えた荷台の総称。 	cargo type body	平ボディー 平ボデー	JIS D 0105
2002	普通型あおりトラック	あおりの高さが450mm以下のもの。		あおり付き荷台	JIS D 0105
2003	深あおりトラック	あおりの高さが450mm以上のもの。	deep gate body	深あおり荷台 高あおり荷台	JIS D 0105
2004	平荷台	囲いが無い、床面の平な荷台。	platform body	フラットボデー	JIS D 0105
2005	高床荷台	床面が通常の高さのもの。	high deck body		JIS D 0105
2006	低床荷台	床面が通常の高さより低いもの。	low deck body		JIS D 0105
2007	重機運搬車	建設機械や重機を積載し、運搬するものの総称		回送車 建機運搬車	
2008	セルフローダー	車両を傾斜して建設機械や重機を運搬するもの。 	selfloader	ダンプローダー	
2009	スライドボデー	ボデーをスライドして建設機械や重機を運搬するもの。 	slide body		
2010	後部切下げステップ	後方傾斜付ボデーにて建設機械や重機を運搬するもの。 		後部傾斜式	
2011	ヒップリフター	ボデー後方を傾斜して建設機械や重機を運搬するもの。 	hip rifter		
2012	チップ運搬車	屋根のない深あおりトラックで、木材チップ等を運搬するもの。(図はバランスボディー) 			

3.3 部位・装置に係わるもの

3.3.1 部位(荷台部)

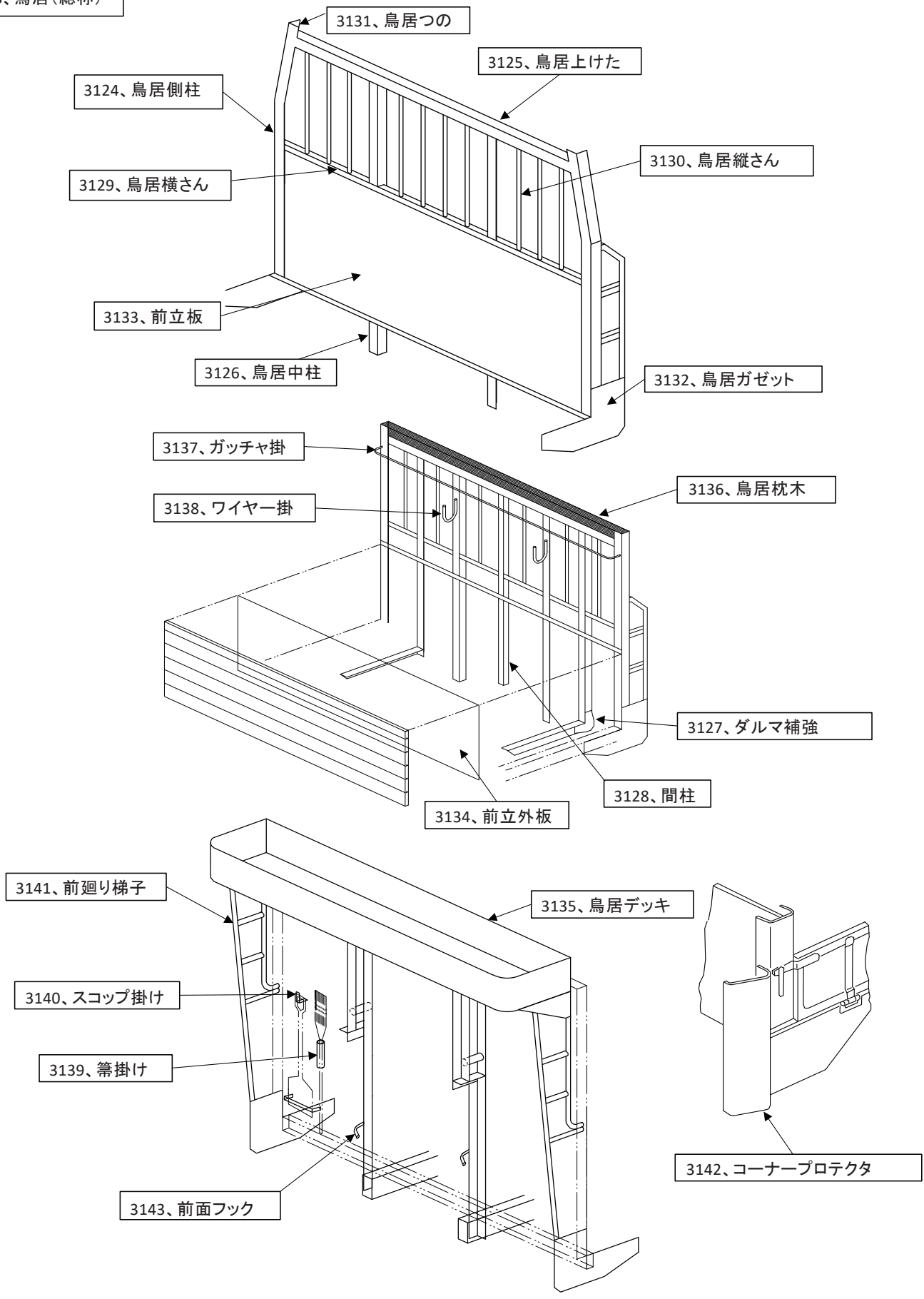
番号	用語	意味	参 考		
			対応英語	慣用語	引用規格
3101	床	荷台の床部分の総称。	floor	フロー	JIS D 0105
3102	縦根太	シャシフレーム上に前後(縦)方向に置く根太。	main sill	サブフレーム	JIS D 0105
3103	横根太	縦根太に直角に渡す根太。	main bolster	メインボルスター	JIS D 0105
3104	根太結合材	縦根太と横根太とを結合する補強金具。	cross sill bolster	クロスメンバー ボルスター	JIS D 0105
3105	床枠	床の周囲に回す部材。	cross joiner	根太連結材	JIS D 0105
3106	根太スペーサ	縦根太の下に挿入し、高さ調整やシャシ側リベットの干渉を避けるもの。	floor frame floor rail sill spacer	台枠 サイドレール スペーサ パッキン 縦根太スペーサ	JIS D 0105
3107	床板	床面を形成する板材。			JIS D 0105
3108	根太ボルト	横根太と縦根太とを結合するボルト。	floor board		JIS D 0105
3109	床枠ボルト	床枠と横根太とを連結するボルト。	sill bolt	結合ボルト アンカーボルト	JIS D 0105
3110	ロープフック	荷縄を掛ける金具。	floor frame bolt		JIS D 0105
3111	床フック	床面に取付けるロープ用フックの総称。	rope hook	ダボ	JIS D 0105
3112	埋込丸環フック	床フックのうち床面に埋め込む環状のフック。	floor hook	床環	JIS D 0105
3113	Uフック	床フックのうち床枠に取付ける引出式のフック。		馬蹄カン 丸環フック 引出しフック Uボルトフック	JIS D 0105
3114	床上鉄板	床板上面に張る鋼板。	floor panel		JIS D 0105
3115	二重床板	二重に張る床板。	double floor board	床二重張	JIS D 0105
3116	フロアステッキ	積荷のずれ及び荷崩れを防止するための、床面に立てる脱着可能な柱。		スタンション 立て棒	JIS D 0105
3117	立て棒受け	フロアステッキを受けるための床面に設ける受け穴。		スタンション受け	
3118	水抜き	床面の排水管。	drain	水抜き穴	JIS D 0105
3119	コンテナ緊締装置	コンテナを荷台に緊締するための装置。	twist lock clamp	ツイストロック クランプ 緊締金具	JIS D 0105
3120	床フチドリ	床板の周囲に回す部材。		床額縁	
3121	床下張	床板の下面に張る板材。		床下防水	
3122	低床井桁組	縦根太に横根太を貫通させ通常より低床にする構造のもの。		縦根太切込工作 井桁組	



3.3.1 部位(鳥居部)

番号	用語	意味	参 考		
			対応英語	慣用語	引用規格
3123	鳥居	荷台前部の隔壁の総称。	guard frame	プロテクタ	JIS D 0105
3124	鳥居側柱	鳥居を構成する側面の柱。	guard frame outside post outer pillar	鳥居外柱	JIS D 0105
3125	鳥居上けた	鳥居を構成する側面のはり。	guard frame upper rail upper frame	上縁	JIS D 0105
3126	鳥居中柱	鳥居側柱の間に配し、その下端を床の根太部と結合する主柱。	guard frame inside post center pillar	中柱	JIS D 0105
3127	ダルマ補強	鳥居側柱と中柱の間に配し、その下端を床の根太部と結合する補助柱。		鳩胸補強	
3128	間柱	鳥居中柱の間に配し、その下端を床の根太部と結合する補助柱。		アヒル補強 縦骨	
3129	鳥居横さん	鳥居上けたと床面との中間に横に通すさん。	guard frame cross rail upper member	横通し 横骨	JIS D 0105
3130	鳥居縦さん	鳥居上けたと前立て板との中間部に縦に通すさん。	guard frame gurd bar pipeprotect		JIS D 0105
3131	鳥居つの	鳥居上けたから突出したつの。	guard framestopper	つの	JIS D 0105
3132	鳥居ガゼット	鳥居側柱と床枠との結合材。	guard frame lower gusset	ガゼット 鳥居ブラケット	JIS D 0105
3133	前立板	鳥居に張る板材。	header board	前壁	JIS D 0105
3134	前立外板	前立て板の外板。	header board outside panel	荷受け外板	JIS D 0105
3135	鳥居デッキ	鳥居上部前方に取り付ける小荷物用の台。	guard frame deck	鳥居シートデッキ	JIS D 0105
3136	鳥居枕木	鳥居上けた上面に取り付ける緩衝材。	guard frame sleeper	枕木	JIS D 0105
3137	ガッチャ掛	荷締め機などを掛けるもの。			
3138	ワイヤー掛	荷締めに使うワイヤーなどを掛けるもの。			
3139	箒掛	箒を掛けるパイプ状のもの。		ほうき立て	
3140	スコップ掛	スコップを掛ける装置。			
3141	前廻り梯子	側柱前方に備える梯子状の補強。		鳥居梯子	
3142	コーナープロテクタ	運転台の幅より突出している荷台前端部分に設け歩行者などが衝突する危険を塞ぐための保護具	cornerprotector	段差プロテクター	JIS D 0105
3143	前面フック	鳥居の前面に備えるシート掛け用のフック		鳥居フック	

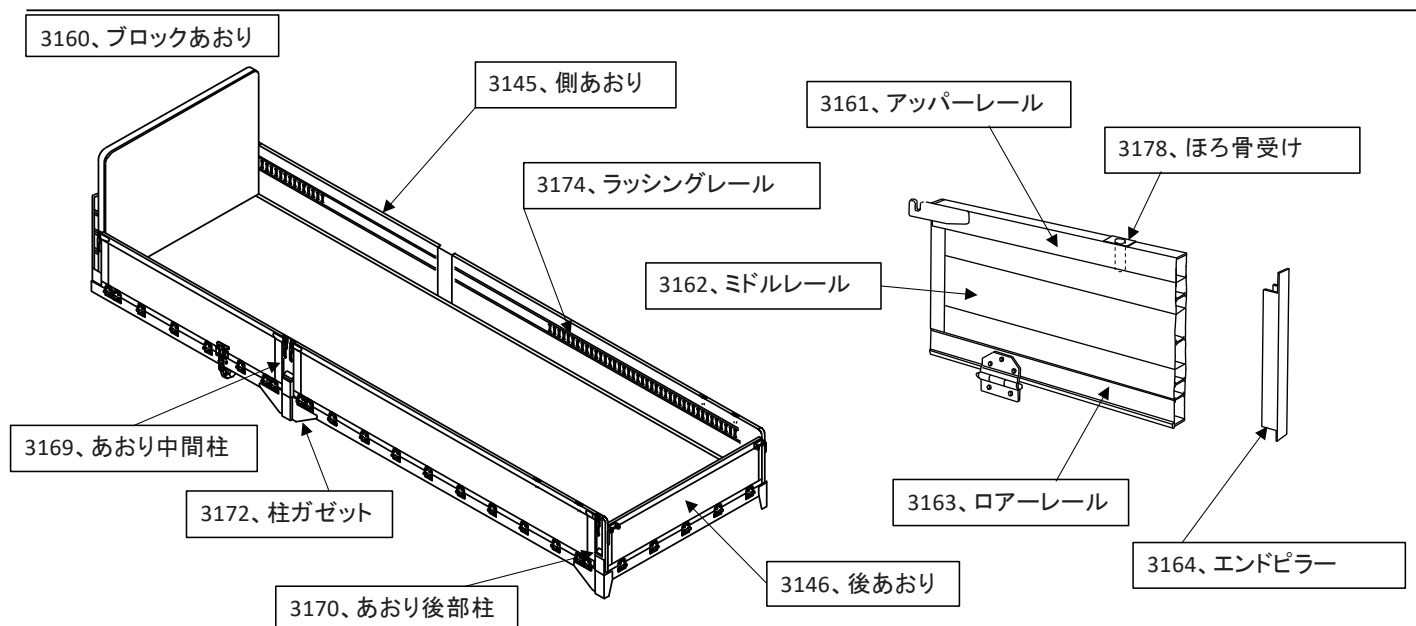
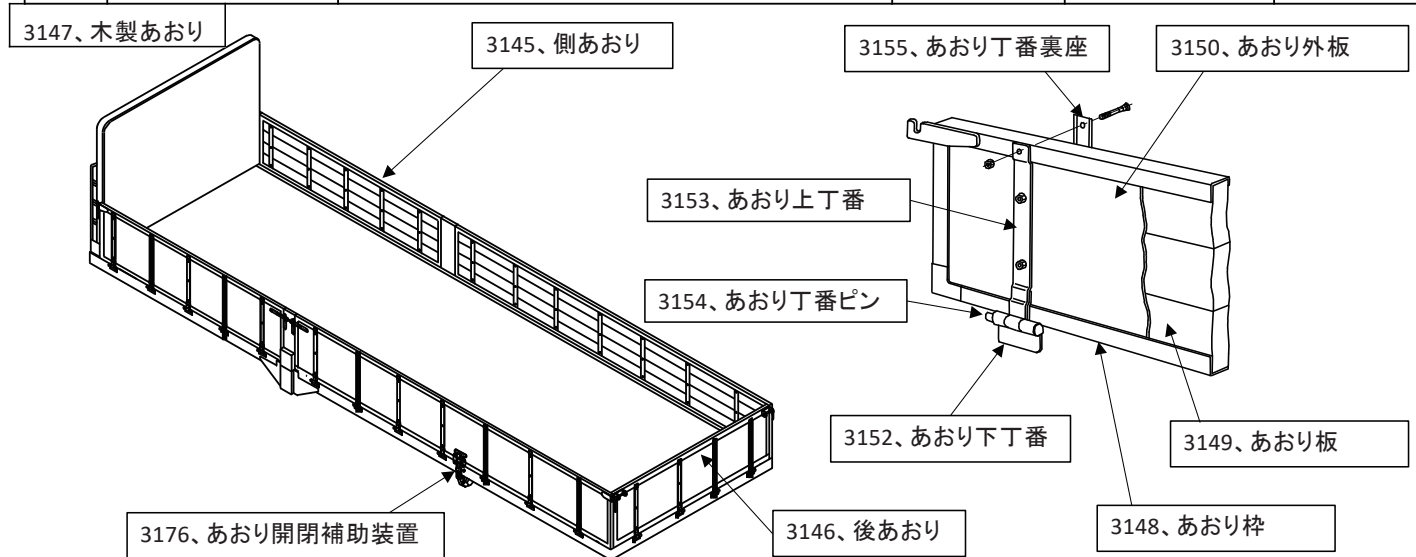
3123、鳥居(総称)

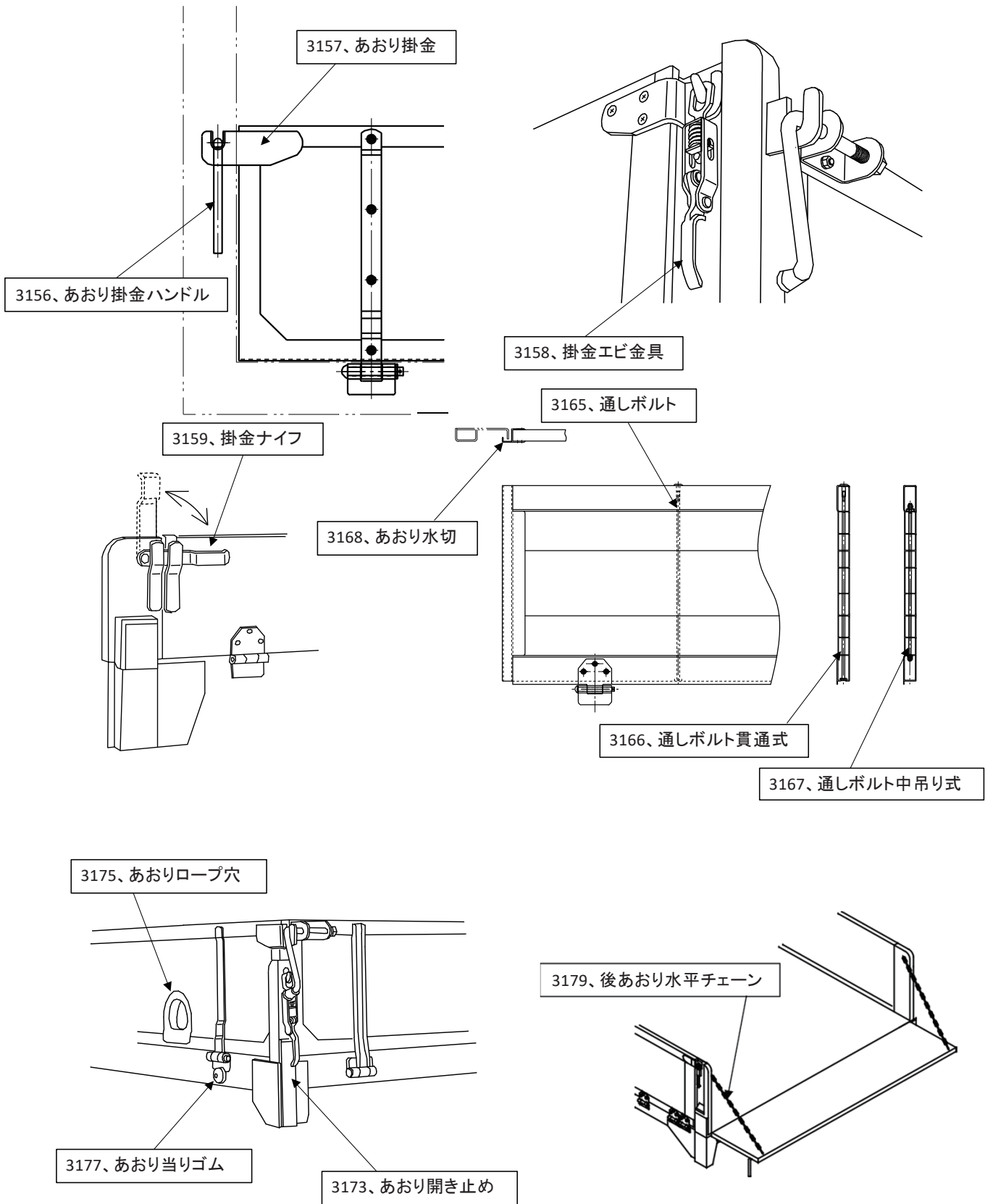


3.3.1 部位(あおり関係)

番号	用語	意味	参 考		
			対応英語	慣用語	引用規格
3144	あおり	荷台の床枠の側を支点として、回転開閉できる構造の囲い。	gate		JIS D 0105
3145	側あおり	荷台の左右に備えるあおり。	side gate		JIS D 0105
3146	後あおり	荷台の後方に備えるあおり。	tail gate		JIS D 0105
3147	木製あおり	あおりの枠の中に差し込む板が木製で、あおり枠、あおり外板、で構成されたもの。		合成あおり	
3148	あおり枠	あおりを構成する枠。	gate rail		JIS D 0105
3149	あおり板	木あおりの枠の中に差し込む木板。	gate board		JIS D 0105
3150	あおり外板	あおりを構成する外板。	gate panel		JIS D 0105
3151	あおり丁番	あおりを開閉するための丁番。	gate hinge		JIS D 0105
3152	あおり下丁番	丁番の下半分、床枠に取り付ける側。	gate lower hinge		JIS D 0105
3153	あおり上丁番	丁番の上半分、あおりに取り付ける側。	gate upper hinge		JIS D 0105
3154	あおり丁番ピン	あおり丁番の回転軸となるピン。	gate hinge pin		JIS D 0105
3155	あおり丁番裏座	あおり上丁番を取り付けるための補強の裏座。	gate hinge inside strip		JIS D 0105
3156	あおり掛金ハンドル	あおりを閉じた状態で締め付けておくためのハンドル。	gate latch handle plate set inner		JIS D 0105
3157	あおり掛金	あおり掛金ハンドルを掛ける、あおりに取り付ける金具。	gate latch		JIS D 0105
3158	掛金エビ金具	バネを用いた跳ね上げ式の掛金ハンドル。		エビカン	
3159	掛金ナイフ	回転式の掛金ハンドルを、あおりと固定部(柱など)に設けた受け金具に差し込んであおりを締め付ける掛金ハンドル。		スプーン掛金ハンドル	
3160	ブロックあおり	組合せが容易な断面を備えた長手部材を積み重ねて組み立てたあおり(アルミが一般的)	block gate	アルミブロック	JIS D 0105
3161	アッパーレール	ブロックあおり上部を構成する長手部材。	upper rail	トップレール	JIS D 0105
3162	ミドルレール	あおり中間部を構成する長手部材。	middle rail		JIS D 0105
3163	ローレール	あおり下部を構成する長手部材。	lowe rail	ボトムレール	JIS D 0105
3164	エンドピラー	長手部材を組み付けるあおりの側縁材。	end pillar	コーナーポスト	JIS D 0105
3166	通しボルト貫通式	通しボルトのうち、アッパーレール上部から、ローレール下部までボルトが貫通している組み方。			
3167	通しボルト中吊り式	通しボルトのうち、アッパーレールの内部から、ローレール内部までボルトにより締付られている組み方。			
3168	あおり水切り	エンドピラーがカギ状になっており、雨水の浸入を防ぐためのもの。			
3169	あおり中間柱	前後に分割した構造の側あおりの中間に設ける柱。	side gate centerpost		

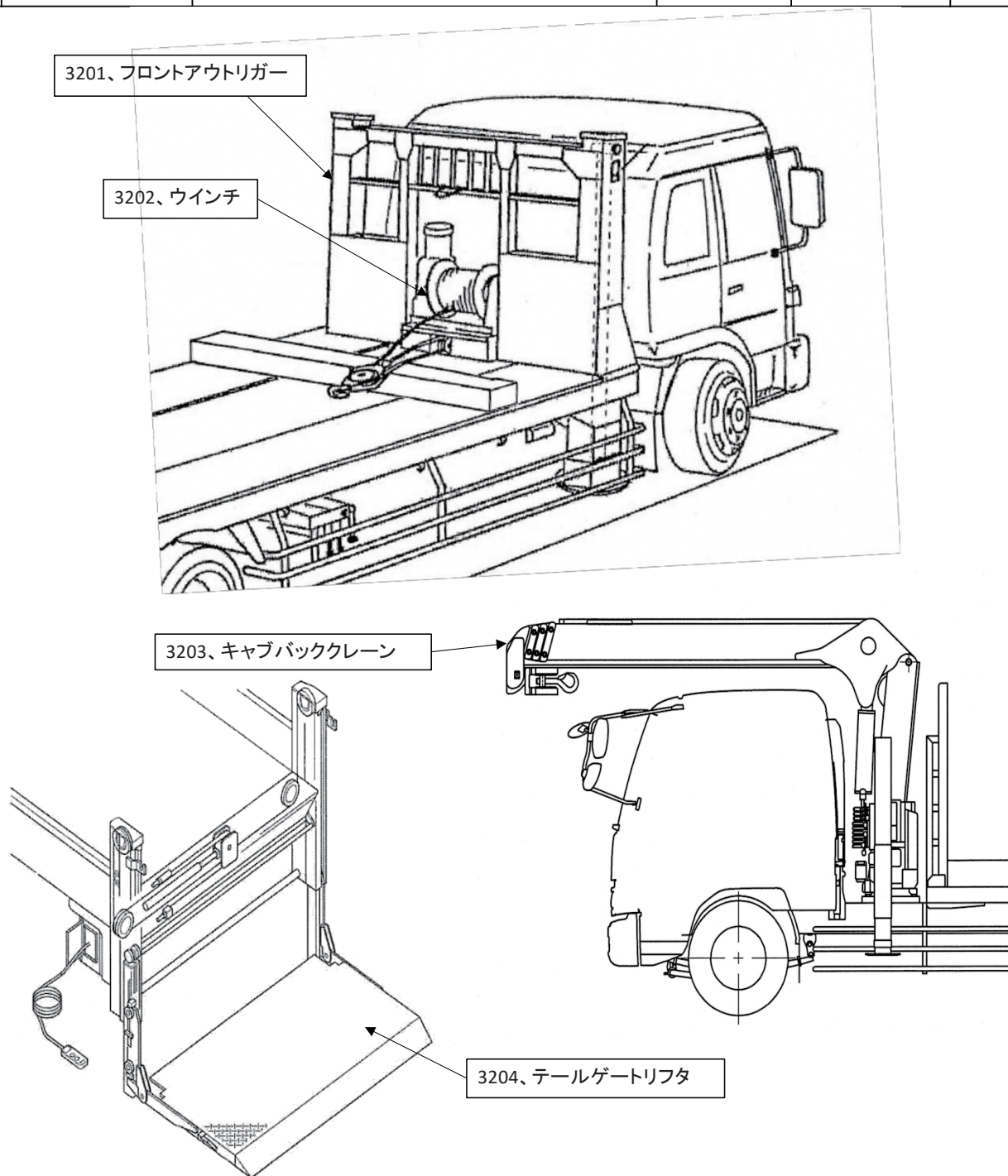
番号	用語	意味	参 考		
			対応英語	慣用語	引用規格
3170	あおり後部柱	側あおりの後に設ける柱。	side gate rear post	後柱	JIS D 0105
3171	回転式柱	あおり同様、荷台の床枠の側を支点として、回転開閉できる中間柱。		回転式中間柱	
3172	柱ガゼット	中間柱、後部柱と床枠の結合材。		ガゼット	
3173	あおり開き止め	側あおり後部の開き止めの金具。	side gate holder	開き止め	JIS D 0105
3174	ラッシングレール	あおりの荷台側に設け、積荷を固縛するベルトなどの先端金具を差込み固定するもの。			
3175	あおりロープ穴	あおりに設けるロープ通しの穴。	gate rope hole	ロープ穴 ロープ通し穴	JIS D 0105
3176	あおり開閉補助装置	あおりの開閉を容易にする補助具。	gate helper		
3177	あおり当りゴム	開いたあおりを受ける緩衝材。	gate cushion	戸当りゴム	JIS D 0105
3178	ほろ骨受け	ほろ骨の受け金具。	awning bowcase		JIS D 0105
3179	後あおり水平チェーン	後あおりを水平に支える鎖。	tail gate chain	あおり吊りチェーン	JIS D 0105





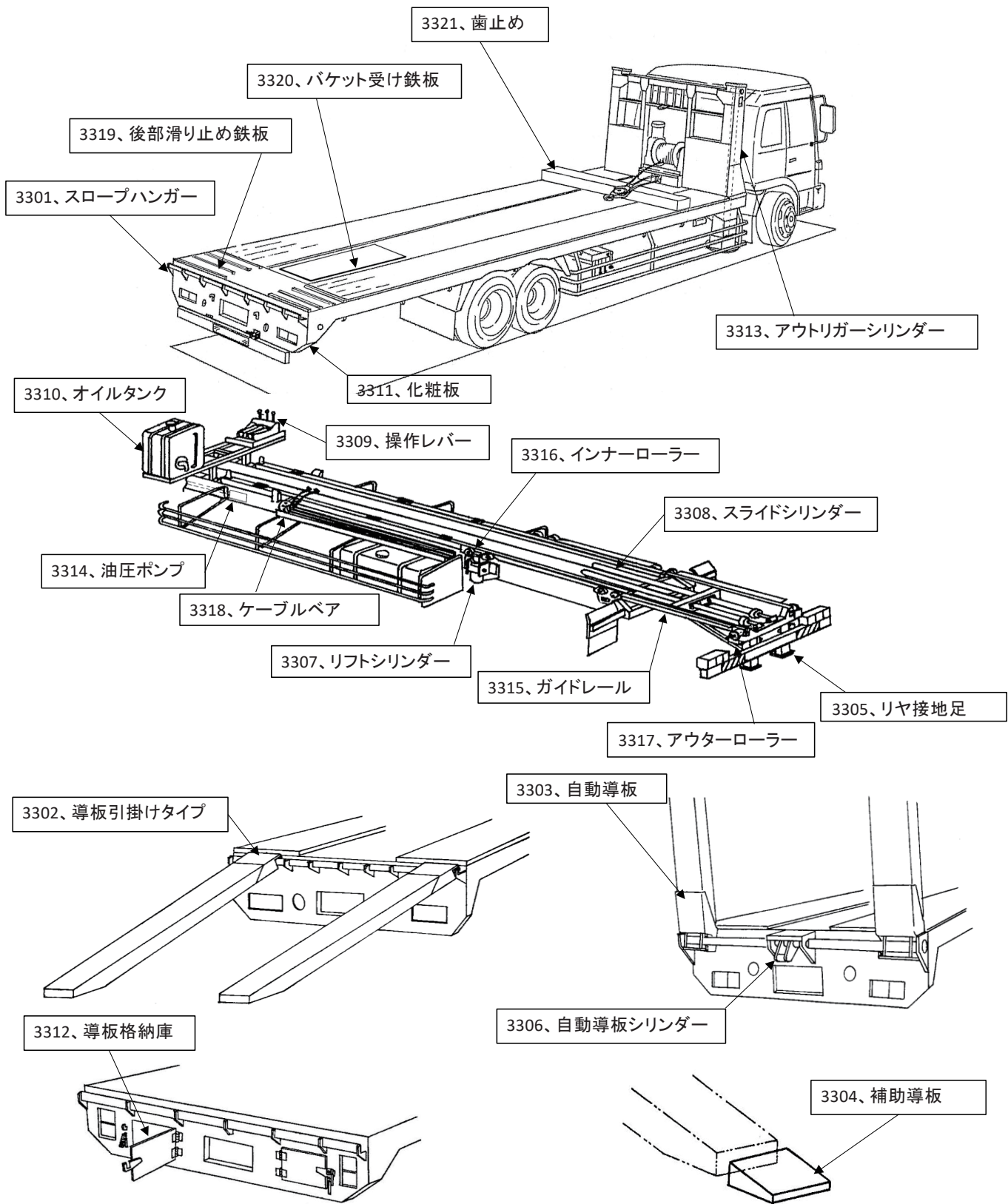
3.3.2 付属装置

番号	用語	意味	参 考		
			対応英語	慣用語	引用規格
3201	フロントアウトリガー	車両前部をダンパアップするもの。	front outrigger		
3202	ウインチ	重機の上げ下ろしの為の装置。	winch		
3203	キャブバッククレーン	運転席と荷台の間にあるクレーン	cab back crane		
3204	テールゲートリフタ	自動車の後部に設備されている省力化リフト。	tail lift		JABIA-P1400



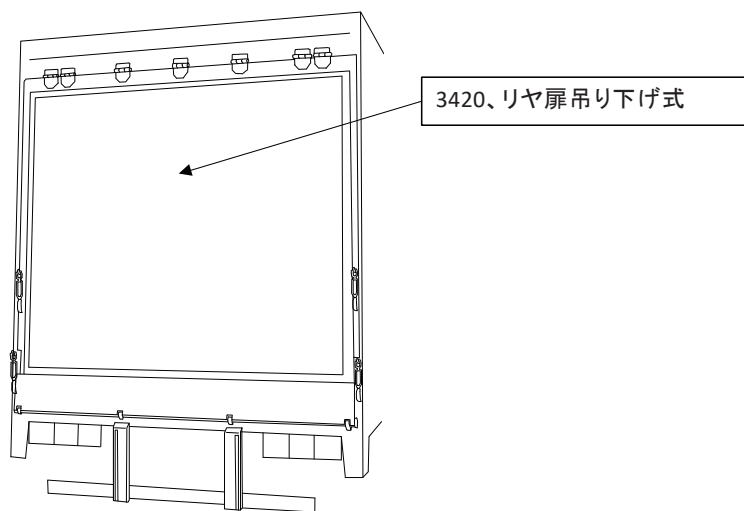
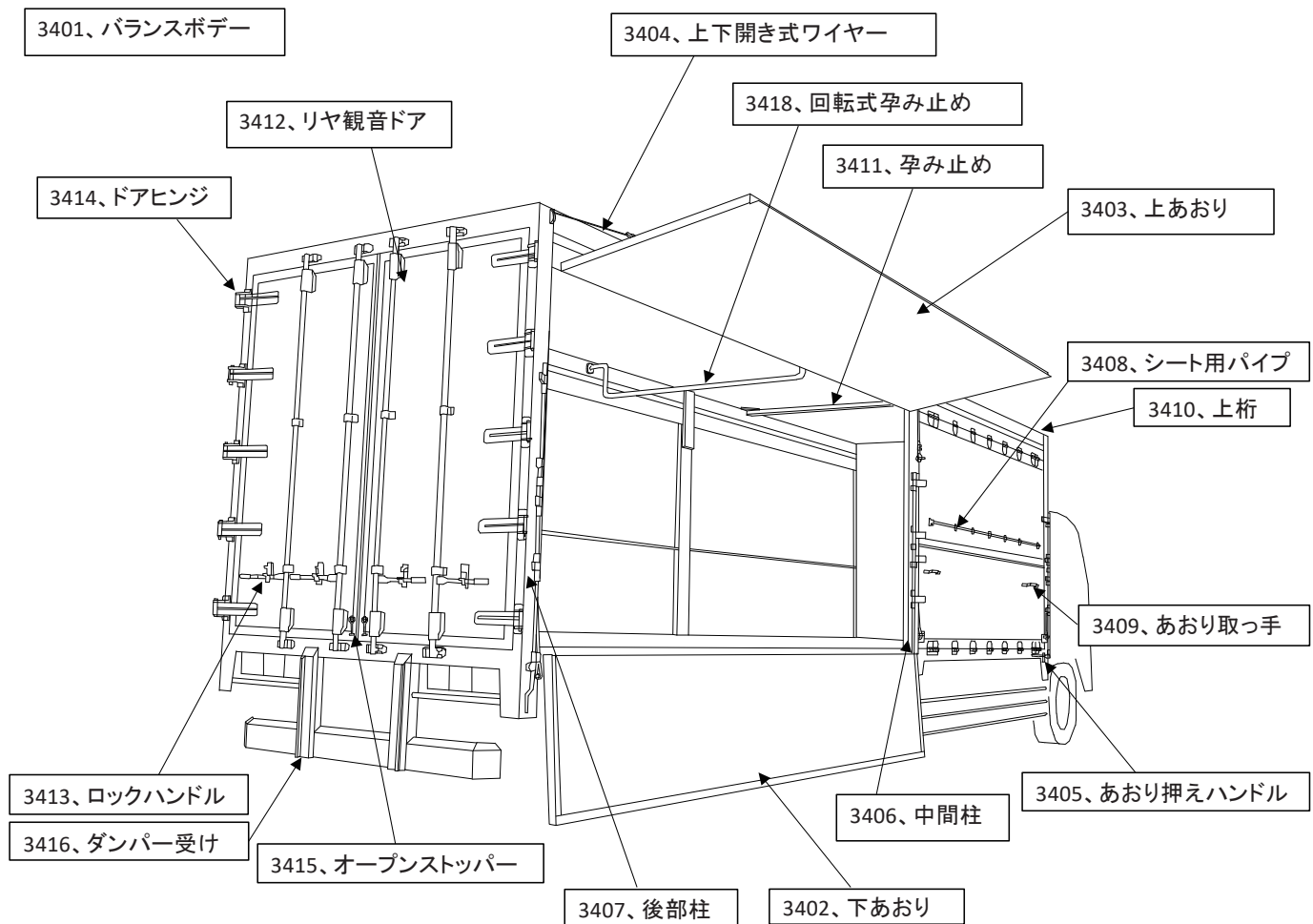
3.3.3 重機運搬車積載装置、油圧装置

	用語	意味	参 考		
			対応英語	慣用語	引用規格
3301	スロープハンガー	車両後部の導板を引掛ける為の部品。		引掛金具	
3302	導板引掛けタイプ	重機を積載する際、人力で導板を作動するもの。	hook type loading	道板掛け	
3303	自動導板	重機を積載する際、油圧で導板を作動するもの。	automatic loading board		
3304	補助導板	重機を積載する際の、補助導板。			
3305	リヤ接地足	車両を傾斜させた時に地面と接地するもの。		リヤ接地板 アウトリガー	
3306	自動導板シリンダー	自動道板を稼働する為の、シリンダー。	hydraulic cylinder		
3307	リフトシリンダー	スライドボデーを上下に稼働する為のシリンダー。	hydraulic cylinder		
3308	スライドシリンダー	スライドボデーを前後に稼働する為のシリンダー。	hydraulic cylinder		
3309	操作レバー	油圧装置を作動させるレバー。	Controllever		
3310	オイルタンク	油圧装置を作動させる油の容器。	hydraulic oil tank		
3311	化粧板	車両を傾斜させた時に地面と接地するもの。	rear ground plate		
3312	導板格納庫	導板を格納する装置。		道板収納	
3313	アウトリガーシリンダー	アウトリガーを稼働する為の、シリンダー。	hydraulic cylinder		
3314	油圧ポンプ	油圧装置を稼働させる為の装置。	oil pump		
3315	ガイドレール	スライドするボデーが通過するレール。	guide rail		
3316	インナーローラー	スライドするボデーを受けるボデー内側のローラー。	inner roller		
3317	アウトローラー	スライドするボデーを受けるボデー外側のローラー。	outer roller		
3318	ケーブルベア	スライドボデーの油圧ホースを保護する部品。	cable bear		
3319	後部滑り止め鉄板	重機を積載する際の、キャタピラの滑り止め。			
3320	バケット受け鉄板	積載されたショベルカーのバケット受けの鉄板。			
3321	歯止め	ボデー前端に取付ける積載物ストッパー。	stopper		



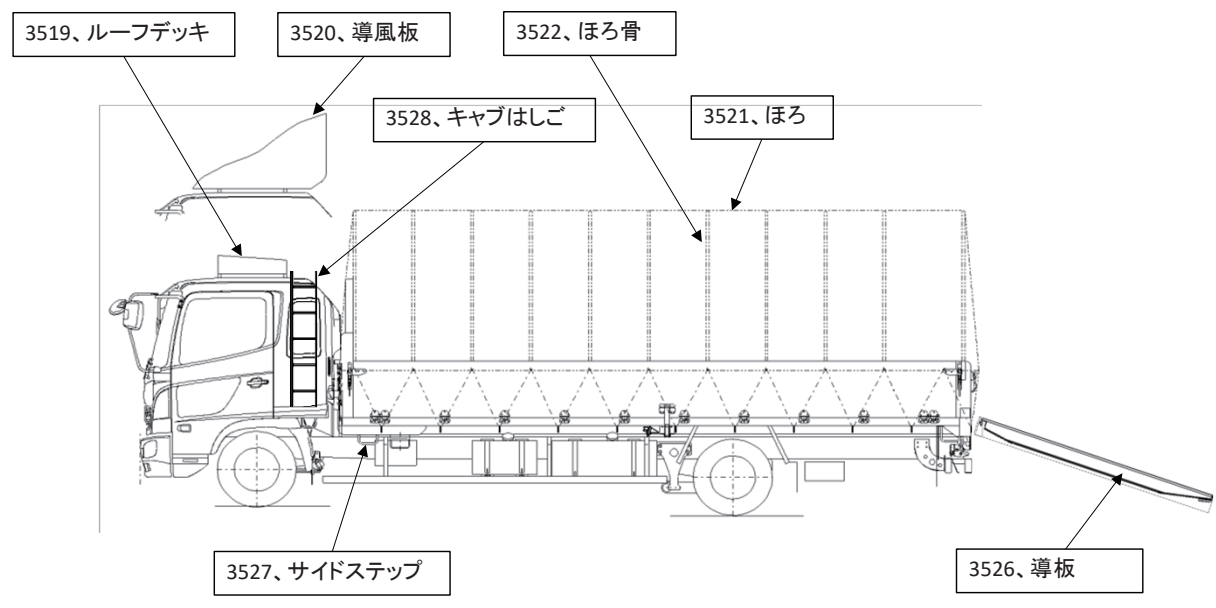
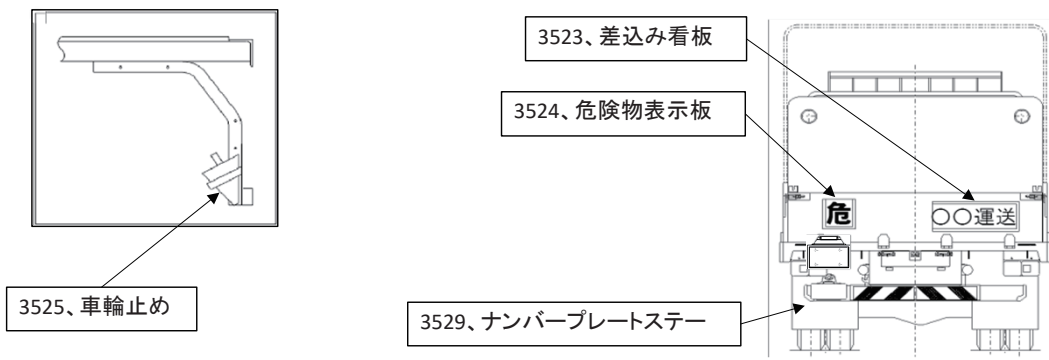
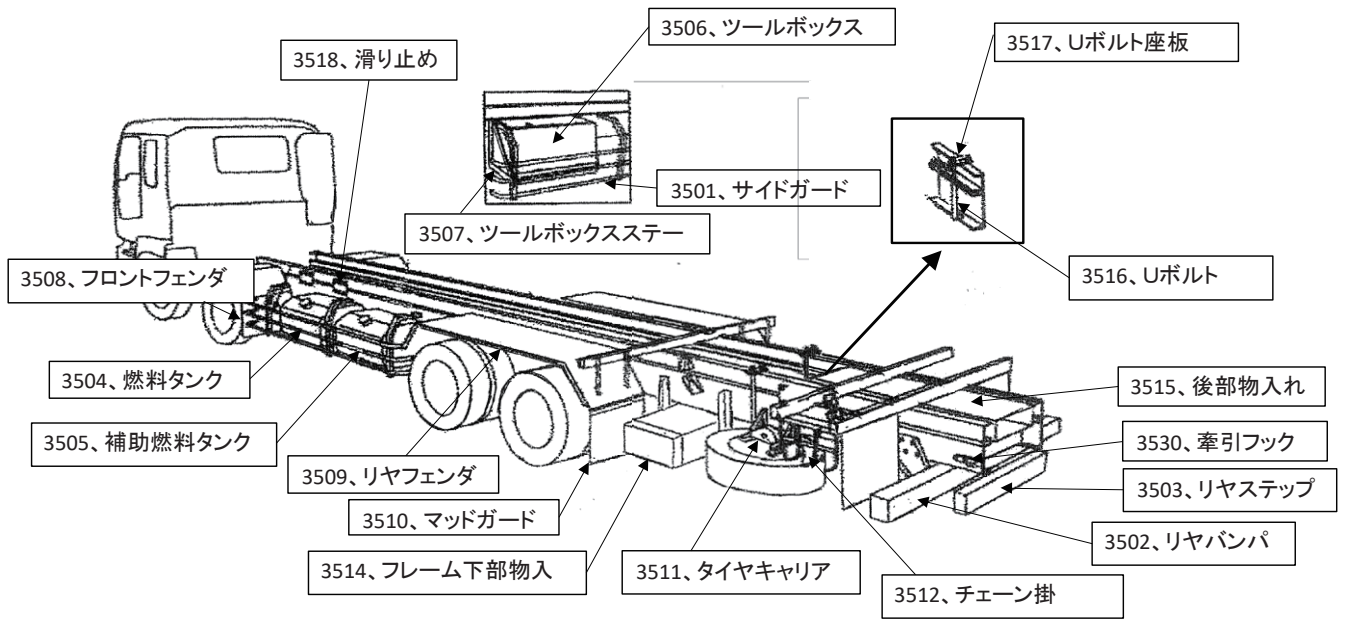
3.3.4 チップ運搬車

番号	用語	意味	参 考		
			対応英語	慣用語	引用規格
3401	バランスボデー	車両側面に上下開閉式のあおりを設けた車両。			
3402	下あおり	バランスボデーの下側のあおり			
3403	上あおり	バランスボデーの上側のあおり			
3404	上下開き式ワイヤー	バランスボデーの上下あおりを連動させるためのワイヤー。			
3405	あおり押えハンドル	バランスボデーの上下あおりを閉じた状態で絞めつけておくためのハンドル。			
3406	中間柱	前後に分割した構造の上下あおりの中間に設ける柱。			
3407	後部柱	上下あおりの後に設ける柱。			
3408	シート用パイプ	屋根にかけるシートを止めるためのパイプ。			
3409	あおり取っ手	バランスボデーのあおりを開く際、下あおりを引くためのもの。			
3410	上桁	上あおりを固定するための桁。			
3411	孕み止め	積載時、荷台の孕みを防止するため設けられた、左右の上桁を繋ぐ梁。		開き止め	
3412	リヤ観音ドア	各々左右に開閉するドア。	double swing door	観音扉	JABIA-V1200
3413	ロックハンドル	ドアを開閉する為のハンドル。	door locking handle		JABIA-V1200
3414	ドアヒンジ	ドアを開閉する為の丁番。	door hinje	観音丁番 後扉ヒンジ	JABIA-V1200
3415	オープンストッパー	リヤ観音ドアを開いた状態で保持するもの。	open stopper	観音扉丁番 270° ストッパー	
3416	ダンパー受け	チップを車両ごと傾斜させ荷下ろしする際、車両の後部に設置する車両当たり止め台。			
3417	チップ除け	チップを積み込む際、シャシ側の部品等にのらないようチップを逃がす三角型の装置。		チップ滑り	
3418	回転式孕み止め	回転式の孕み止め。		回転式開き止め	
3419	可動式あおり受けゴム	下し残りのチップを下す際、あおりを開いた状態で車両を移動させるときに使用するあおり受け材(通常走行時は格納)。			
3420	リヤ扉吊り下げ式	リヤあおりの上側に丁番が設けられダンパーした際下側が開く構造の扉。			
3421	回転式チップ滑り	チップを下す際真下にチップが落ちないようにガイド状になっている装置。			
3422	外れ防止チェーン	孕み止め用のハンドルの外れ防止用するチェーン。			
3423	ウォーキングフロア(商品名)	床材の動きにより積み荷を移動させ荷下ろしする構造の床材。			



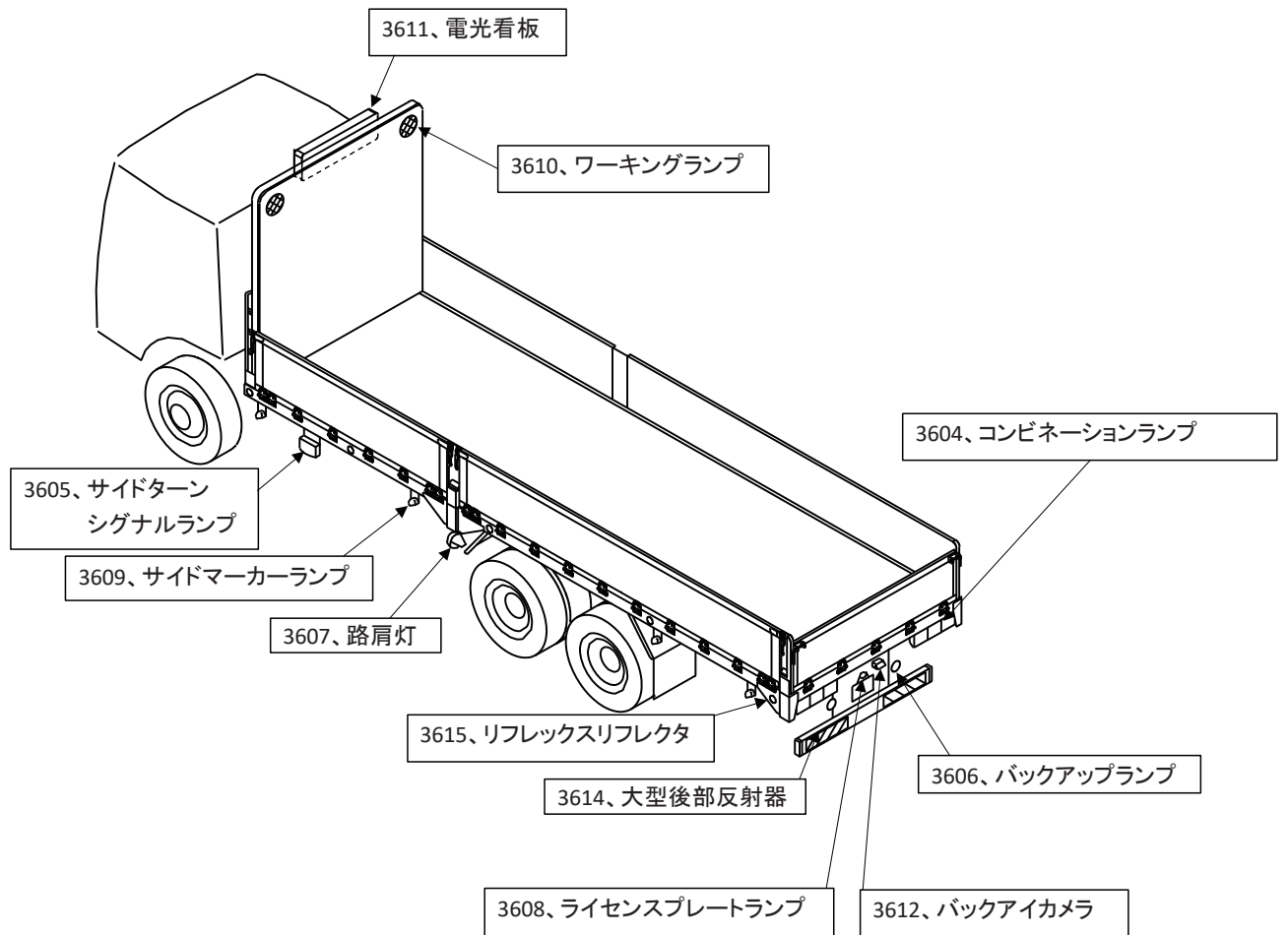
3.3.5 下廻・艀装

番号	用語	意味	参 考		
			対応英語	慣用語	引用規格
3501	サイドガード	自動車の側面に備える巻込み防止装置。	side guard	サイドバンパ 巻込み防止装置	JIS D 0105
3502	リヤバンパ	自動車の後面に備え、車体の損傷軽減及び突入防止を図る装置。	rear bumper	後部突入防止装置	JIS D 0105
3503	リヤステップ	自動車の後面に設けられた荷台に上るための足掛け。	step		
3504	燃料タンク	エンジンに供給する燃料を入れておくタンク。	fuel tank	メインタンク	
3505	補助燃料タンク	予備の燃料タンク	spare fuel tank	スペアタンク サブタンク	JIS D 0105
3506	ツールボックス	携行工具を収納する箱。	tool box	工具箱、道具箱	JIS D 0105
3507	ツールボックスステー	ツールボックスを取り付ける金具。	tool box stay	道具箱ステー 工具箱ステー	JIS D 0105
3508	フロントフェンダ	前車輪部の泥除け。	front fender		JIS D 0105
3509	リヤフェンダ	後車輪部の泥除け。	rear fender		JIS D 0105
3510	マッドガード	フェンダに取り付ける泥除けのたれ板。	mud guard	泥除けゴム	JIS D 0105
3511	タイヤキャリア	予備タイヤを収納する装置。	spare tire carrier		JIS D 0105
3512	チェーン掛	タイヤチェーンを引っ掛けて収納するフック状の装置。	tire chain hanger	スペアタイヤキャリア タイヤチェーン掛	
3513	フレーム側面物入	自動車のフレーム側面に設ける物入れ。		WB間物入れ	
3514	フレーム下部物入	フレームの下部に取り付けられ自動車の左右方向から長尺物を収納する物入れ。		りんぎ入れ ROH物入れ	
3515	後部物入	後部フレームの空間に設ける物入。	container	フレーム間物入れ 縦根太間物入れ	JIS D 0105
3516	Uボルト	荷台をシャシに締め付けるU字型のボルト。	U-bolt		JIS D 0105
3517	Uボルト座板	Uボルトにかけるナット側の座板。	U-bolt set plate	Uボルト座金	JIS D 0105
3518	滑り止め	荷台のずれを止める金具。	brace	対向ブラケット テンションブラケット テンションボルト ずれ止め	JIS D 0105
3519	ルーフデッキ	運転台の屋根の上に取り付ける小荷物台。	roof deck	シートキャリア 屋根デッキ シート台	JIS D 0105
3520	導風板	運転台の屋根の上に取り付ける、空気抵抗を低減させるための装置。	air deflector	エアデフレクター	
3521	ほろ	雨、日射などを避けるために荷台にかける覆い。	awning	風防 オーニング 幌シート シート	
3522	ほろ骨	ほろの受け棒。	awning bow	オーニングパイプ ホロ骨 ディックボー 幌棒	JIS D 0105
3523	差込み看板	荷台の外側面に取り付ける交換可能な看板。	detachable sign board		JIS D 0105
3524	危険物表示板	危険物運搬の標識を表示した板。	danger sign board	危険マーク 危マーク 危険物看板	JIS D 0105
3525	車輪止め	車輪の転がり止め。	choke	歯止め 輪止め	JIS D 0105
3526	導板	床と地面との間にかける渡り板。	loading ramp	道板、歩み板	JIS D 0105
3527	サイドステップ	荷台に昇降するための足掛け。	side step	足掛け	
3528	キャブはしご	ルーフデッキに昇降するための梯子	radder	ラダー	
3529	ナンバープレートステー	番号標を取り付けるための金具。	license plate stay	ナンバーステー	

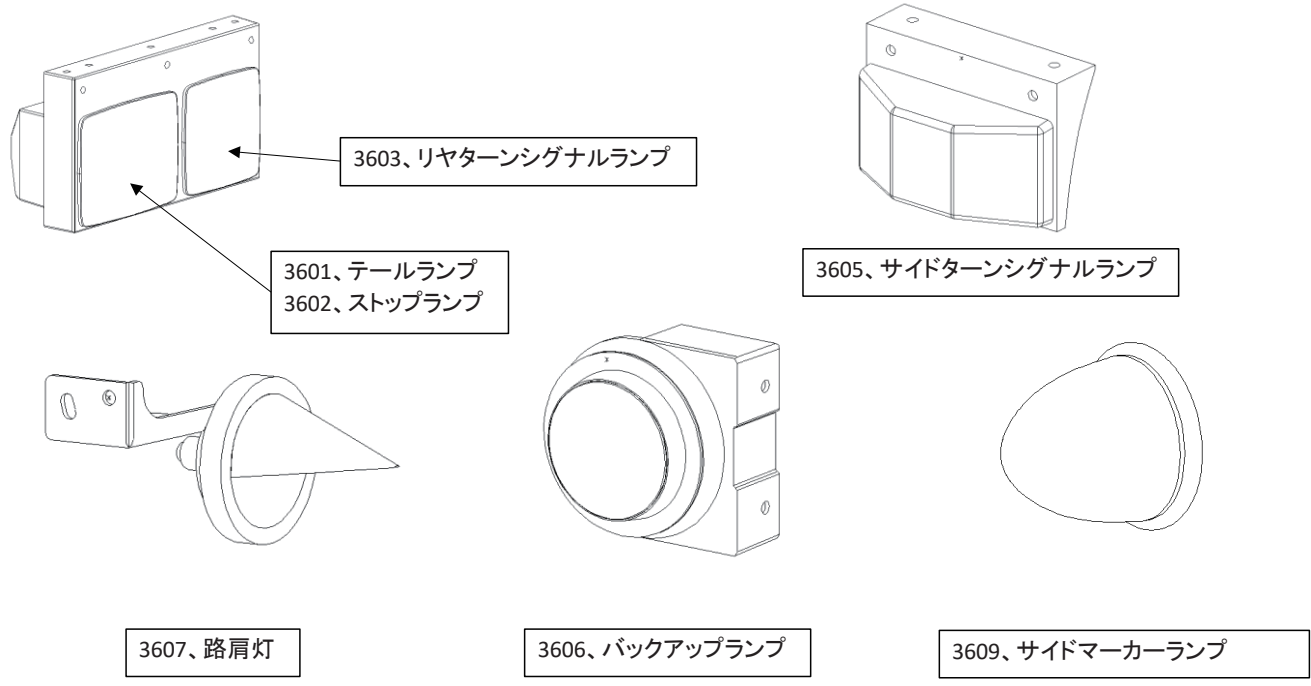


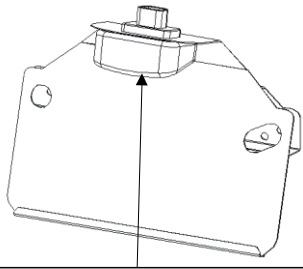
3.3.6 電装関係

番号	用語	意味	参 考		
			対応英語	慣用語	引用規格
3601	テールランプ	夜間、後方に対して、その存在を知らしめるための標識用ランプ。	taillamp	尾灯	JIS D 0103
3602	ストップランプ	走行中、後方に対して制動中であることを知らせるための信号用ランプ。	stop lamp	制動灯 ブレーキランプ	JIS D 0103
3603	リヤターンシグナルランプ	走行中、主に後方に対して左折または右折することを知らせるための信号用ランプ。	rear turn signal lamp	後面方向指示器、ウインカー	JIS D 0103
3604	コンビネーションランプ	照明用、信号用又は標識用のうちの2種類以上の灯火機能、又はリフレックスリフレクタを組み合わせて一体化した構造の灯火装置。	combination lamp	リヤコンビランプ テールランプ	JIS D 0103
3605	サイドターンシグナルランプ	走行中、主に側方に対して左折または右折することを知らせるための信号用ランプ。	side turn signal lamp	側面方向指示器、ウインカー、 中間フラッシャー サイドフラッシャー	JIS D 0103
3606	バックアップランプ	後退時に後方の安全確認と後退することを知らせるための照明信号ランプ。	back-up lamp	後退灯 バックランプ	JIS D 0103
3607	路肩灯	夜間、路面の後側面の安全を確認するための照明用ランプ。	road verge lamp	タイヤ灯	JIS D 0103
3608	ライセンスプレートランプ	夜間走行中又は駐車中、番号標の表示を確認させるための照明用ランプ。	licence plate lamp	ナンバー灯 番号灯	JIS D 0103
3609	サイドマーカーランプ	夜間走行中、側方に対して車長を示す標識用ランプ。	side marker lamp	車幅灯	JIS D 0103
3610	ワーキングランプ	夜間作業のため、一定範囲を照射する照明用ランプ。	working lamp	作業灯	JIS D 0103
3611	電光看板	照明付きの看板。	light sign board	アンドン	JIS D 0105
3612	バックアイカメラ	自動車の後方にカメラを取り付け、後退時に運転室のモニターで後方の状況を確認する装置。	back eye camera	バックカメラ	
3613	バックブザー	後退を警告するブザー。	back-up buzzer		JIS D 0103
3614	大型後部反射器	法令で指定されたトラックの後面の夜間視認性を向上させるために取り付ける、表面に光の照射方向に反射する材料及び蛍光性材料をはり付け、又は塗布した長方形の板。	rear marking plate		JIS D 0103
3615	リフレックスリフレクタ	外部からの光を、ほぼ入射した方向に反射させる機能を持ち、夜間に自動車の存在を知らせるための標識用部品。(側方反射器、後部反射器)	reflex reflector	リフレクタ 反射器	JIS D 0103
3616	クリアランスランプ	荷物室の上部両端に取り付け、前方及び後方に対して、自動車の幅、高さを示す標識用ランプ。	clearance lamp	トップマーカーランプ 車高灯	
3617	ルームランプ	車室内を照らす照明用ランプ。	room lamp	室内灯 庫内灯	
3618	再帰反射材	荷物室の側面及び後面、又は運転台の側面に貼付け、外部からの光を反射して自動車の幅、長さ、高さを示すための部品。	Retroreflective material	リフレクタ	

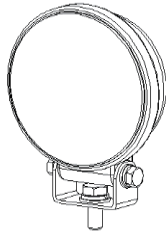


下記に詳細を示す

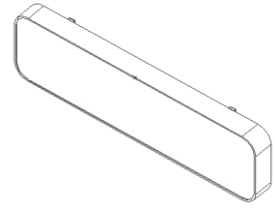




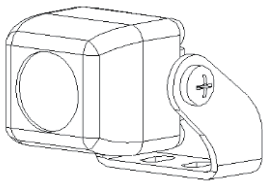
3608、ライセンスプレートランプ



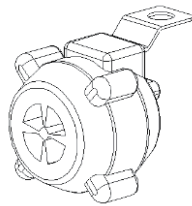
3610、ワーキングランプ



3611、電光看板



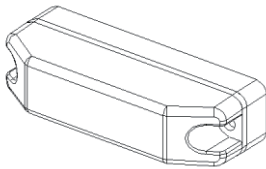
3612、バックアイカメラ



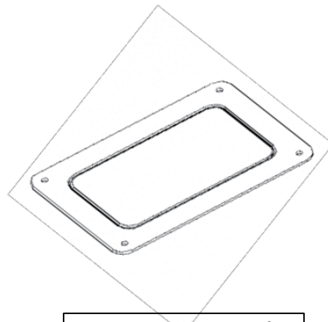
3613、バックブザー



3615、リフレックスリフレクタ



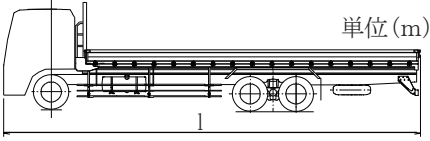
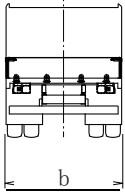
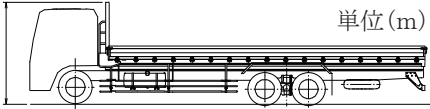
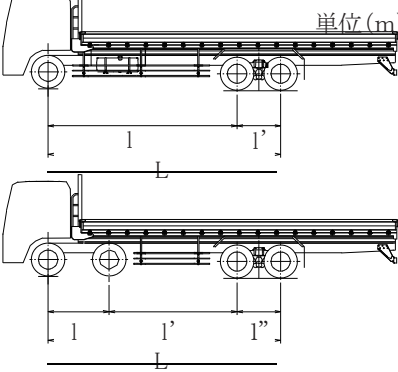
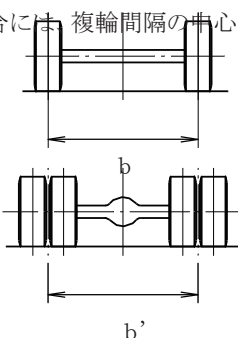
3616、クリアランスランプ

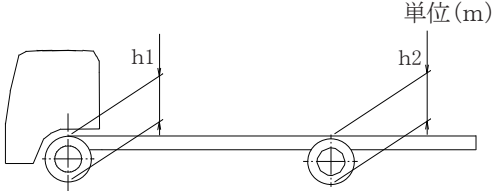
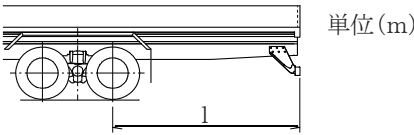
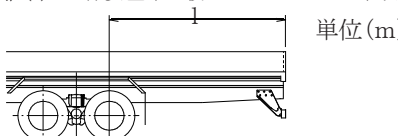
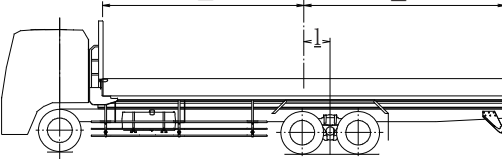


3617、ルームランプ

3.4 諸元に関するもの

3.4.1 寸法

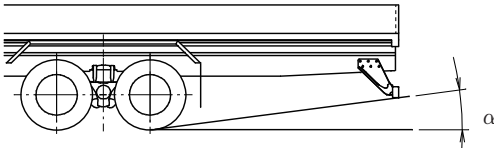
番号	用語	意味	参 考		
			対応英語	慣用語	引用規格
4001	全長	<p>自動車の縦中心面に垂直、かつ、自動車の前及び後の各々に接する2鉛直面間の距離。(1)</p>  <p style="text-align: right;">単位 (m)</p>	motor vehicle length, overall length		JIS D 0102
4002	全幅	<p>自動車の縦中心面に平行、かつ、縦中心面の両側で自動車に接する2平面間の距離。(b)</p>  <p style="text-align: right;">単位 (m)</p>	vehicle width, overall width		JIS D 0102
4003	全高	<p>接地面と自動車最高部に接する水平面との間の距離 (h) ただし自動車の各部分は通常の運行状態とする。</p>  <p style="text-align: right;">単位 (m)</p>	vehicle height, overall height		JIS D 0102
4004	軸距	<p>前後の車軸の軸中心間の水平距離。 (備考) 3軸車では、前車軸と中間の車軸との間を第一軸距 (1)、中間の車軸と最後車軸との間を第二軸距 (1')、第一軸距と第二軸距との和を最遠軸距 (L) という。 同様に4軸車では、第三軸距 (1'') があり、この場合の最遠軸距は、第一・第二・第三軸距の和である。(L)</p>  <p style="text-align: right;">単位 (m)</p>	motor vehicle wheel space, wheel base	ホイールベース	JIS D 0102
4005	輪距	<p>左右のタイヤの、接地面との接触面の中心間の距離 (b)。 複輪の場合には、複輪間隔の中心間の距離 (b')</p>  <p style="text-align: right;">単位 (m)</p>	track, tread	トレッド	JIS D 0102

番号	用語	意味	参 考		
			対応英語	慣用語	引用規格
4006	重心高さ	接地面から自動車の重心までの高さ。単位 (m) (備考) 積荷があるときには、その状態を付記する。	height of gravitational center	重心高	JIS D 0102
4007	フレーム地上高	接地面から、前車軸及び後車軸を含む鉛直面上におけるフレーム上面までの高さ(h1及びh2) 	height of chassis	フレーム高さ	JIS D 0102
4008	荷台の最大寸法	内部に突き出した部分を考慮しないで測定した、荷台の内側の長さ(a)、幅(b)、高さ(c)。ただし、あおりがある場合には、その内側の高さをいう。 (備考) 内部突起物(ホイールハウス、金具など)がある場合には、その旨を付記する。	dimensions of rear body	内寸長 内寸幅 内寸高 内法長 内法幅 内法高	JIS D 0102
4009	荷台の有効寸法	内部に突き出した部分を考慮して内部容積を決定する場合の、荷台の内側の長さ(a)、幅(b)及び高さ(c)。 ただし、あおりがある場合には、その内側の高さをいう。 (備考) 内部突起物(ホイールハウス、金具など)がある場合には、その旨を付記する。 単位 (m)			
4010	後オーバーハング	最後車輪中心を通り、縦中心面に直角は鉛直面から、自動車の最後部までの水平距離(l)。 (備考) けん引装置、バンパなど自動車に固着してあるものは、すべてこの中に含める。 			
4011	後ボデーオーバーハング	最後車輪中心をとおり、縦中心面に直角な鉛直面から、ボデー最後端(バンパ及びその付属物を除く)までの水平距離(l) ※保安基準の後オーバーハングは本項 			
4012	荷台オフセット	後車軸の中心軸と荷台床面の中心点との水平距離。(l) (備考) 1、後車軸が2軸の場合の後車軸は、前・後の車軸の中央。ただし、荷重支点が車軸の中央にないものでは、その荷重中心。 (備考) 2、荷台の中心が後車軸の前にある場合を正(+)、後ろにある場合を負(-)とする。 	rear body offset	オフセット	JIS D 0102

3.4.2 重量

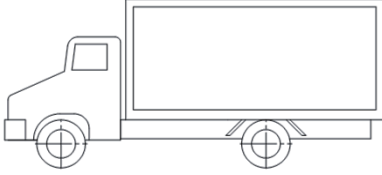
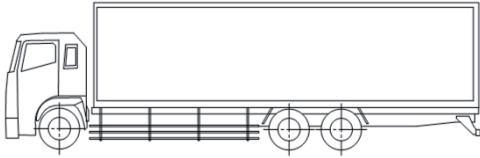
番号	用語	意味	参 考		
			対応英語	慣用語	引用規格
4101	車両重量	空車状態の車両の重量。単位(kg)	vehicle weight	空車重量	JABIA C1700
4102	最大積載量	車両に許容された最大の積載荷重。単位(kg)	maximum payload		JABIA C1700
4103	車両総重量	車両重量と最大積載量の総和。単位(kg)	gross vehicle weight		JABIA C1700

3.4.3 角度

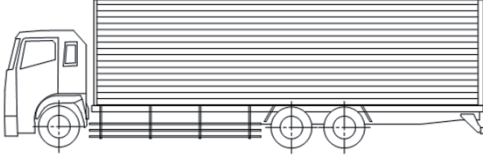

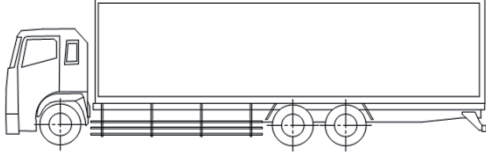
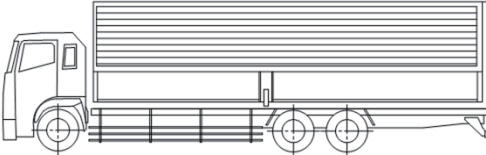
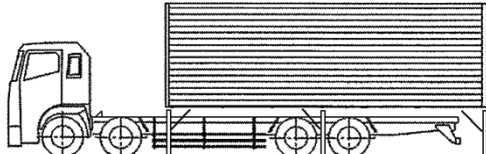
番号	用語	意味	参 考		
			対応英語	慣用語	引用規格
4201	最大安定傾斜角度	<p>車両を横に傾斜させた場合にまさに転倒しようとするときの横安定性をあわらす角。ただし車両を横に傾斜させた場合、反対側の全ての車輪が測定台床面を離れるときの測定台床面と水平面とのなす角度。 単位(度)</p>	maximum tilting angle	転角	JABIA C1700
4202	デパーチャーアングル	<p>自動車の後部下端から後輪タイヤ外周への接平面が、地面となす角度。(α)。 (備考)自動車のいかなる固着部分も、この角度内には存在しない範囲である。 単位(度)</p> 	departure angle		JABIA C1700

バン用語集

3.1 全般に関するもの

番号	用語	意味	参 考		
			対応英語	慣用語	引用規格
1001	トラック	主に、物品を輸送する目的のために設計及び装備されたモータビークル。	commercial vehicle, motor truck(米), motor lony(英)		JIS D 0101
1002	ボンネットトラック	原動機部の覆いが運転室の前方に出ているトラック。 	cab-behind-engine truck	ボンネット	JIS D 0101
1003	キャブオーバートラック	原動機の全部又は大部分が運転室の下方にあるトラック。 	cab-over-engine truck	キャブオーバー	JIS D 0101

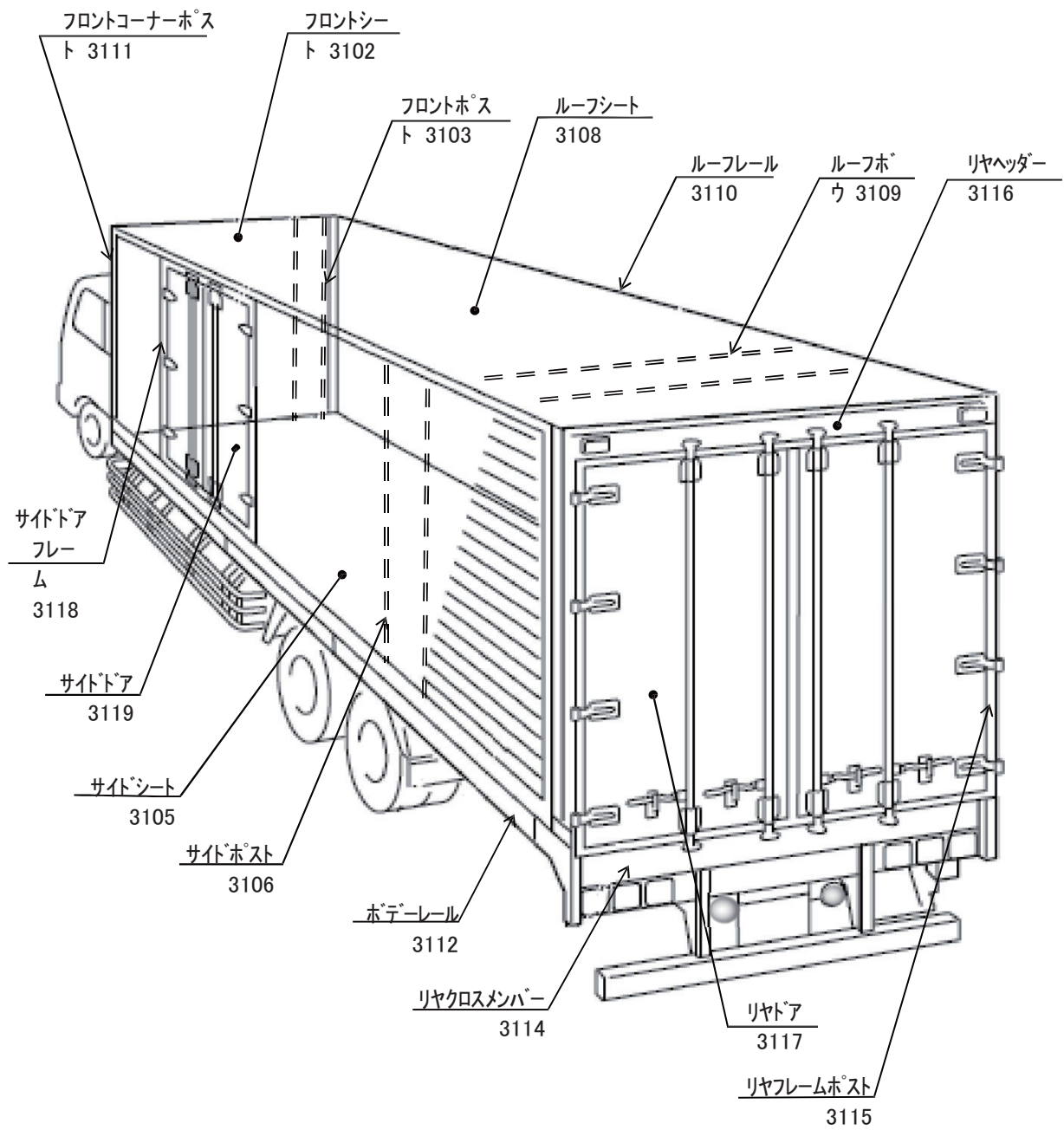
3.2 形状,用途,構造に関するもの

番号	用語	意味	参 考		
			対応英語	慣用語	引用規格
2001	バン	密閉箱型で後面に(又は側面にも)ドアを有するトラックで雑貨等を運搬するもの。 	van	ドライバン	JABIA C1700
2002	オープントップバン	屋根板のないバンボデーで雑貨, チップ等を運搬するもの。	open top van		JABIA C1700
2003	冷蔵・冷凍バン	断熱車体に冷凍機を搭載しているトラックで冷凍食品, 生鮮食品等を運搬するもの。 	refrigerated van	冷凍車	JABIA C1700
2004	保冷バン	断熱車体のトラックで乳製品, 生鮮食品等を運搬するもの。 	insulated van	保冷車	JABIA C1700
2005	ウイングバン	側面開放式バンボデーを有するトラックで雑荷等を運搬するもの。 	wing van	ウイング	JABIA C1700
2006	スワップボディ	キャリア単体, コンテナ単体, もしくはキャリアにコンテナを積載した状態のもの。 	swap body	スワップボディ コンテナ車両	JABIA G1001

3.3 部位, 装置に関するもの

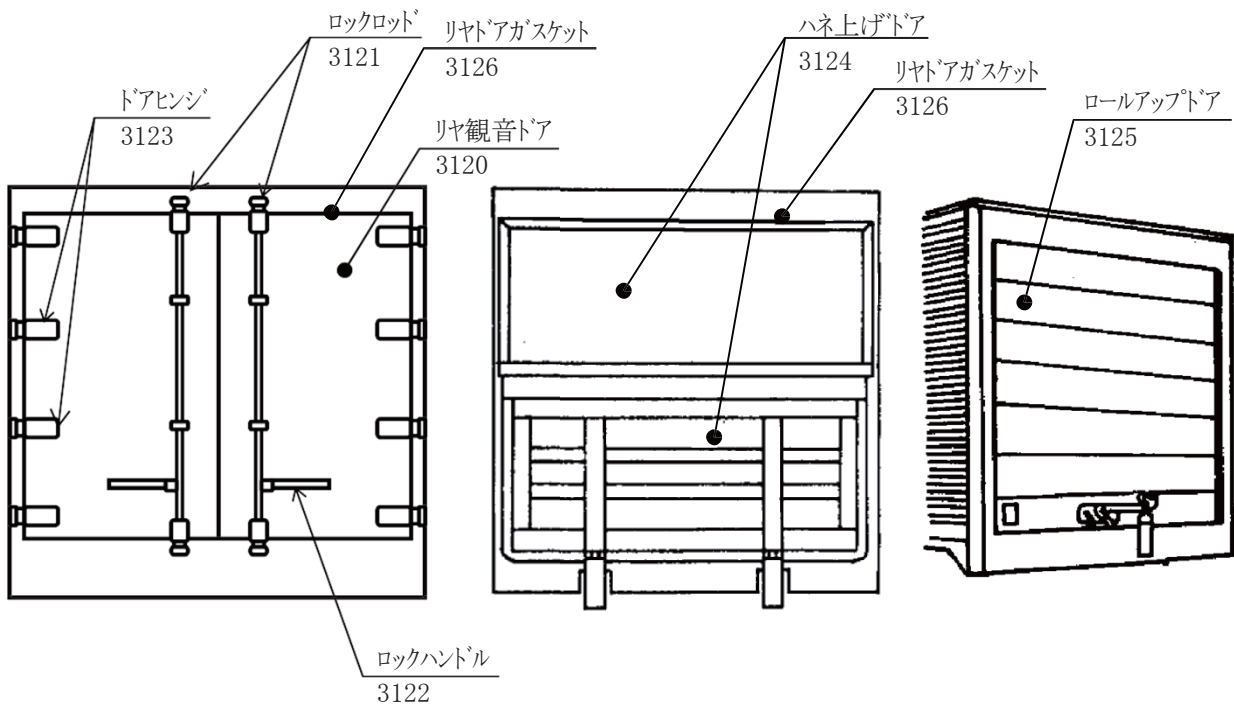
3.3.1 構 体 -バンボデー-

番号	用語	意味	参 考		
			対応英語	慣 用 語	引用規格
3101	フロントウォール	バンボデー前部の隔壁の総称。	front wall	フロントパネル	
3102	フロントシート	フロントウォールの外側の板。	front sheet	フロント外板, フロントパネル	
3103	フロントポスト	フロントウォールの補強ポスト。	front post	ポストインター, フロントピラ	
3104	サイドウォール	バンボデー側面の隔壁の総称。	side wall	サイドパネル	
3105	サイドシート	サイドウォールの外側の板。 コルゲート: 金属板を凹凸に加工した部材。	side sheet corrugate	サイドパネル, サイド外板 波板	
3106	サイドポスト	サイドウォールの補強ポスト。	side post	ポストインター, サイドピラ	
3107	ルーフ	バンボデー天井の隔壁の総称。	roof	天井	
3108	ルーフシート	ルーフの外側の板。	roof sheet	ルーフパネル, ルーフ外板	
3109	ルーフボウ	ルーフの横棧。	roof bow	ルーフピラ, ボウルーフ	
3110	ルーフレール	ルーフとフロントウォール又はサイドウォールを固定するレール。	roof rail	上部レール, アッパーレール	
3111	フロントコーナーポスト	フロントウォールとサイドウォールを固定するレール。	front corner post	すみ柱	
3112	ボデーレール	フロントウォール又はサイドウォールの下部を固定するレール。	body rail	ロアレール	
3113	リヤフレーム	後部の隔壁の総称。	rear frame	門構, リアフレーム	
3114	リヤクロスメンバー	リヤフレーム下部の床受け部分の棧。	rear cross member	リヤボルスター, ロアメンバー	
3115	リヤフレームポスト	リヤフレーム左右の縦棧。	rear frame post	リヤポスト	
3116	リヤヘッダー	リヤフレーム上部, 開口部の棧。	rear header	ヘッダー	
3117	リヤドア	後部からの荷役作業をする為の扉。	rear door	後扉, リヤ扉, リアドア	
3118	サイドドアフレーム	サイドウォールにドアを設ける為の構体。	side door frame	サイド門構	
3119	サイドドア	バンボデー側面からの荷役作業をする為の扉。	side door	サイド扉	



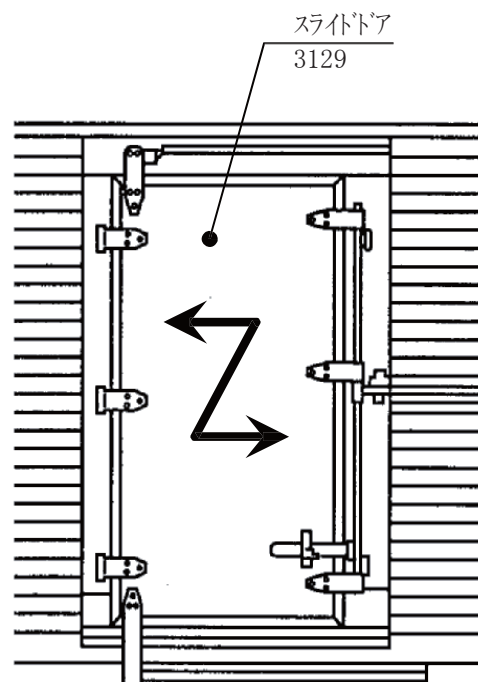
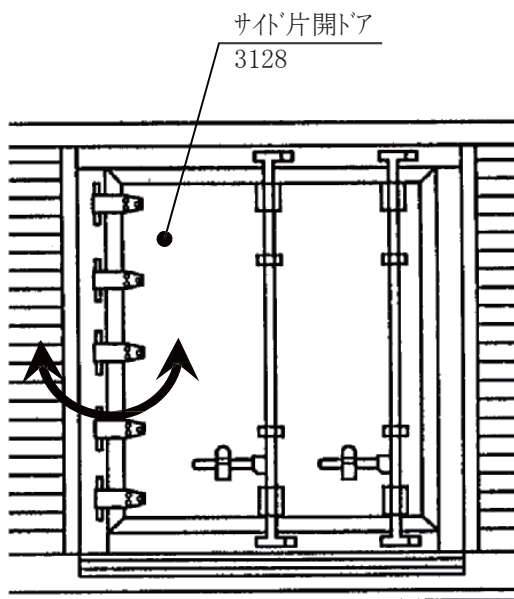
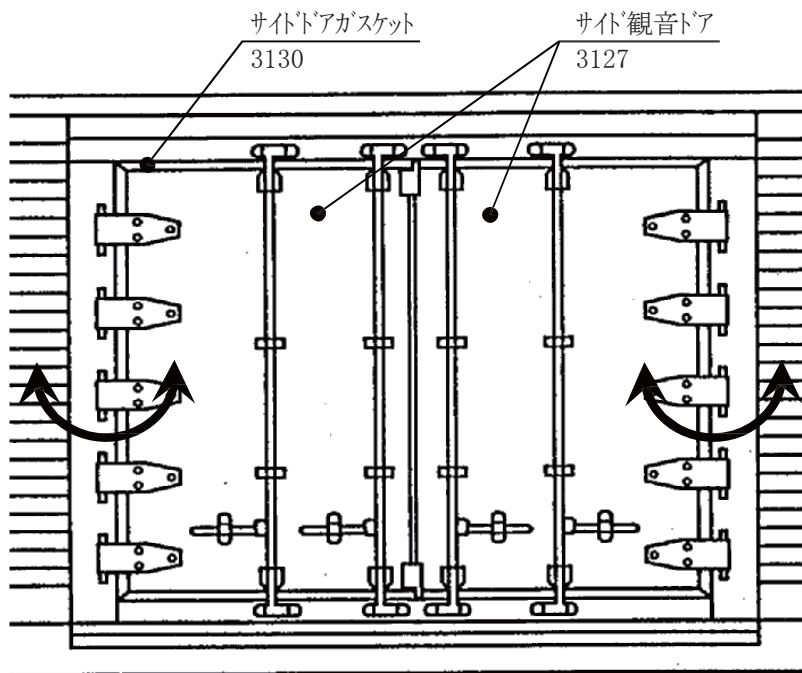
3.3.1 構 体 -リヤドア-

番号	用 語	意 味	参 考		
			対応英語	慣 用 語	引用規格
3120	リヤ観音ドア	各々左右に開閉するドア。	double swing door	観音扉	
3121	ロックロッド	閉じた時に、ドアを固定する為の部材。	door lock rod	ロッキングバー, ロックバー	
3122	ロックハンドル	ドアを開閉する為のハンドル。	door locking handle	ハンドル	
3123	ドアヒンジ	ドアを開閉する為の丁番。	door hinge	後扉ヒンジ	
3124	ハネ上げドア	ガスダンパーなどを使用した一枚ドア(上下開き)とテールゲートを組み合わせた構造。	kick up door	キックアップドア, 跳ね上げ扉	
3125	ロールアップドア	巻き上げ式のドア。	rollup door	シャッタードア	
3126	リヤドアガスケット	ドアとフレームの隙間を埋め、気密性を保たせる為のシール材。	rear door gasket	扉ガスケット	



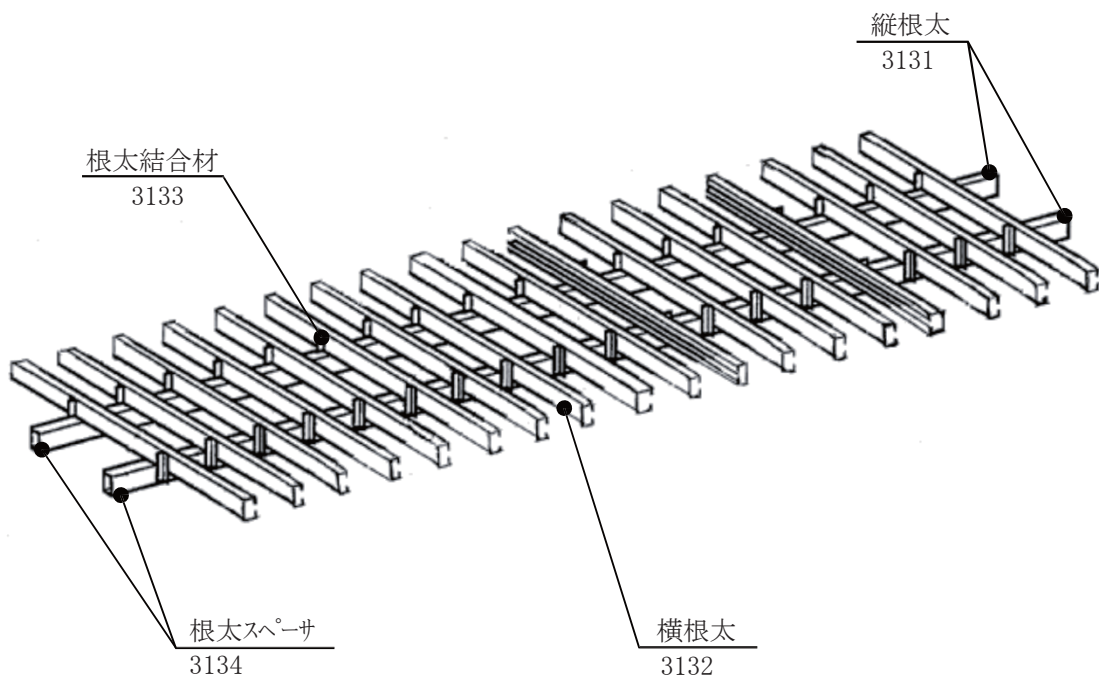
3.3.1 構 体 - サイドドア -

番号	用語	意味	参 考		
			対応英語	慣 用 語	引用規格
3127	サイド観音ドア	2枚のドアが、ヒンジを中心に開閉するドア。	double swing door	サイド観音扉	
3128	サイド片開ドア	一枚ドアで、ヒンジを中心に開閉するドア。	single swing door	サイド片開扉	
3129	スライドドア	ボデーと平行に開閉するドア。	sliding door	スライド引戸	
3130	サイドドアガスケット	ドアとフレームの隙間を埋め、気密性を保たせる為のシール材。	side door gasket	扉ガスケット	



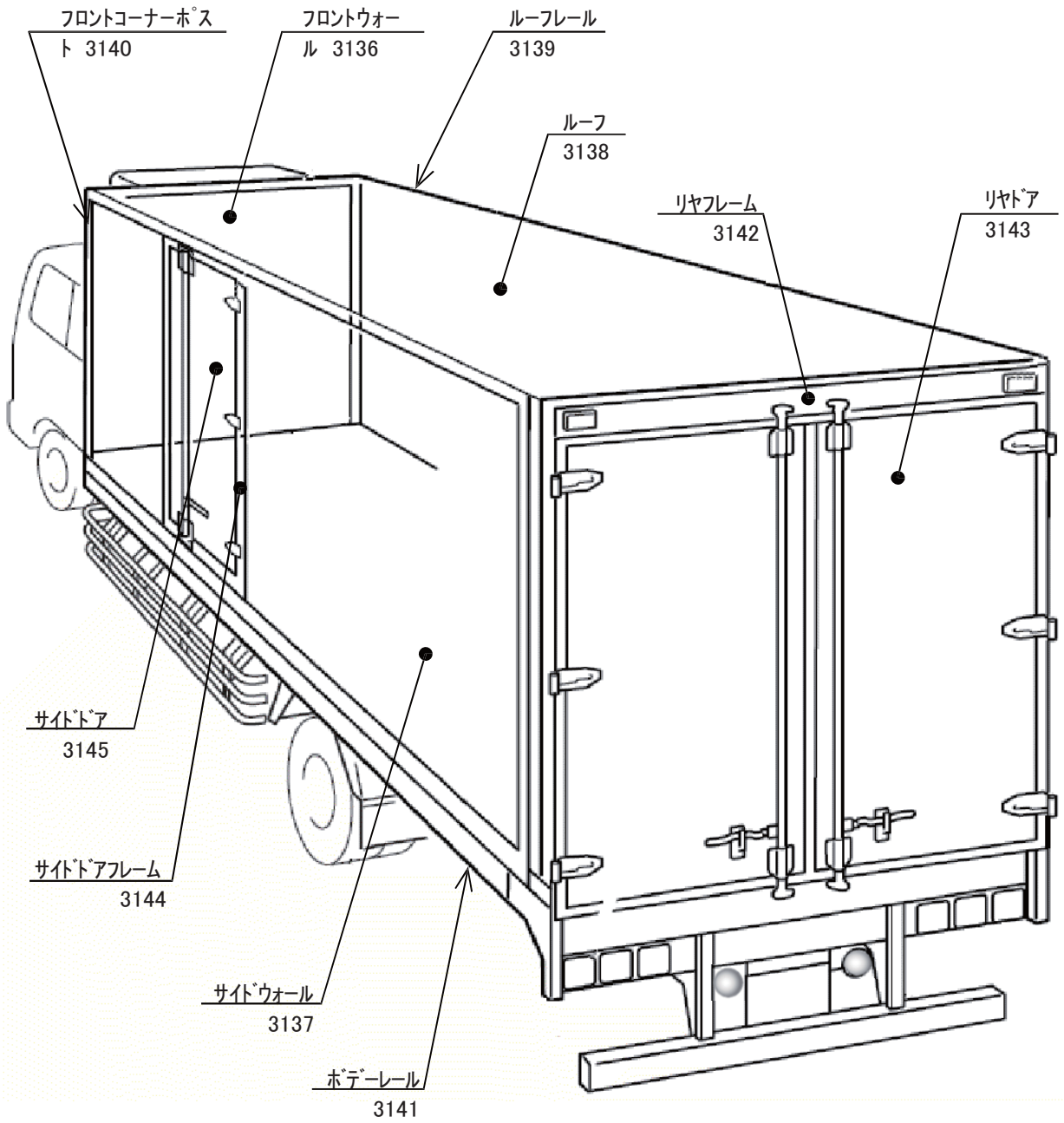
3.3.1 構 体 ー根太ー

番号	用語	意味	参 考		
			対応英語	慣 用 語	引用規格
3131	縦根太	シャシフレーム上に前後(縦)方向に置く根太。	main sill	サブフレーム	JIS D 0105
3132	横根太	縦根太に直角に渡す根太。	cross sill	クロスメンバー	JIS D 0105
3133	根太結合材	縦根太と横根太を結合する補強金具。	cross joiner	根太連結材, アングルクリップ	JIS D 0105
3134	根太スペーサ	サブフレームの下に挿入し、高さ調整やシャシ側リベットの干渉を避けるもの。	sill spacer	スペーサ	



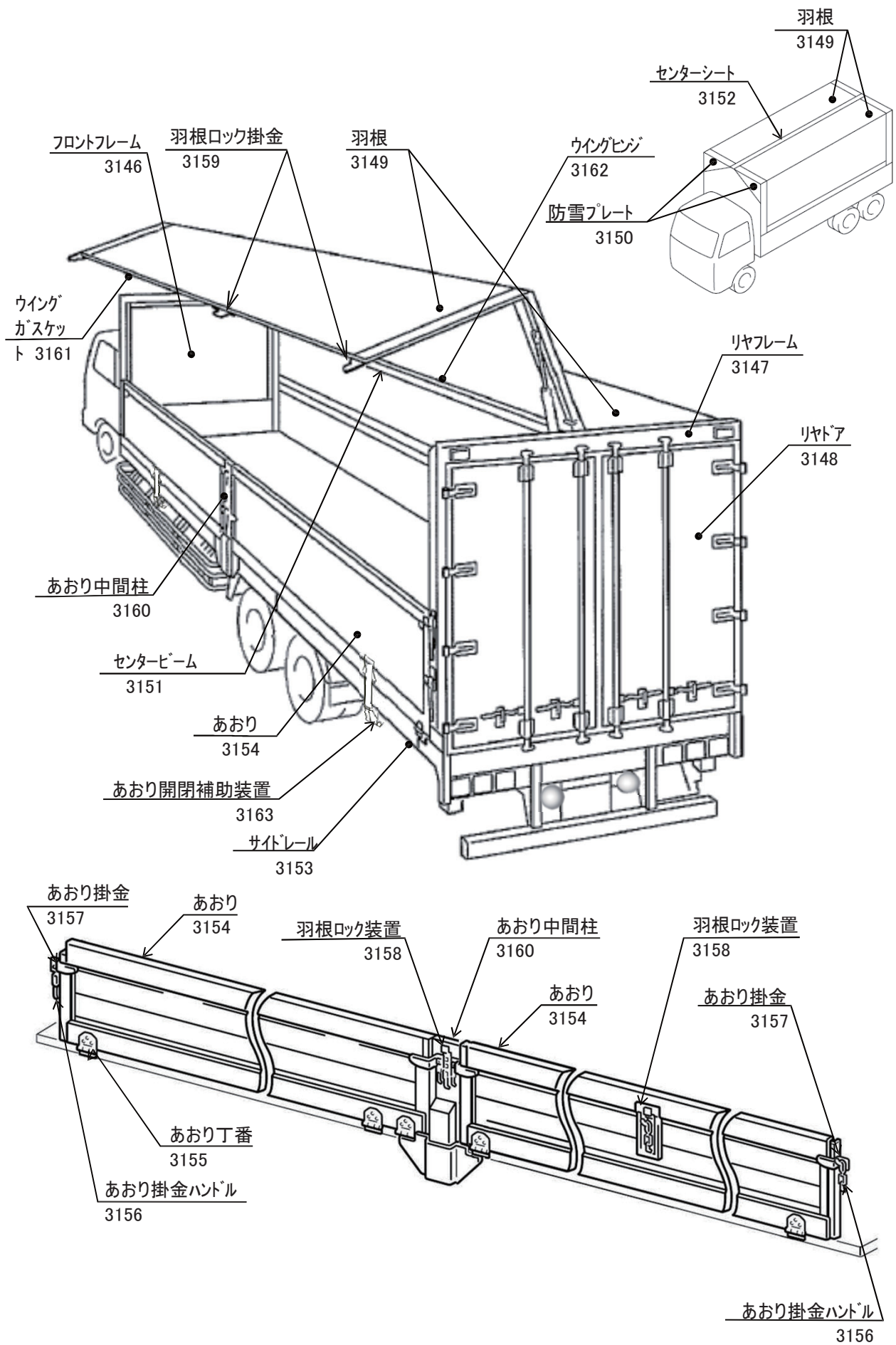
3.3.1 構 体 -接着パネルバンボデー-

番号	用 語	意 味	参 考		
			対応英語	慣 用 語	引用規格
3135	断熱パネル	断熱材に金属板, 樹脂板などを接着したパネル。	insulated panel	接着パネル	
3136	フロントウォール	接着パネルバンボデー前部の隔壁の総称。	front wall	フロント断熱パネル	
3137	サイドウォール	接着パネルバンボデー側部の隔壁の総称。	side wall	サイド断熱パネル	
3138	ルーフ	接着パネルバンボデー天井の隔壁の総称。	roof	ルーフ断熱パネル, 天井	
3139	ルーフレール	ルーフパネルとフロントパネル又はサイドパネルを固定するレール。	roof rail	上部レール, アッパーレール	
3140	フロントコーナーポスト	フロントパネルとサイドパネルを固定するレール。	front corner post	すみ柱	
3141	ボデーレール	フロントパネル又はサイドパネルの下部を固定するレール。	body rail	ロアレール	
3142	リヤフレーム	後部の隔壁の総称。	rear frame	門構, リヤフレーム	
3143	リヤドア	後部からの荷役作業をする為の扉。	rear door	後扉, リヤ扉, リアドア	
3144	サイドドアフレーム	サイドパネルにドアを設ける為の構体。	side door frame	サイド門構	
3145	サイドドア	側面からの荷役作業をする為の扉。	side door	サイド扉	



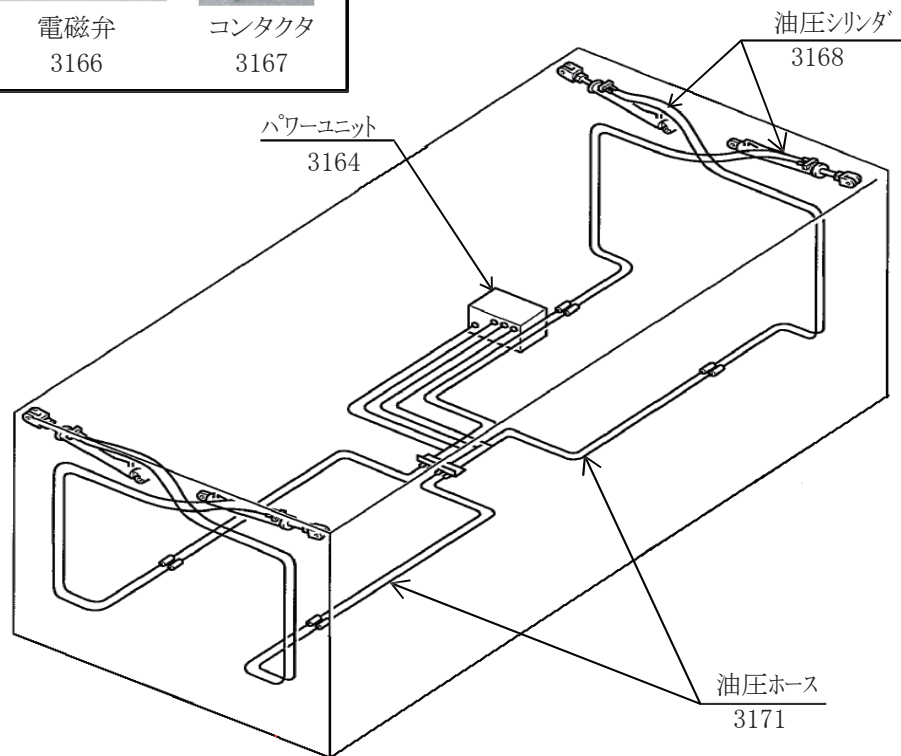
3.3.1 構 体 -ウイングボデー-

番号	用 語	意 味	参 考		
			対応英語	慣 用 語	引用規格
3146	フロントフレーム	ウイングボデー前部の隔壁の総称。	front frame	フロントウォール, 前壁	
3147	リヤフレーム	ウイングボデー後部の隔壁の総称。	rear frame	門構, リアフレーム	
3148	リヤドア	後部からの荷役作業をする為の扉。	rear door	後扉, リヤ扉, リアドア	
3149	羽根	ウイングボデーの側壁と天井を構成し、開閉できる構造の囲い。	wing roof	ウイングルーフ	
3150	防雪プレート	羽根の前方側に取付、雨水等の侵入を防止するプレート。	plate snow gate	防雪板, 防雪カバー	
3151	センタービーム	フロント、リヤフレームを繋ぎ、羽根を取付ける部位。	center beam	センターフレーム	
3152	センターシート	雨の侵入を防ぐ為、羽根の中央部に取付けるシート。	center seat	キャンバスシート	
3153	サイドレール	床枠のサイドの部材。	side rail	ボデーレール, ロアレール, サイドスカート, 床枠	
3154	あおり	荷台の床枠の側を支点として、回転開閉できる構造の囲い。	gate	アオリ	JIS D 0105
3155	あおり丁番	あおりを開閉する為の丁番。	gate hinge	アオリ丁番	JIS D 0105
3156	あおり掛金ハンドル	あおりを閉じた状態で締め付けておくためのハンドル。	gate latch handle	アオリ掛金ハンド ル	JIS D 0105
3157	あおり掛金	あおり掛金ハンドルを掛ける、あおりに取り付ける金具。	gate latch	アオリ掛金	JIS D 0105
3158	羽根ロック装置	羽根を閉めた時、フレームに固定する為の装置。	wing roof retainer	ウイングロック	
3159	羽根ロック掛金	羽根を閉めた時、羽根ロック装置へ納める金具。	wing roof retainer latch	羽根掛金	
3160	あおり中間柱	前後に分割した構造のあおりの中間に設ける柱。 差込式:着脱可能な中柱。 回転式:あおり開閉時、同時に回転可能な中柱。	side gate center post plug type center, plug type center post rotary type cener post	アオリ中柱	
3161	ウイングガスケット	羽根とアオりの隙間を埋め、気密性を保たせる為のシール材。	wing roof gasket	羽根ガスケット	
3162	ウイングヒンジ	羽根を開閉する為の丁番。	wing roof hinge	羽根丁番, 羽根ヒンジ	
3163	あおり開閉補助装置	あおりの開閉を補助する装置。	side gate opening and closing assist device		



3.3.1 構 体 -油圧装置-

番号	用語	意味	参 考		
			対応英語	慣 用 語	引用規格
3164	パワーユニット	油圧シリンダに作動油を供給する部品。	Power unit, Power pack, hydraulic system	パワーパック, 油圧ユニット, 油圧装置	JIS B 0142
3165	DCモータ	直流電源で回転運動を提供するアクチュエーター。	direct current motor		JIS B 0142
3166	電磁弁	電磁石によって操作されるバルブ。	solenoid valve, solenoid controlled valve	ソレノイドバルブ, 電磁(切替)弁	
3167	コンタクタ	電磁石によって接点を開閉し負荷電流の入切を行う装置。	electromagnetic contactor	マグネットスイッ チ, 電磁スイッチ	
3168	油圧シリンダ	油圧装置において, 羽根を稼働する為の部品。	hydraulic cylinder		
3169	油圧パッキン	ピストンロッドの往復運動部分の密封に用いるシール材。	hydraulic packing	油圧ガスケット	JIS B 0142
3170	ギヤポンプ	ケーシング内でかみ合う2個以上の歯車によって、作動油を吸い込み側から吐き出し側に押し出す型式のポンプ。	gear pump		JIS B 0142
3171	油圧ホース	作動油を通すホース。	hydraulic hose		
3172	作動油	油圧装置を作動する為の油。	hydraulic oil		

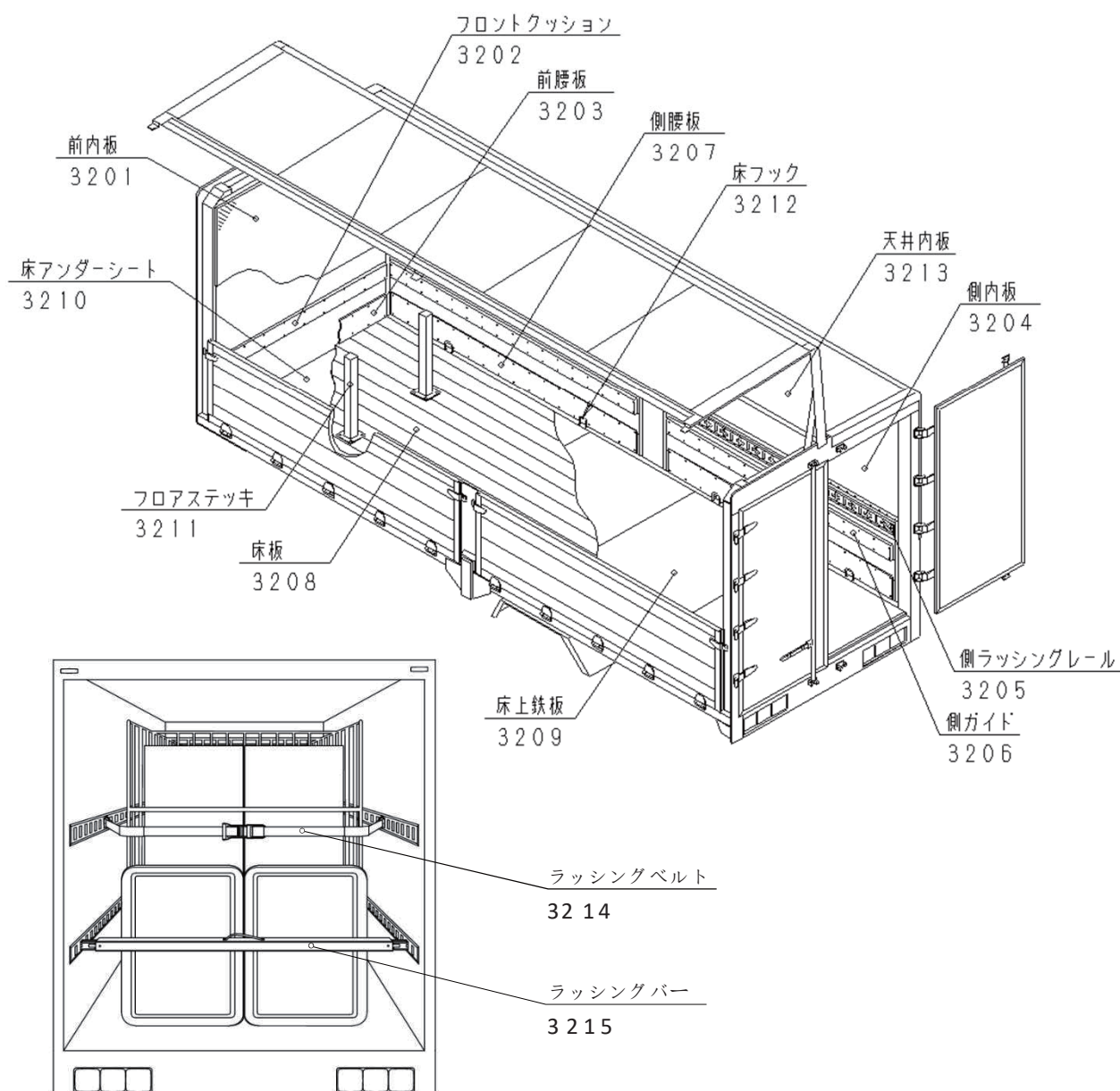


3.3.2 内装 ードライ, 冷凍/冷蔵 共通項目ー

番号	用語	意味	参 考		
			対応英語	慣用語	引用規格
3201	前内板	前壁に取り付ける内装材。	front inner-board, front lining	前壁内装, フロント内装, フロント内板	
3202	フロントクッション	前壁に取り付けるパレット/テナー緩衝材。	front cushion	前パレティナクッ ション, フロントプロテクタ	
3203	前腰板	前壁に取り付けるパレット等の接触保護板。	front protection- board, front protection- plate	前壁腰板, フロント腰板, フロントクッション	
3204	側内板	側壁に取り付ける内装材。	side inner-board, side lining	サイド内装板, サイド内張り内板	
3205	側ラッシングレール	側壁に取り付ける掛け金用穴あきレール。	side lashing rail	サイドラッシング レール	
3206	側ガイド	側壁に取り付けるパレット/テナー緩衝材。	side guide rail	側プロテクタサイ ドクッション, サイドパレテナガ イド	
3207	側腰板	側壁に取り付けるパレット等の接触保護板。	side protection- board, side protection- plate	サイド腰板	
3208	床板	床面を形成する板材。	floor board, flooring	床張り, フロアボード, フロアリング	JIS D 0105
3209	床上鉄板	床板上面に張る鋼板。	floor panel	床上張り, 床上鉄板張り, フロアアツパパネ ル	JIS D 0105
3210	床アンダーシート	床板の下面に配する防水シート。	under sheet, waterproof-sheet	床下防水, アンダーパンサブ フロア, フロアアンダー シート	
3211	フロアステッキ	積荷のずれ及び荷崩れを防止するための、床面に立てる脱着可能な柱。	floor stick	床ポスト, スタンションボク ス	JIS D 0105

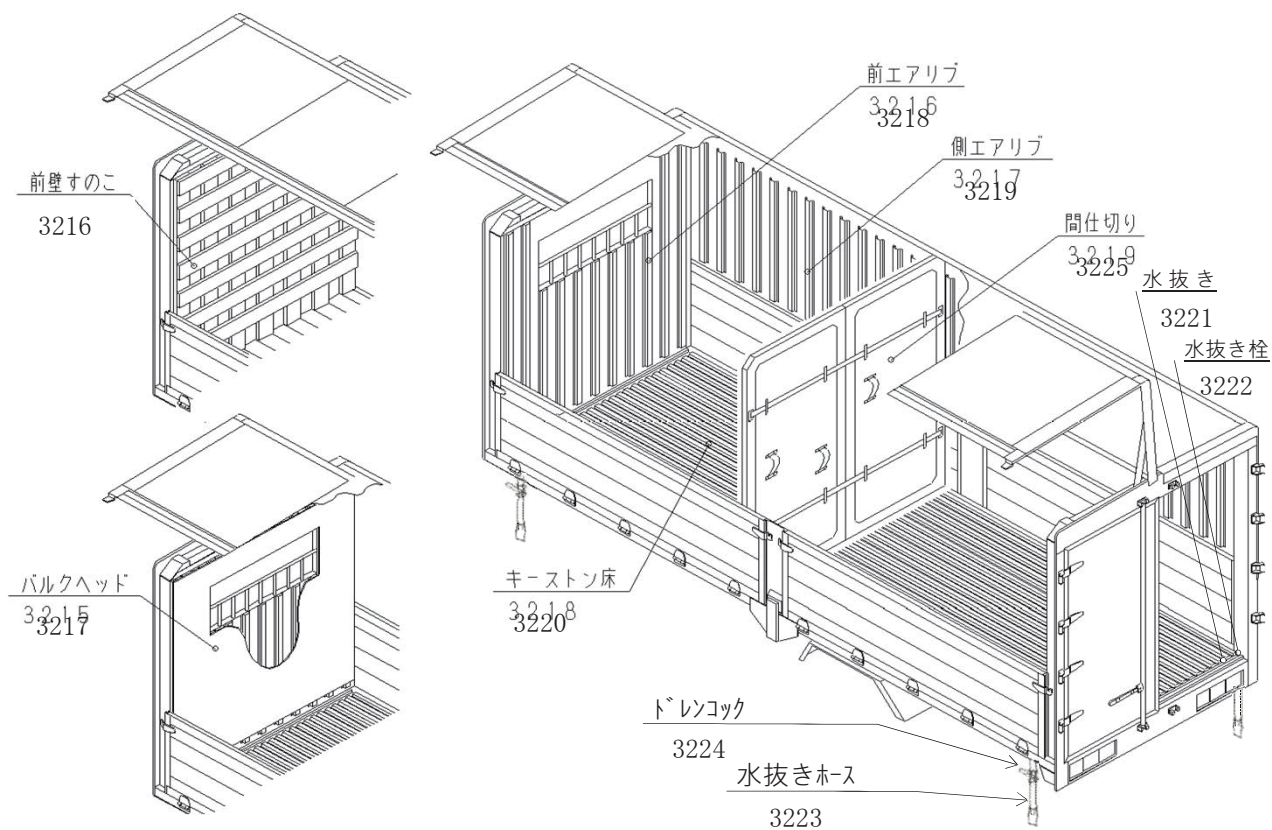
3.3.2 内装 ードライ、冷凍/冷蔵 共通項目ー

番号	用語	意味	参 考		
			対応英語	慣用語	引用規格
3212	床フック	床面に取り付けるロープ用フック。 (丸環フック/埋め込みフック)	floor hook		JIS D 0105
3213	天井内板	天井に取り付ける内装材。	roof inner-board, roof lining	ルーフ内板, ルーフ内張り	
3214	ラッシングベルト	側ラッシングレールと荷物を固定する為に使用するベルト。	lashing belt		
3215	ラッシングバー	側ラッシングレールと荷物を固定する為に使用する棒。	lashing bar	ラッシングビーム	



3.3.2 内装 —冷凍/冷蔵 項目—

番号	用語	意味	参 考		
			対応英語	慣用語	引用規格
3216	前壁すのこ	前壁に取り付ける冷気循環用すのこ。	front grid wall	フロントすのこ, パレテナガイドエ アリブ, リターンエアガイ	
3217	バルクヘッド	冷気循環経路を有した前壁内装。	bulkhead	エアリターン ウォール	
3218	前エアリブ	前壁に取り付ける冷気循環用リブ。	front air rib	フロントエアリブ, エアリブ	
3219	側エアリブ	側壁に取り付ける冷気循環用リブ。	side air rib	サイドエアリブ, エアリブ	
3220	キーストン床	アルミ又はステンレスの成型材を用いて、冷気循環を目的とした床上面材。 (キーストン/サニタリー/T型 等)	keystone plate	フロアボード, ボードフロア, キーストンボード	
3221	水抜き	床面の排水管。	drain hole	水抜き穴	JIS D 0105
3222	水抜き栓	床面の排水管を塞ぐもの。	drain plug		
3223	水抜きホース	荷室内の水を外に導くための管。	water drain hose	排水ホース, ドレンホース	
3224	ドレンコック	水抜きの流路の開閉や流量の調整に用いる弁。	drain cock		
3225	間仕切り	荷室を分割する為の断熱パネル。	partition	中仕切り, セパレータパネル	

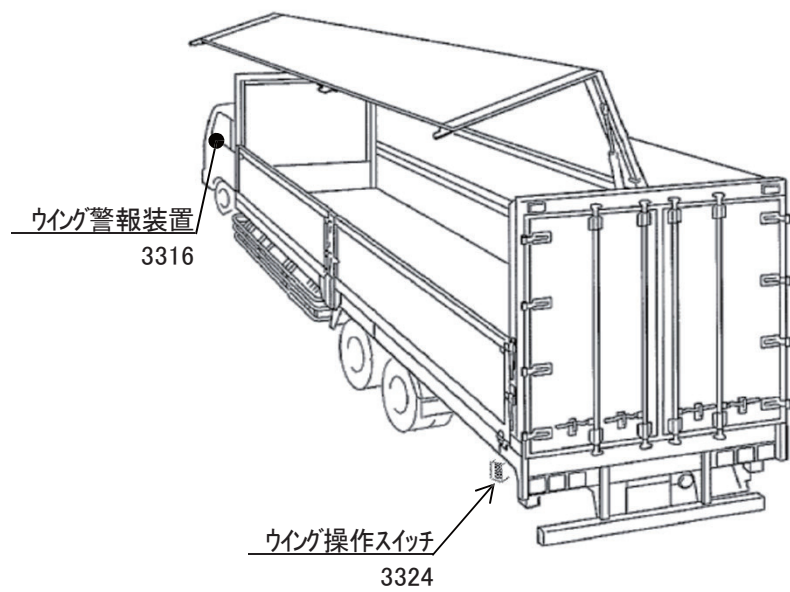
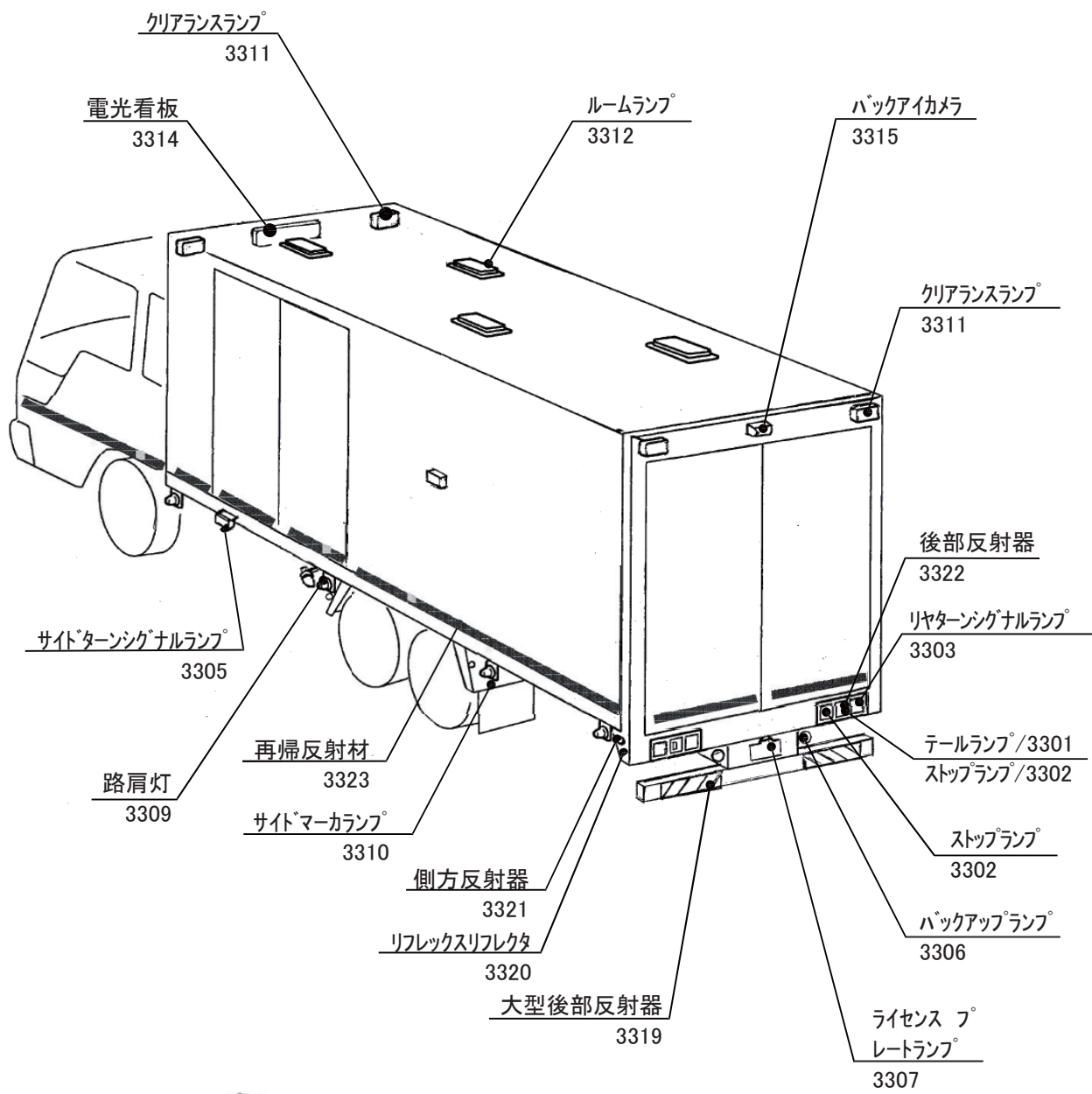


3・3・3 電 装

番号	用語	意味	参 考		
			対応英語	慣用語	引用規格
3301	テールランプ	夜間、後方に対して、その存在を知らせるための標識用ランプ。	tail lamp	尾灯	JIS D 0103
3302	ストップランプ	走行中、後方に対して制動中であることを知らせるための信号用ランプ。	stop lamp	制動灯, ブレーキランプ	JIS D 0103
3303	リヤターンシグナルランプ	走行中、主に後方に対して左折又は右折することを知らせるための信号用ランプ。	rear turn signal lamp	方向指示器(後面), ウインカー	JIS D 0103
3304	コンビネーションランプ	照明用、信号用又は標識用のうち2種類以上の灯火機能、又はリフレックスリフレクタを組み合わせて一体化した構造の灯火装置。	combination lamp	コンビネーションリヤランプ, テールランプ, 2連テール, 3連テール	JIS D 0103
3305	サイドターンシグナルランプ, シグナルランプ	走行中、主に側方に対して左折又は右折することを知らせるための信号用ランプ。	side turn signal lamp	方向指示器(側面), 中間フラッシャー, サイドフラッシャー	JIS D 0103
3306	バックアップランプ	後退時に後方の安全確認と、後退することを知らせるための照明信号用ランプ。	back-up lamp	後退灯, バックランプ	JIS D 0103
3307	ライセンスプレートランプ	夜間走行中又は駐車中、番号標の表示を確認させるための照明用ランプ。	licence plate lamp	番号灯, ナンバー灯, ライセンスランプ	JIS D 0103
3308	その他の灯火	サイドマーカランプ,クリアランスランプ,電光看板等の任意灯火。	other light	任意灯火	JABIA V1102
3309	路肩灯	夜間、路面の後側方の安全を確認するための照明用ランプ。	road verge lamp	後輪照射灯, タイヤ灯	JIS D 0103
3310	サイドマーカランプ	夜間走行中、側方に対して車長を示す標識用ランプ。	side marker lamp	側方灯, 車幅灯, サイドマーカ	JIS D 0103
3311	クリアランスランプ	荷物室の前方上部、後方上部の両端に取付け、前方及び後方に対して幅、高さを示す標識用ランプ。	clearance lamp	前部上端灯, 後部上端灯, 車高灯,	JIS D 0103
3312	ルームランプ	車室内を照らす照明用ランプ。 (蛍光灯, 白熱灯, LEDランプ等)	room lamp	室内灯, 庫内灯	JIS D 0103

3・3・3 電 装

番号	用語	意味	参 考		
			対応英語	慣用語	引用規格
3313	ワーキングランプ	夜間作業のための、一定範囲を照射する照明用ランプ。	working lamp	作業灯, ワークランプ	JIS D 0103
3314	電光看板	照明付きの看板。	light sign board	アンドン	JIS D 0105
3315	バックアイカメラ	荷物室の後方上部にカメラを取付け、後退時に運転室のモニターで後方確認する装置。	back eye camera	バックカメラ, バックモニターカメラ	
3316	ウイング開閉警報ブザー	ウイング車の羽根が開いている時にエンジンを始動した時に鳴るブザー。	wing opening and closing the alarm buzzer	ルーフ警報ブザー	
3317	緊急ブザー	緊急事態発生時に鳴るブザー。	emergency buzzer	安全ブザー, 警報ブザー, エマージェンシーホン	
3318	バックブザー	後退を警告するブザー。	back-up buzzer	バックホーン	JIS D 0103
3319	大型後部反射器	法令で指定されたトラックの後面の夜間視認性を向上させるために取付ける、表面に光の照射方向に反射する材料及び蛍光性材料をはり付け、又は塗布した長方形の板。	rear marking plate	大型反射器, 反射器	JIS D 0103
3320	リフレックスリフレクタ	外部からの光を、ほぼ入射した方向に反射させる機能をもち、夜間に自動車の存在を知らせるための標識用部品。(側方反射器、後部反射器)	reflex reflector	リフレクタ	JIS D 0103
3321	側方反射器	夜間に側方へ自車の長さを示すため車の両側面に取り付ける反射板。	side reflector	反射器,リフレクタ	
3322	後部反射器	夜間に後方へ自車の幅を示すため車の後面に取り付ける反射板。	rear reflector	反射器,リフレクタ	
3323	再帰反射材	夜間、自動車のヘッドライトをよく反射し、周囲に自車を示すための反射材。	retroreflective materials		JABIA V1101
3324	ウイング操作スイッチ	ウイングの上昇移動と下降移動を指令するためのスイッチ。	wing roof operation switch	ウイングスイッチ	



3・3・4 艀装

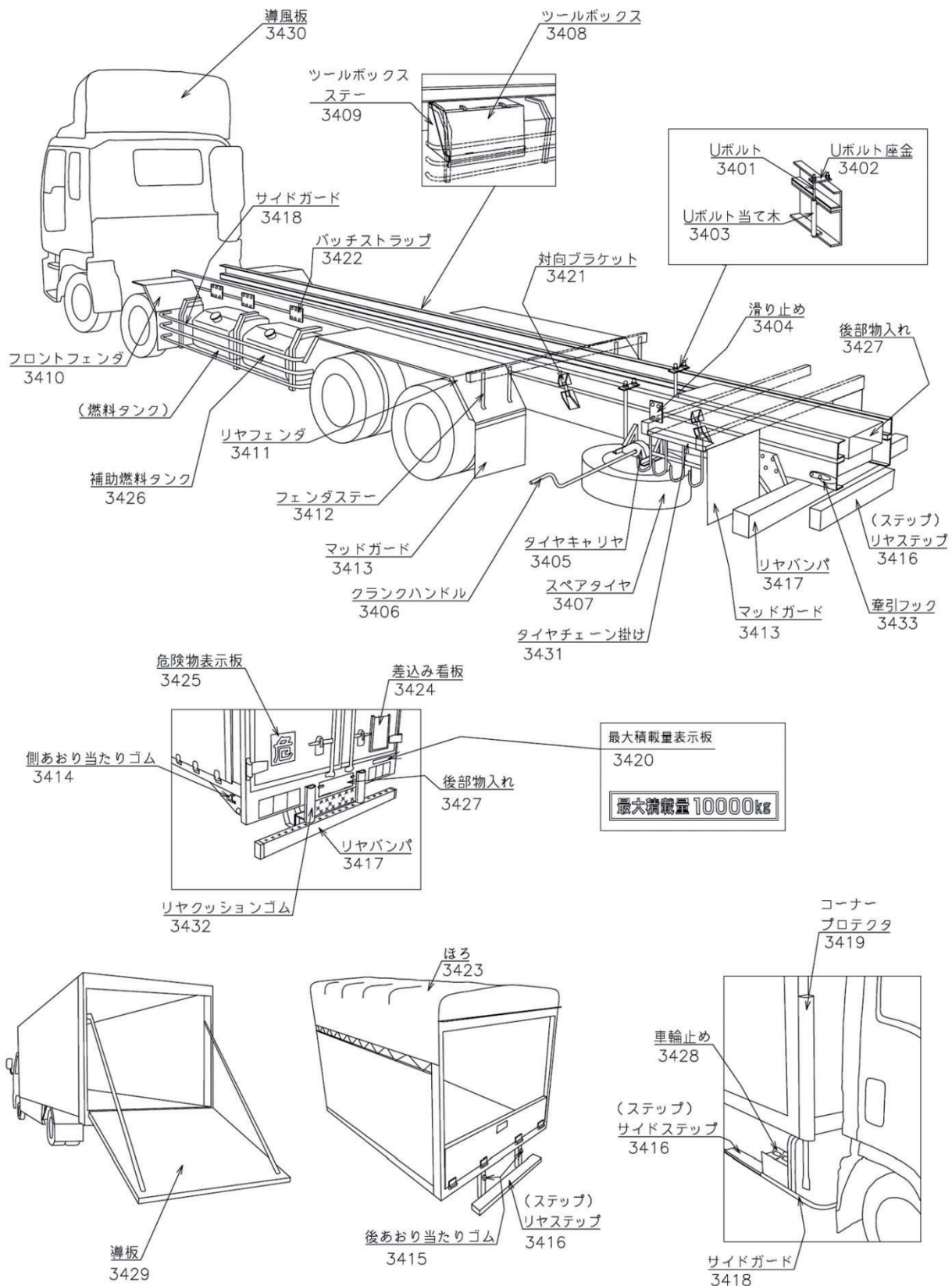
番号	用語	意味	参考		
			対応英語	慣用語	引用規格
3401	Uボルト	荷台をシャシに締め付ける U 字形のボルト。	u-bolt	Uボルト	JIS D 0105
3402	Uボルト座板	Uボルトにかけるナット側の座板。	u-bolt set plate	Uボルトプレート, Uボルトスペー サー, Uボルト押え	JIS D 0105
3403	Uボルト当て木	Uボルト取付け部のシャシフレームに挿入する当て材。	u-bolt block	Uボルトブロック スペーサー, Uボルト潰れ止め	JIS D 0105
3404	滑り止め	荷台のずれを止める金具。	brace	スベリ止め, ブレース	JIS D 0105
3405	タイヤキャリア	予備タイヤを収納する装置。	spare tire carrier	スペアタイヤハン ガー, スペアタイヤキャ リア, タイヤキャリア	JIS D 0105
3406	クランクハンドル	スペアタイヤの取り付け、取り外しの際に使用する手回しのハンドル。	crank handle	クランク棒	
3407	スペアタイヤ	自動車に装着されているタイヤが使用不能になった際に、交換できるように備えているホイール付の予備タイヤ。	spare tire		
3408	ツールボックス	携行工具を収納する箱。	tool box	工具箱	JIS D 0105
3409	ツールボックスステー	ツールボックスを取り付ける金具。	tool box stay	工具箱棒, 工具箱ステー, 工具箱ステイ, 工具箱ブラケット	JIS D 0105
3410	フロントフェンダ	前車輪部の泥よけ。	front fender	フロントフェン ダー	JIS D 0105
3411	リアフェンダ	後車輪部の泥よけ。	rear fender	リアフェンダー, リアフェンダ	JIS D 0105
3412	フェンダステー	フェンダを取り付ける金具。	fender stay	振れ止め, フェンダース テー, フェンダーステイ	JIS D 0105
3413	マッドガード	フェンダなどに取り付ける泥よけのたれ板。	mud guard	どろよけゴム, 独立垂れゴム, ROH泥除け	JIS D 0105
3414	側あおり当たりゴム	開いた側あおりを受ける緩衝材。	side gate cushion	あおり当りゴム, 当りゴム, あおりゴム	JIS D 0105

3・3・4 艀 装

番号	用語	意味	参 考		
			対応英語	慣用語	引用規格
3415	後ろあおり当たりゴム	開いた後ろあおりを受ける緩衝材。	tail gate cushion	当りゴム, あおりゴム	JIS D 0105
3416	ステップ	荷台に昇降するための足掛け。 (リヤステップ, サイドステップ)	step	補助ステップ, 昇降用ステップ, リヤステップ, サイドステップ	JIS D 0105
3417	リヤバンパ	自動車の後面に備え, 車体の損傷軽減及び突入防止を図る装置。	rear bumper	突入防止装置, リアバンパ	JIS D 0105
3418	サイドガード	自動車の側面に備える巻込防止装置。	side guard	巻込み防止装置, サイドバンパ	JIS D 0105
3419	コーナープロテクタ	運転台の幅より突出している荷台前端部分に設け, 歩行者などが衝突する危険を防ぐための保護具。	corner protector	フロントプロテクター, 車幅プロテクター	JIS D 0105
3420	最大積載量標示板	最大種載量を標示した板。	loading capacity-plate	最大積載量ステッカー	JIS D 0105
3421	対向ブラケット	機械部品同士を結合させる為の支持具・取り付け金具。部品を固定するのに使われ, 通常ネジ止めて固定する。	connecting-bracket	連結ブラケット, 箱型スベリ止め	
3422	パッチストラップ	Uボルト, 対向ブラケットの代わりにシャシと荷台を連結するズレ止め板。	connecting plate	マウントプレート, セットプレート, マウンティングブラケット, スベリ止め	
3423	ほろ	雨, 日射などを避けるために荷台にかける覆い。	awning	オーニング, 幌シート	JIS D 0105
3424	差込み看板	荷台外側面に取り付ける交換可能な看板。	detachable sign-board	広告枠	JIS D 0105
3425	危険物表示板	危険物運搬の標識を表示した板。	danger sign board		JIS D 0105
3426	補助燃料タンク	予備の燃料タンク。	spare fuel tank	予備燃料タンク, サブタンク	JIS D 0105
3427	後部物入れ	後部フレームの空間に設ける物入れ。	container	フレーム間物入れ, 物入れ, 格納庫	JIS D 0105
3428	車輪止め	車輪の転がり止め。	choke	歯止め, ホイールストップ, パ, 輪止め, 車止め	JIS D 0105

3・3・4 艀装

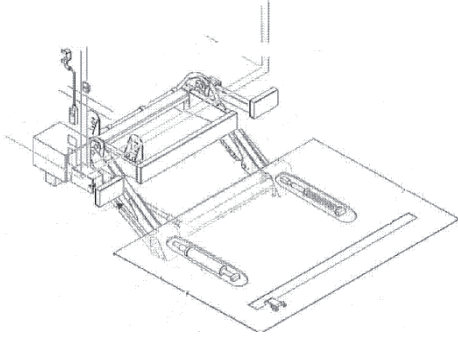
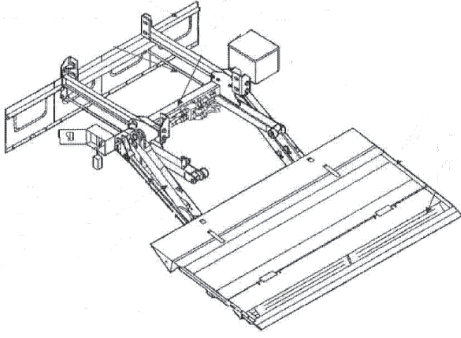
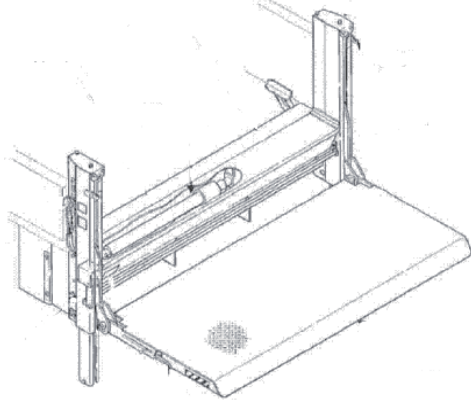
番号	用語	意味	参 考		
			対応英語	慣用語	引用規格
3429	導板 (みちいた)	床と地面との間にかける渡り板。	loading ramp	ブリッジパネル, 渡し板	JIS D 0105
3430	導風板	トラックのキャビン上部に取付ける, 空気抵抗を低減する装置。	air deflector	エアデフレクター, ウインドデフレクター	
3431	タイヤチェーン掛け	タイヤチェーンを引っ掛けて収納するフック状の装置。	tire chain hanger	チェーン吊り, チェーンハンガー, チェーン掛け, チェーンフック	
3432	リヤクッションゴム	ホーム付けの際に衝撃を和らげ車両の破損を防ぐためのゴム製の緩衝材。	rear cushion rubber	リヤ当たりゴム	
3433	牽引フック	自動車を牽引する際に牽引ロープを引っ掛けるためのフック。	hook for towing		



3.3.5 その他の装置

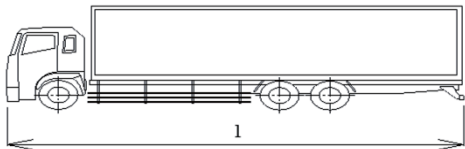
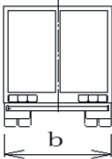
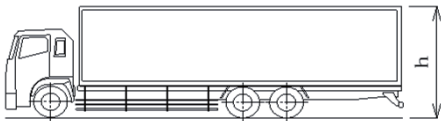
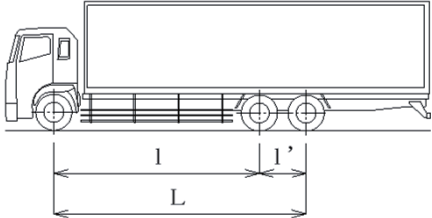
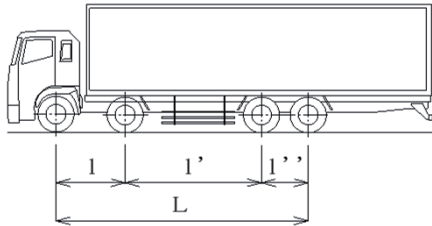
番号	用語	意味	参 考		
			対応英語	慣用語	引用規格
3501	輸送用冷凍冷蔵ユニット	トラックの陸上輸送において、一定の温度を保持して輸送すること(定温輸送)が必要となる場合に使用される冷凍機。	truck refrigeration units, transport refrigeration	車載用冷凍機, 冷凍機	
3502	メインエンジン方式	トラックのエンジンの動力を利用して、冷凍機を駆動させる方式。	vehicle powered truck refrigeration units, direct drive	直結式, 機械式	
3503	サブエンジン方式	冷凍機専用のエンジンを搭載して、冷凍機を稼働させる方式。	self powered truck refrigeration units	S/E式, サブエンジン	
3504	冷凍板方式	夜間電力により冷凍機ユニットを駆動し、冷凍板(プレート)内の充てんされた共晶溶液(ブライン)を凍結することにより冷気を保つ方式。	eutectic plate type	蓄冷式	
3505	スタンバイユニット	夜間AC電源で冷凍機を駆動させる補助装置。	electric stand by, stand by unit	モータパック	
3506	エバポレータ	冷媒液を気化させ、ファンで庫内に循環させる装置。	evaporator	蒸発器	
3507	コンプレッサ	冷媒を高圧に圧縮し、ガス状(冷媒ガス)にする装置。	compressor	圧縮器	
3508	コンデンサ	コンプレッサが圧縮した高圧ガスを凝縮させ、液化(冷媒液)する装置。	condenser	凝縮器	
3509	冷媒ガス	冷凍機で庫内を冷却する際に、媒体として用いられる物質。 冷凍機に使用されているフロンガスは、“フロン排出抑制法”により定期的な『漏えい点検』や冷凍機を廃棄する際に『フロンガスの回収』等が義務付けられている。	refrigerant gas	フロンガス	

3.3.5 その他の装置

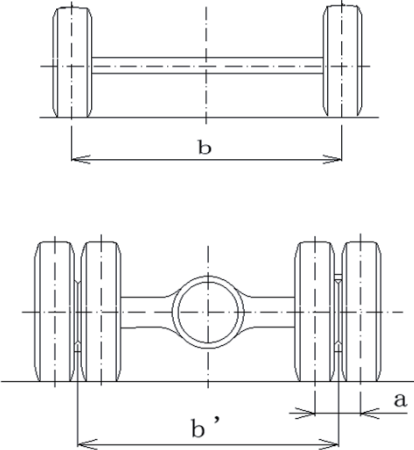
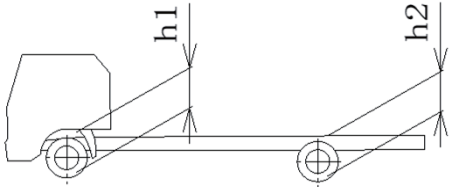
番号	用語	意味	参 考		
			対応英語	慣用語	引用規格
3510	テールゲートリフタ	自動車の後部に設備されている省力化リフト。	tail lift	テールゲートリフター	JABIA P1400
3511	チルト式	ゲートの軌跡が上下方向に弧を描く。上下動中にゲートの水平を維持する必要があるため垂直式に比べて構造が複雑になるが、ゲートを任意の角度で固定させてスロープにすることもできる。 	cantilever lift	アーム式, 背負い式, チルトリフト	JABIA P1400
3512	床下格納式	リア扉の開閉時に妨げとならず、物流センターなどのリフト機能を必要としない作業現場では、荷物の搬出入が短時間で行える。 	slider lift, retractable lift	格納式, 引出式	
3513	垂直式	車体側板に設けられた軌道に沿ってゲートが上下動を行う。荷台床面より高い位置にゲートを昇降できる設計も可能。 	column lift	垂直式	JABIA P1400

3.4 諸元に関するもの


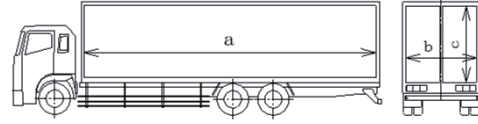
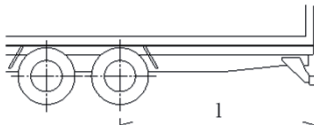
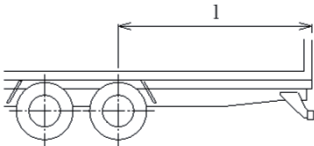
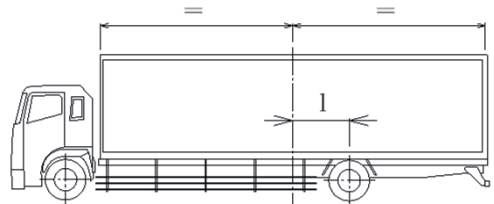
3.4.1 寸法

番号	用語	意味	単位 記号	参 考		
				対応英語	慣用語	引用規格
4101	全長	<p>自動車の縦中心面に垂直, かつ, 自動車の前及び後の各々に接する2鉛直面間の距離(l)。</p> 	m	motor vehicle length, overall length		JIS D 0102
4102	全幅	<p>自動車の縦中心面に平行, かつ, 縦中心面の両側で自動車に接する2平面間の距離(b)。ただし, 荷台及び換気装置は, 閉じた状態とする。</p> 	m	vehicle width, overall width		JIS D 0102
4103	全高	<p>接地面と自動車最高部に接する水平面との間の距離(h)。ただし自動車の各部分は通常の運行状態とする。 (備考) 最大積載状態のときには, その旨を付記する。</p> 	m	vehicle height, overall height		JIS D 0102
4104	軸距	<p>前後の車軸の軸中心間の水平距離。 (備考) 3軸車では, 前車軸と中間の車軸との間を第一軸距(l), 中間の車軸と最後車軸との間を第二軸距(l'), 第一軸距と第二軸距との和を最遠軸距(L)という。同様に4軸車では, 第三軸距(l'')があり, この場合の最遠軸距は, 第一・第二・第三軸距の和である。(L)</p>  	m	motor vehicle wheel space, wheel base	ホイールベース, ホイルベース	JIS D 0102

3.4.1 寸法

番号	用語	意味	単位 記号	参 考		
				対応英語	慣 用 語	引用規格
4105	輪距	<p>左右のタイヤの、接地面との接触面の中心間の距離(b)。複輪の場合には、複輪間隔の中心間の距離(b')。</p> 	m	track, tread(米)	トレッド, (前トレッド) (後トレッド)	JIS D 0102
4106	重心高さ	<p>接地面から自動車の重心までの高さ。 (備考) 積荷があるときには、その状態を付記する。</p>	m	height of gravitational center	重心高	JIS D 0102
4107	フレーム地上高	<p>接地面から、前車軸及び後車軸を含む鉛直面上におけるフレーム上面までの高さ。(h1及びh2) (備考) 1, 上記以外の部分における高さを示す場合には、その場所を併記する。 2, 3軸以上の場合には、最遠軸距の車軸において測る。 3, 最大積載状態のときには、その旨を付記する。</p> 	m	height of chassis above ground	フレーム高さ, フレーム上面, 地上高	JIS D 0102
4108	キャブバック	<p>最前車輪中心を通り、縦中心面に直角な鉛直面から、ボデー最前端までの水平距離。</p>		cab back		
4109	最小旋回半径	<p>自動車が最大かじ取り角で徐行したときに、タイヤ接地中心の描く軌跡の半径。</p>		minimum turning radius	最小回転半径	JIS D 0102

3.4.1 寸法

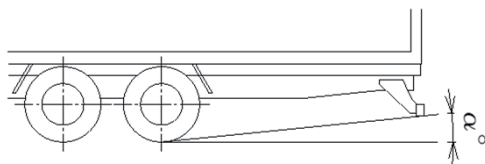
番号	用語	意味	単位 記号	参 考		
				対応英語	慣 用 語	引用規格
4110	荷物室の最大寸法	内部に突き出た部分を考慮しないで測定した、荷物室内部の長さ(a)、幅(b)及び高さ(c)。 (備考) 1, 内部突起物(ホイールハウス、金具など)がある場合には、その旨を付記する。	m	maximum internal dimensions of body	内寸長、内寸幅、内寸高	JIS D 0102
						
4111	荷物室の有効寸法	内部に突き出た部分を考慮して内部容積を決定する場合の、荷物室内部の長さ(a)、幅(b)及び高さ(c)。 (備考) 1, 内部突起物(ホイールハウス、金具など)がある場合には、その旨を付記する。	m	usable dimensions of body	有効内寸長、有効内寸幅、有効内寸高	JIS D 0102
						
4112	後オーバーハング	最後車輪中心を通り、縦中心面に直角な鉛直面から、自動車の最後部までの水平距離(l)。 (備考) けん引装置、バンパなど自動車に固着してあるものは、すべてこの中に含まれる。	m	rear overhang	リヤオーバーハング、リアオーバーハング	JIS D 0102
						
4113	後ボデーオーバーハング	最後車輪中心を通り、縦中心面に直角な鉛直面から、ボデー最後端(バンパ及びその付属物を除く)までの水平距離(l)。	m	rear body overhang		JIS D 0102
						
4114	荷台オフセット	後車軸の中心軸と荷台床面の中心点との水平距離。(l) (備考) 1, 後車軸が2軸の場合の後車軸は、前・後の車軸の中央。 ただし、荷重支点が車軸の中央でないものでは、その荷重中心。 2, 荷台の中心が後車軸の前にある場合を正(+), 後にある場合を負(-)とする。	m	rear body offset		JIS D 0102
						

3.4.2 重量

番号	用語	意味	単位 記号	参 考		
				対応英語	慣用語	引用規格
4201	車両重量	空車状態の車両の重量。	kg	vehicle weight	空車重量 V, W	JABIA C1700
4202	最大積載量	車両に許容された最大の積載荷重。	kg	maximum payload	ペイロード P, L	JABIA C1700
4203	車両総重量	車両重量と最大積載量の総和。	kg	gross vehicle weight	G, V, W	JABIA C1700
4204	許容軸重限度	軸荷重限度のことで、1軸あたり最大10,000kg以下、この範囲内で車型ごとに許容値が決められている。	kg	allowable axle load limit	軸荷重限度	
4205	タイヤ推奨荷重	タイヤに負荷出来る最大荷重。荷重指数と空気圧によって、タイヤごとに決められている。	kg	recommended tyre load, tyre load limit	タイヤ荷重限度	

3.4.3 角度

番号	用語	意味	単位 記号	参 考		
				対応英語	慣用語	引用規格
4301	最大(安定)傾射角	車両を横に傾斜させた場合にまさに転倒しようとする時の横安定性をあらわす角。ただし、車両を横に傾斜させた場合、反対側の全ての車輪が測定台床面を離れるときの測定台床面と水平面とのなす角度。	度	maximum tilting angle	安定角, 転角	JABIA C1700
4302	デパーチャーアングル	自動車の後部下端から後輪タイヤ外周への接平面が、地面と成す最小角度(α)。 (備考) 自動車のいかなる固着部分も、この角度内には存在しない範囲である。	度	departure angle	後オーバーハング角	JABIA C1700





バン部会業務委員会

日本フルハーフ(株)	津村 眞治
(株)トランテックス	田崎 嗣朗
(株)矢野特殊自動車	森 威久 (モリ タケヒサ)
日本トレクス(株)	山下 良和
(株)北村製作所	清野 文雄
仙台鈴木自動車工業(株)	日野 敏明
山田車体工業(株)	尾高 宏
(株)パプコ	橋本 正徳
(株)浜名ワークス	堀内 正史
トヨタ車体(株)	照山 俊輔
菱重コールドチェーン(株)	長谷川 弘
(一社)日本自動車車体工業会	小澤 浩之